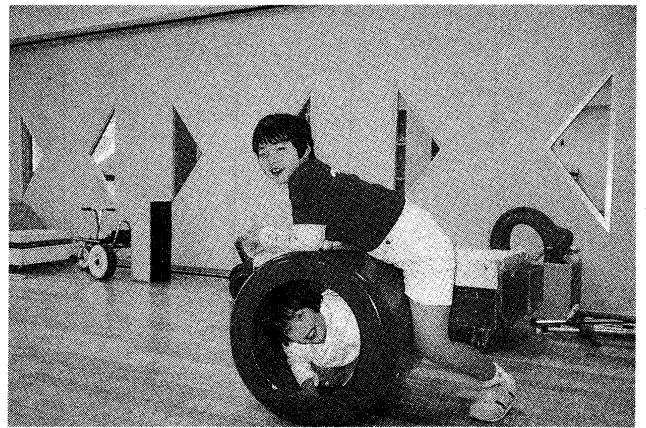


1. 小学部



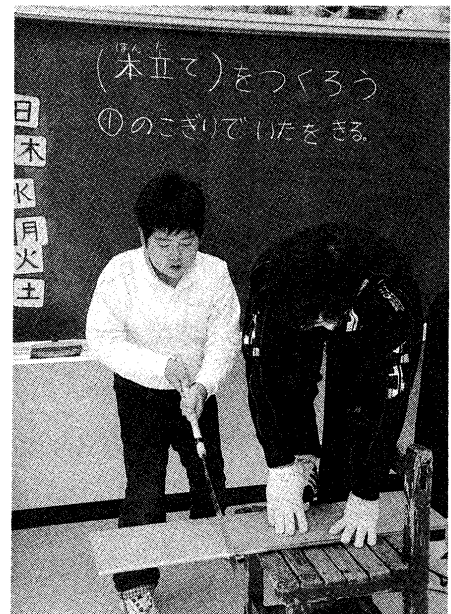
バザー「小学部横丁」
—まいどありがとうございます！—



「ほっとタイム」
—エへへ… 仲いいでしょ！—



小学部 高学年「合宿」
—野菜スープをつくろう—



小学部 高学年「生活」
—本立てをつくろう—

小学部の教育において大切にしていること

小学部は学校生活の入り口であり、12年間の学校生活の前半を過ごす場である。身体も心も大きく成長していく大切な時期であり、児童一人一人を6年間で育てていくという認識で、家庭との連携を大切にしておきたい。

適期をのがさない

低・中・高学年それぞれの時期に適したいろいろな指導が考えられる。たとえば基本的な生活習慣は、小さいうちにより望ましい習慣を身体で覚え身につけることが大切である。学年が進むにつれて、さまざまな活動を経験し生活の幅を広げていくことも必要である。高学年となれば、学部におけるリーダー的役割の取り組みや、思春期にかかる心の不安定さへの対応なども考慮していくことが求められる。児童の成長の実態に応じて、今、何が必要か、大切かを見極めた適切な指導の積み重ねを心掛けたい。

一貫性、系統性を大切にする

6年間にわたる生活面、学習面での指導は、一人一人の児童にとって一貫性があることが大事である。そのため、児童の実態を把握し、取り組んでいることの定着を目指すとともに次の段階への適切な発展的指導を考える上で、教師の連携が欠かせない。学級担任の間での十分な話し合いや、進級時における具体的な申し送りを行い、児童が戸惑うことのないよう指導の一貫性に配慮する。

また、6年間という長い期間を考えると、指導にあたっては個々の児童の実態とともに生活年齢も考慮に入れる必要がある。低・中・高学年を意識した、系統性のある活動目標や内容の設定、集団の大きさやかかわり方などが大切であると捉えている。

自発性を育む活動を工夫する

児童が自ら「やってみよう」「自分もしたいな」と思い、取り組むことが学ぶ力につながると考え、そのような意欲的な姿がたくさん見られるような指導を心掛ける。活動の内容とともに、児童が自分で取り組みやすい手だてや補助具などの工夫も大事である。教師は自らも楽しく活動しつつ、児童の思いを尊重し、見守ったり声かけしたり、一緒に取り組んだり待ってみたりと、望ましい支援を行うようにする。また、児童のささやかな成長や輝く姿を見逃すことなく、認め、褒め、ともに喜び、次への意欲や自信につなげたい。

環境を整備する

学童期は身体の成長が著しい。児童に合った机や椅子であるか、フックや棚は届きやすい高さであるかなど、児童の体格や視線を意識した環境作りに配慮する。学習の場は物や掲示物などを整理整頓して、児童の気持ちが集中しやすく心が落ち着く活動しやすい教室配置を心掛ける。また、楽しく遊んだりくつろいだりできる場を工夫し設定していくとともに、危険のないよう常に安全に留意する。

集団活動の利点を活かす

学校ならではのいろいろな大きさの集団による学習を設定することで教育効果を高める。学級集団、2学級集団、グループ学習集団、小学部縦割り集団、学部集団などのほか、全校縦割り集団や全校集団も編成されている。この際、児童が戸惑わないような配慮は当然必要であり、特に低学年においては学級集団での活動を多くするよう考慮する。

家庭との連携を密接にする

保護者との信頼関係は教育の基盤である。親の願いを受け止め連携を図りながら、ともに児童の育ちにかかわっていききたい。小学部の具体的な取り組みの例は次の通りである。

- ・「今年度の児童の課題や目指したいことのアンケート」

4月に保護者にアンケートをとり、それを参考に学校や家庭での年度目標をたてる。目標を保護者に伝え、学期末などに取り組みについて話し合う。

- ・家庭訪問

5月頃に担任が各家庭を訪問し、児童について話を聞いたり、目標や課題についての話し合いをする。あわせて家庭環境も把握する。

- ・「家庭での食事および生活のリズムについてのアンケート」

5月に1週間にわたって記録してもらい、指導の参考にする。食事のバランスについては、栄養士によるアドバイスを受け、家庭での食生活に活かせるようにしている。

- ・保護者の1日参観

1、3、6年生の児童の保護者が、登校時から下校までスタッフとして学級の活動に参加し、学校での児童の様子を見るとともに、必要に応じ教師のアドバイスで我が子へのかかわり方を実践してみたりする。給食の試食も兼ねている。

- ・連絡帳

児童の学校や家庭での様子や連絡事項を伝え合う。

- ・学級通信

ほぼ毎日発行し、学校での活動の様子や一人一人の児童の姿を伝える。また、指導の観点やその取り組みの様子をいろいろな視点から意図的に伝えていくことで保護者の教育への意識を高めていく。学校や各家庭での他児の様子を伝えていくことで、我が子以外の児童への関心を高め、保護者相互の親近感を深める一助ともしたい。行事や活動についての保護者の感想なども紹介し、今後の参考とする。

- ・懇談会

学期末に各学級で行い、各学期の児童の様子を知らせる「あゆみ」を参考に話し合う。学級全体、学年別、個人別など必要に応じた方法で行っている。

- ・「小学部の月予定」

毎月末に発行し、翌月の予定を伝える。

- ・保護者との対話

登下校の送迎時などを利用した対話を大切にする。

(1) 教科別の指導

国 語

国語では、ことばの意味の理解と表現に必要な『見る・聞く』『話す』『読む』『書く』力を育てたい。このような力を育むにあたり生活に根ざした身近な題材を通した指導や学校生活での様々な機会を捉えた指導が大切であるとする。

① 目 標

- ・日常生活に必要な国語を理解し、表現する能力と態度を育てる
- ・ことばの意味の理解と表現に必要な『見る・聞く』『話す』『読む』『書く』力を育てる

② 学習形態

学級単位においては日常生活の指導や生活単元学習の指導形態の中で学習している。またことばの意味の理解と表現の観点から低学年、中・高学年の中で習熟度別にさらに幾つかのグループを編成した学習形態も取り入れている。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
見る・聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物に注目できる ・相手の話を聞くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の絵本を見る ・絵の美しさ、おもしろさを味わう ・簡単な筋のある絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しむ ・自分の好きな絵本を選んで読んでもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物や食べ物の絵本 ・仕掛け絵本 ・絵本、紙芝居、ビデオ
聞く・話す	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を聞いてしぐさやことばで応じることができる ・助詞を使うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前を呼ばれたら、振り向いたり、挙手をしたり、返事をする ・挨拶をしぐさやことばでする ・身近な人や物の名前がわかる ・自分の要求や思いをしぐさやことばで伝える ・相手としぐさやことばでやりとりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なやりとり ・買い物ごっこ ・かるた遊び ・劇遊び、手遊び
読 む	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名、カタカナ、漢字を読むことができる ・物の名称がわかり文字を選ぶことができる ・文字の聞き取りができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前の文字を見本を見て合わせる ・平仮名や漢字で書かれた自分の名前がわかる ・身近な人や物の名前がわかる ・自分の好きな絵本を選んで読む ・聞いたとおりの文字を復唱したり文字カードを選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前作り ・外来語集め ・自分の名前 ・友だちや先生の名前 ・物の名前 ・学校のまわりの看板探し ・「こぐまちゃん」シリーズ ・文字かるた取り

書	<ul style="list-style-type: none"> 線を書くことに慣れ親しむ 平仮名が書ける カタカナが書ける 漢字が書ける 自分の経験を簡単な文にできる 	<ul style="list-style-type: none"> クレヨンやサインペンで線を書いて遊ぶ 鉛筆で直線や曲線をなぞったり、見本を見て書いたりする なぞり書きをする 見本を見て書く 身近なことばを読んで書く 身近な漢字を読んで書く 先生や家族と話し合いながら文を書く 自分で考えながら書く 助詞や接続詞を使って書く 	<ul style="list-style-type: none"> 線遊び 自分の名前、物の名前 カタカナことば集め 自分の名前、物の名前 書き初め 作文、日記
---	---	---	---

④ 年間指導計画例

児童の実態や保護者の希望などを考慮しながら適宜立案している。

月		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
		グループ										
低 学 年	グループ1	絵本・紙芝居等の読み聞かせ →										
	グループ2	直線、曲線のなぞり → 他の方文字のなぞり → 自分の名前のなぞり → (平仮名) 自分の名前の文字の見本合わせ → 自分の名前の文字構成 → (平仮名) (平仮名) 平仮名50音パズル →										
	グループ3	絵本・紙芝居等の読み聞かせ → ものの名前 → 点つなぎ → なぞり書き → (直線・曲線・自分の名前など)										
中 ・ 高 学 年	グループ1	各児が選んだ絵本の読み聞かせ → 絵日記を書いて発表する → 紙芝居作り → はがきを書こう →										
	グループ2	新しいグループ 積木遊び 平仮名の読み・書き・なぞり → ことばの文字構成 → (一音一文字の指導)										
	グループ3	音読 → なぞり書き (平仮名) → 視写 → 読み聞かせ → ものの名前 →										
	グループ4	絵本の読み聞かせ → 自分の名前の文字の見本合わせ (平仮名) → 自分の名前の文字の読み・なぞり (平仮名) →										

算 数

算数では「色や形を見分ける力」「関係を表すことばを理解する力」「数を理解する力」などを育てたい。このような力を育むにあたり、身近な物や事象を題材にした指導や学校生活での様々な機会を捉えた指導が大切であると考えている。

① 目 標

- ・見本合わせや弁別や分類、仲間集めができる
- ・具体的な操作などの活動を通して、数量や図形や空間などに関する初歩的なことを理解したり、それら を扱う能力と態度を育てたりする

② 学習形態

学級単位においては日常生活の指導や生活単元学習の指導形態の中で学習している。また数量や図形や空間の概念の観点から低学年、中・高学年の中で習熟度別にさらに幾つかのグループを編成した学習形態を取り入れている。

③ 指導項目及び内容

[算数の学習につながる概念形成の学習]

分野	指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
見本合わせや弁別や分類、仲間集め	同じ・違う	・見本合わせ、弁別、分類ができる	・模擬果物や鉛筆、帽子、コップなど身近な物を使って見本合わせや弁別や分類をする	・「同じ物をください」ゲーム
	色 の 認 識	・身近な色がわかる	・色を意識する（赤・青・黄） ・同じ色の見本合わせをする ・色の名前を知る	・〇〇色探し ・色板集めゲーム
	形 の 認 識	・円、三角、四角の形がわかる	・形を意識する（○・△・□） ・同じ形の見本合わせをする ・形の名前を知る	・型はめパズル ・形集めゲーム
	仲 間 集 め	・基準となる属性に基づき仲間集めができる	・身近な物について色や形の属性に基づき仲間集めをする ・身近な物について同じ範疇に入る物どうしの仲間集めをする	・りんごの仲間集め ・果物の仲間集め ・乗り物の仲間集め
空間認識	位置・空間	・位置や空間を理解する	・自分の位置を意識する（教室の場所、座席など） ・位置のことばを理解する（上下・左右、前後、真ん中、〇〇さんの隣など）	・自分の靴箱やロッカーの位置 ・歌遊び ・「むすんでひらいて」 ・絵合わせパズル

量 の 認 識	大 き さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさの概念を獲得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさが明らかに違う2つのボールで大きさを意識する ・ 「大きい」「小さい」のことばを理解する ・ 「大きい」「小さい」は相対的なものであることを知る ・ 「中くらい」のことばを理解する ・ 大きさの順序づけをする ・ 「一番大きい」「一番小さい」がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなボール ・ どちらが大きいでしょう ・ モンテッソーリ教具（円柱さし）
	長 さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長さの概念を獲得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太さ、材質、色が同じで長さが明らかに違う2つの棒で長さを意識する ・ 「長い」「短い」のことばを理解する ・ 「長さ」は太さ、材質、色とは無関係であることを知る ・ 「長い」「短い」は相対的なものであることを知る ・ 「中くらい」のことばを理解する ・ 長さの順序づけをする ・ 「一番長い」「一番短い」がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 背くらベゲーム ・ どちらが長いでしょう ・ モンテッソーリ教具（長さの棒）
	重 さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重さの概念を獲得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ、材質、色が同じで重さが明らかに違う2つの棒で重さを意識する ・ 「重い」「軽い」のことばを理解する ・ 「重さ」は太さ、材質、色とは無関係であることを知る ・ 「中くらい」のことばを理解する ・ 重さの順序づけをする ・ 「一番重い」「一番軽い」がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 力くらベゲーム ・ どちらが重いでしょう
	か さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ かさの概念を獲得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太さ、材質、色が同じで水の量が明らかに違う2つのビンでかさを意識する ・ 「多い」「少ない」のことばを理解する ・ 「かさ」は容器の大きさとは無関係であることを知る ・ 「多い」「少ない」は相対的なものであることを知る ・ 「中くらい」のことばを理解する ・ かさの順序づけをする ・ 「一番多い」「一番少ない」がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色水作り ・ どちらの水が多いかな？

[算数の学習]

指導項目	ねらい	内 容	題 材 例
数と計算	・基準となる属性を見つけて仲間集めをする	・集合作りをする	・仲間集めゲーム
	・1対1対応がわかる	・1対1対応の思考をする	・お皿とスプーン ・給食の配膳
	・数の抽象ができる	・類別をしながら数を抽象する	・りんごはいくつ みかんはいくつ?
	・数の保存概念を獲得する	・数を正しく比較して見本の数量と同じ数量を取る	・同じ数だけ集まれゲーム
	・1～5までの数がわかる	・数量－数字－数詞の数の三者関係を理解する	・輪投げゲーム
	・0の意味がわかる	・何もない集合の集合数を「0こある」と理解する	・輪投げゲーム
	・6～9までの数がわかる	・数量－数字－数詞の数の三者関係を理解する ・数詞の順序が集合の大きさの順序になっていることを理解する ・数詞と「もの」を対応づけることによってその集合の大きさを数詞で知る－数える－ことを理解する	・ボウリングゲーム
	・10までの数の合成、分解がわかる ・足し算、引き算	・10までの数について合成や分解をする ・簡単な足し算、引き算をする	・算数パズル
順 序 数	・順序数を理解する	・1～10までの順序数を理解する (1番目、1等、1回など) ・1～30までの順序数を理解する	・前から何番目? ・朝の会での日付の確認
お 金	・お金の種類がわかる ・教師と一緒に買い物ができる	・1円玉、5円玉、10円玉、100円玉、500円玉について知る ・お金の等価関係を理解する	・買物ごっこ ・買物学習
時 計	・時計を見て時刻がわかる	・9時、10時、などの時刻をよむ ・校時表にでてくる時刻を時計で合わせてみる	・今何時ですか? ・今日のお帰りの時刻は?

④ 年間指導計画例

児童の実態や保護者の希望などを考慮して適宜立案している。

		月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
低 学 年	グループ1	数唱	→										
			1～10までの数の三者関係 → (具体物・数字・数詞)										
	グループ2	果物の塗り絵 → 色カードの見本合わせ → 1～10の数字のシール貼り 1～10の数字カードの見本合わせ 1～10の数順にカードを並べる											
	グループ3	色塗り・色の見本合わせ → 仲間集め(りんご・みかん等)・絵カードの見本合わせ → 型はめパズル → ジグソーパズル → 1対1対応 →											
中 ・ 高 学 年	グループ1	足し算・文章題 → 引き算・文章題 → 時計 → 秤・温度計 → 容量 → ものさし → お金(いくら?)											
	グループ2	積木遊び → 数字のマッチング 色シールの分類 1～10の数字の読み・書き・なぞり → 1～10の数量と数字の対応 →											
	グループ3	形の理解(円、三角、四角) → 1～5までの数 → 色分け(12色) → 型はめ →											
	グループ4	型はめ 色の見本合わせ → 形の見本合わせ →											

音 楽

音楽の授業において大切にしたいことは文字通り「音を楽しむ」ということである。したがって小学部段階ではまず「歌遊び」や「楽器遊び」そして音楽を聴きながら楽しく身体を動かす等の活動を多く取り入れ、音楽に親しむことを大切にしている。そしてそれらの活動を通して豊かな感性や表現力を育むことを目指している。また歌唱においては歌うことだけでなく、手遊びや簡単な身体表現を取り入れることによってどの子ども楽しめるように、器楽においては自分で好きな楽器を選択できるように、鑑賞においてはCDやMDの音楽だけでなく教師の生演奏を通して音の響きやひろがりを感じることができるようにそれぞれ工夫している。

題材・活動内容の設定にあたって

題材や活動内容については季節感を大切にしたりその時々々の流行を取り入れたりに加えて、学習の積み重ねという観点から低・中・高学年の系統性を大切にしている。また教師もともに楽しみながら児童が自発的に活動に取り組めるような支援をすることで児童の個性を活かし、その子らしい表現を認め、尊重していくよう心掛けている。

低学年の特徴

小学部に入学して間もない1年生がいるということで、まだ学校での生活リズムに慣れない子や40分間という長い時間、集中できない子がいる学級である。そこで授業の流れにめりはりを持たせる意味で「歌遊び」「楽器遊び」「音楽を聴く」という3つの活動を取り入れ、それを授業の初めに「1. うた」「2. がっき」「3. きく」などと板書して知らせることで活動への見通しをもたせ、楽しく学習に取り組めるように工夫している。

中学年の特徴

学校生活に慣れてきて活動がダイナミックに、そしてその範囲も広がってくる子どもたちの学級である。授業の初めに活動内容を板書して活動への見通しをもたせるのは低学年と同じである。内容的にはより大きな声で「歌う」、みんなで「リズム合奏をする」、より大きく身体を使って「表現する」というように児童一人一人がより音楽に親しみ、楽しめるようにと考えている。また少しずつ友だちを意識できてくる時期なので「一緒に」という活動も取り入れている。

高学年の特徴

学校生活に十分慣れ、個々の音楽に対する興味・関心も次第にはっきりしてくる子どもたちの学級である。授業の初めに活動への見通しを持たせるようにするのは低・中学年と同じである。高学年ということでこれまでの経験を活かした活動に加えて今まであまり経験してこなかった「旋律楽器」を取り入れたたり、いろいろな「小道具を利用」しての身体表現に取り組んだりして、知識、技能の習得、経験の積み重ねを念頭においた指導計画を立てている。

④ 年間指導計画例

月	表 現			鑑 賞
	歌 唱	身 体 表 現	器 楽 (使用楽器)	
4	「チューリップ」	手でチューリップを作ろう	「アイアイ」(鈴)	「さくらさくら」
5	「こいのぼり」	鯉のぼりを振ろう	「アイアイ」 (メロディーベル)	「はるのおがわ」
6	「かたつむり」	かたつむりになろう	「かえるの合唱」(ギロ)	「あめふりくまのこ」
7	「たなばたさま」	笹を振ってみよう	「たなばたさま」 (ツリーチャイム)	「たなばたさま」
9	「おふねはぎっちらこ」	船を漕ごう	「おもちゃのチャチャチャ」 (タンバリン マラカス)	「ゆりかごの歌」
10 11	「やきいも グーチーパー」	手でグー、チョキ、パー を作ろう	「たこやきなんぼマンボ」 (カスタネット 竹鉄砲)	「小さい秋みつけた」
12	「おなかをポンポン」	体の部位を叩こう	「ジングルベル」 (マリンバ)	「もみの木」
1	「ジャブジャブ音頭」	体を擦ろう	「ミッキーマウスマーチ」 (シンバル)	「北風小僧の寒太郎」
2	「鬼のパンツ」	鬼になろう	「ホ！ホ！ホ！」 (ペットボトル)	「雪のこぼろず」
3	「パンダうさぎコアラ」	パンダ、うさぎ、コアラ になろう	「ホ！ホ！ホ！」 (空き缶)	「ふわふわふわ」

中 学 年

① 目 標

- ・歌うことの楽しさを味わう
- ・打楽器等を、曲を意識しながら鳴らしたり友だちと一緒に鳴らしたりして楽しむ
- ・友だちと一緒に曲想を感じながら楽しく身体を動かす
- ・いろいろな曲を聴いて音楽に親しみ、豊かな感性を育む

② 学習形態

児童6名に対し、教師2～3名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

		ね ら い	内 容	題 材 例
表 現	歌 唱	<ul style="list-style-type: none"> ・CDやMD、また教師や友だちの歌を聴いて、歌う楽しさを感じる ・一人で好きな歌を歌う ・伴奏や友だちを意識して歌う 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を聴きながら体を揺らしたり声を出したりする ・好きな歌や既に覚えている歌を口ずさむ ・伴奏に合わせて歌う ・友だちと一緒に歌う 	「握手でこんにちは」「春の小川」「先生とお友達」「蛙の合唱」「森のくまさん」「たなばたさま」「トンボのめがね」「村祭り」「どんぐりころころ」「たきび」「あわてんぼうのサンタクロース」「豆まき」「うれしいひなまつり」等
	身体表現	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じて体を動かす経験をする ・教師や友だちと動きを通して共感する 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて楽しく体を動かす ・友だちと一緒に身体を動かす(布やロープ等を使って) 	「握手でこんにちは」「かたつむり」「線路は続くよどこまでも」「南の島のハハハ大王」「トンボのめがね」等
	器 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色を楽しむ ・簡単な合奏をする ・合奏の楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな楽器を自由に鳴らし、音の強弱や音色を楽しむ ・音を出さない間(休符)を意識して鳴らす ・曲を意識して鳴らす 	「春の小川」「かえるの合唱」「森のくまさん」「うみ」「山の音楽家」「たなばたさま」「どんぐりころころ」「村祭り」「あわてんぼうのサンタクロース」等
鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな音楽に親しみ、感性を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ・リラックスして音楽を聴く ・音楽を身体全体で感じる ・教師の生演奏も含め、できるだけ生の演奏に触れる 	「花」「おもちゃのシンフォニー」「こきりこ節」「小さい秋みつけた」「きよしこの夜」「ピクニック」「星に願いを」等	

④ 年間指導計画例

月	表 現			鑑 賞
	歌 唱	身 体 表 現	器 楽 (使用楽器)	
4	「チューリップ」	音楽に合わせて体を揺らそう	「春の小川」(タンバリン)	「花」
5	「雨降り熊の子」	熊になって動こう	「こいのぼり」(小太鼓)	「ピクニック」
6	「蛙の合唱」	蛙になって跳びはねよう	「蛙の合唱」(ギロ等)	「おもちゃのシンフォニー」
7	「たなばたさま」	そーっと動こう	「たなばたさま」 (ツリーチャイム)	「星に願いを」
9	「南の島のハメハメハ大王」	楽しく踊ろう	「山のごちそう」 (マラカス、コンガ)	「ドナウ川のさざ波」
10 11	「村祭り」	友だちと踊ろう	「村祭り」(和太鼓)	日本民謡
12	「あわてんぼうのサンタクロース」	プレゼントを持って歩こう	「赤鼻のトナカイ」 (鈴等)	クリスマスソング
1 2	「ゆきのこぼろず」	雪になろう	「スキー」 (トライアングル)	「スケーターズ・ワルツ」
3	「うれしいひなまつり」	おひなさまになろう	「どこかで春が」 (メロディーベル)	四季より「春」

高 学 年

① 目 標

- ・ 歌うことの楽しさを味わう
- ・ 木琴、鉄琴、メロディーベルなどの旋律楽器に親しむ
- ・ 曲想を感じながら、自分なりに身体表現をする
- ・ いろいろな曲を聴いて音楽に親しみ、豊かな感性を育む

② 学習形態

児童6名に対し教師2～3名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

		ね ら い	内 容	題 材 例
表 現	歌 唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師や友だちの歌を聴いて歌う楽しさを感じる ・ 一人で好きな歌を歌う ・ 伴奏や友だちを意識して歌う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌を聴きながら体を揺らしたり声を出したりする ・ 好きな歌や既に覚えている歌を口ずさむ ・ 伴奏に合わせて歌う ・ 友だちと一緒に歌う 	「友達賛歌」「森へ行きましよう」「雨の遊園地」「山のごちそう」「アイスクリームの歌」「みなと」「小さい秋みつけた」「ふるさと」「赤とんぼ」「ドレミの歌」「きよしこの夜」「スキー」「切手のない贈り物」 等
	身体表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想を感じて身体表現する ・ 教師や友だちと動きを通して共感する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を聴いて自分なりのイメージで楽しく身体を動かす ・ 友だちを意識して共に身体を動かす（フープやリボンを使って） 	「森へ行きましよう」「雨の遊園地」「山のごちそう」「まっかな秋」「里の秋」「たき火」「雪のおどり」 等
	現 器 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音色を楽しむ ・ 一人で旋律を鳴らす ・ みんなで順に旋律を鳴らす ・ 合奏の楽しさを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな旋律楽器を自由に鳴らして音の高低や音色を楽しむ ・ メロディーを弾くことを楽しむ ・ 自分の番を意識して鳴らす ・ 旋律や音の強弱を意識して鳴らす 	「森へ行きましよう」「花」「かたつむり」「我は海の子」「山の音楽家」「赤とんぼ」「虫の声」「きよしこの夜」「ドレミの歌」「楽しいね」 等
鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな音楽に親しみ、感性を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リラックスして音楽を聴く ・ 音楽を身体全体で感じる ・ 教師の生演奏も含め、できるだけ生の演奏に触れる 	「おもちゃの行進」「白鳥」「シンコペーテッドクロック」「こきりこ節」「カノン」 等	

④ 年間指導計画例

月	表 現			鑑 賞
	歌 唱	身 体 表 現	器 楽 (使用楽器)	
4	「キラキラいい日」	元気よく歩こう	「ピクニック」 (タンバリン)	「おもちゃの行進」
5	「かっこう」	鳥になって動こう	「森へ行きましょう」 (リコーダー)	「クラリネット ポルカ」
6	「雨の遊園地」	傘をもって歩こう	「雨に歌えば」 (トーンチャイム)	「白鳥」
7	「うみ」	魚になって泳ごう	「われは海の子」 (トライアングル、マリンバ)	世界の民謡
9	「遠足の歌」	いろいろな歩き方で歩こう	「山の音楽家」 (小太鼓、リコーダー、鈴等)	「カノン」
10	「シャボン玉とぼそう」 「どんぐり」	飛んでみよう 転がってみよう	「どんぐり」 (マリンバ)	「小さい秋みつけた」
11	「まっかな秋」	落ち葉になってくるくる 回ろう	「虫の声」 (マリンバ)	「秋の子」 「赤とんぼ」
12	「ジングルベル」	雪になってみよう (Ⅰ)	「きよしこの夜」 (トーンチャイム)	クリスマスソング
1 2	「冬の行進」	雪になってみよう (Ⅱ)	「こきりこ節」 (こきりこ、和太鼓)	「春の海」
3	「ありがとう さようなら」	友達と一緒に踊ろう	「思い出のアルバム」 (マリンバ、トライアングル等)	「喜びの歌」

	2拍子(マーチ他)	3拍子(ワルツ、ポルカ他)	4拍子(フィクス、タンゴ、サンバ、マング、他)	合奏	鑑賞曲
春	花(滝藤太郎)、ちゅうりっぷ 花の街、どじよっこふなっこ あくしゅでこんにちは など	こいのぼり、春がよんでいるよ 森へ行きましよう 河はよんでいる おぼろ月夜 など	春の小川、ピクニック、さくらさくら だれかが口笛吹いた、バラが咲いた めだかの学校、先生とお友達 など	おつかいあいさん 森へ行きましよう ピクニック など	四季(ピクニック) おちのシフォン(ハイドン) など
梅雨	かたつむり、かえるの合唱 など	雨ふりお月さん など	6月の雨、雨の遊園地 など	かたつむり、かえるの合唱 など	雨だれ(ショパン) など
夏	たなばたさま、ほたる アルプス一万尺、静かな湖畔の 浜辺の歌、森のくまさん など	うみ、みなど 山のごちそう エーデルワイス など	南の島のハメハメハ大王、夏の思い出 アイスクリームの歌、おおブレネリ われは海の子、おお牧場はみどり グリーングリーン、せみのうた など	たなばたさま 山のごちそう われは海の子 など	日本民謡 世界の民謡 シンゴベータドラゴック(アンダーソン) など
秋	トンボのめがね、虫の声 村祭り、どんぐりころころ 山の音楽家、やきさんゆうびん 大きな栗の木の下で など	赤とんぼ、菊の花 ふるさと など	小さい秋みつけた、もみじ、里の秋 まっかな秋、七つの子、秋の子 てんとう虫のサンバ 青春時代 など	山の音楽家 どんぐりころころ 赤とんぼ、虫の声 てんとう虫のサンバ など	運命、田園(ベートベン) アイネライネナハトムジーク(モーツァルト) 未完成(シューベルト) カノン(パヘルベル) など
冬	あわてんぼうのサンタクロース ジングルベル、きよしこの夜 たまき、冬の歌、雪のおどり 豆まき など	もみの木 雪山賛歌 など	赤鼻のトナカイ、風も雪もともだちだ スキニー、トロイカ、北風小僧の寒太郎 冬の行進、かあさんの歌、お正月 ベチカ など	あわてんぼうのサンタクロース きよしこの夜 赤鼻のトナカイ など	クリスマスソング ウインナーワルツ 新世界(ドボルジャク) など
早春	うれしいひなまつり、早春賦 ありがとう・さようなら おもいでアルバム など	今日の日はさようなら など	歩いていこう どこかで春が、贈る言葉 春よ来い など	思い出のアルバム 今日の日はさようなら どこかで春が など	春の海(管絃) ピクニック(プロコフィエフ) など
その他	おもちゃのマーチ、汽車ポッポ かわいいかくれんぼ、人形 シャボン玉、ドレミの歌 サッチャーさん、おなかのへるうた おつかいあいさん、ひとりの手 すうじのうた、小さな世界 ふしぎなポケット など	ぞうさん、お猿と鏡 ウンパッパ 車にゆられて 踊ろう楽しいポレレケ 気のいいあひる めだかの兄妹 など	くつがなる、七つの子、友達讃歌 大きな古時計、切手のない贈り物 たのしいね、線路は続くよどこまでも 大きな歌、おもちゃのチャチャチャ 翼を下さい、歌えバンバン、アイアイ だんご8兄弟、ひげじいさん 手のひらを太陽に、四季の歌 この広い野原いっぱい など	ドレミの歌、ウンパッパ 踊ろう楽しいポレレケ 友達讃歌、アイアイ おもちゃのチャチャチャ ふしぎなポケット たのしいね など	行進曲 童謡 器楽独奏曲 (ピグマリオン、フルート等) 室内楽曲 スクリーンミュージック など

図画工作

図画工作は、友だちや先生と一緒に素材となるモノや環境、新しい道具や材料、ワクワクドキドキとするようなテーマとの出会いなどを通して、いろいろなものを見たり触ったりして、感じたことや気づいたことから始める活動である。そして、一人一人の感じ方や味わい方が、みんな違ってみんな良いという個々の良さが認め合える場でもある。自分の意外な発想や工夫が認められ、自分の良さに自信をもったり友だちの良さにも気づいたり認め合えたりする喜びが、表現する楽しさにつながると思われる。

題材の設定にあたっては、あらかじめ目的のある具体的な作品をつくることを必ずしも提示しないで、材料に触れ指先から思いつく発想や連想を一人一人が自由に楽しめる「造形遊び」に絞ったものを取り入れる。また、初めにおよその目的や具体的な主題やテーマがあった方が分かりやすく、目的に応じて夢中になって工夫を加える表現を好む児童がいることも考え、親しみやすい題材を扱うことも取り入れている。実際の指導にあたっては、一人一人に応じた、適切な指導内容や計画・評価が必要である。

低学年では、主として教師と一緒に体全体をつかって造形遊びに参加したり、身近な素材を利用してつくったり、かいたりすることに慣れ親しむことを楽しむ。

中学年では、いろいろな素材や題材に関わることで児童一人一人の心の内に何かを感じたり生じたりしながら、試みや工夫する楽しさを味わう。

高学年では、さらにいろいろな素材や題材、道具を経験しながら自分らしさを大切にしたり、目的や用途に応じた表現活動も取り入れていく。

低 学 年

① 目 標

- ・身近な材料をもとに、からだ全体を使って楽しむ
- ・身近な材料を使って、楽しみながら自由にのびのびとかいたりつくったりする
- ・自分たちの作品を見て楽しむ

② 学習形態

児童 6 名に対し、教師 3 ～ 4 名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
造形遊び	・身近な材料をもとに、からだ全体を使って楽しむ	・絵の具遊びや粘土遊び、紙遊びなど、身近な材料をもとに、からだ全体を使って楽しむ	・クレヨンでかこう ・手がたもよう ・足がたもよう ・コロコロもよう ・ポンポンもよう
表 現	・身近な材料を使って、楽しみながら自由にのびのびとかいたりつくったりして表現する	・身近な材料を使って、楽しみながら自由に手や足、からだ全体でのびのびとかいたりつくったりして表現する	・紙をそめよう ・あわせ絵をしよう ・こむぎこねんどであそぼう ・スライムであそぼう ・土ねんどであそぼう
鑑 賞	・自分たちの作品を見て楽しむ	・自分の作品や友だちの作品を見る	・紙ねんどでつくろう ・しんぶん紙であそぼう ・ロールペーパーであそぼう ・ちぎって、はろう ・紙はながをしよう

④ 年間指導計画例

月	単元 または 題材	材 料 ・ 活 動
4	クレヨンでかこう	絵の具、クレヨン；自由にかいてはじき絵に…
5	手がたもよう 足がたもよう	絵の具；大きな紙に手形を押して… 絵の具；大きな紙の上を歩き回って…
6	コロコロもよう ポンポンもよう	絵の具；ローラーを転がして… 絵の具；タンポでたたいて…
7	紙をそめよう あわせ絵をしよう	絵の具；障子紙を折って絵の具で染めて… 絵の具；色画用紙に筆で描くデカルコマニーに
9	こむぎこねんどであそぼう スライムであそぼう	小麦粉；水で溶いた小麦粉で自由に指絵を… スライム；スライムを手でぐちゃぐちゃ…
10	しんぶん紙であそぼう	新聞紙；破ったり、引っ張ったり、丸めたり…
11	ロールペーパーであそぼう 土ねんどであそぼう	ロールペーパー；ちぎって、ぬらして、しぼって 土粘土；ちぎったり、丸めたり、重ねたり…
12	紙ねんどでつくろう	紙粘土；板に自由に貼り付けて…
1	ちぎって、はろう	色紙や包装紙など；ちぎって、貼って…
2		お花紙；丸めて、貼って…
3	紙はんがをしよう	紙、毛糸、布、絵の具；貼り付けて、こすって…

中 学 年

① 目 標

- ・身近な材料のなかでも、形や色や質感などに特徴のあるものと触れる機会を多くし、思いつく発想や連想を一人一人が自分なりに楽しむ
- ・身近な用具にも触れ親しみ、いろいろな試みや工夫する楽しさを知る
- ・見たこと感じたことを絵にかいたり、つくったり、飾る経験をする
- ・自分の作品や友だちの作品を見る楽しさを知る

② 学習形態

児童6名に対し、教師2～3名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
造形遊び	・身近な素材に触れ感じたり試したりする	・いろいろな形や色や質感など違うものを触ったり、踏んだり、のぼしたり、まげたり、切ったり、くっつけたりして面白い遊びをしよう	・〇〇と友だち（土、木、石、プラスチック、アルミなど） ・操作を通して（チョキチョキ、クシャクシャ、ペタン、積んで積んで、つなぐ、くっつけ） ・環境によって（〇〇広場、光、音、香など）
表 現	・感じたり思ったことを表す	・思い思いに試したり、工夫したりしながら、自分の好きなかき方やつくり方をみつけよう ・身近な用具に親しもう	・好きな色やかき方をみつけよう（好きな色大集合、にじませて、点・線・面、夏の思い出など） ・木工具（鋸、金槌など） ・接着剤（ボンド）
鑑 賞	・自分の良さや友だちの良さに気づく	・自分の作品や友だちの作品を飾ってみよう	・授業を振り返る（ビデオ利用） ・掲示

④ 年間指導計画例

月	単元 または 題材	材 料 ・ 活 動
4	土と友だち	砂、土、粘土、水で自由に遊んで… 手や足で踏んだりのぼしたりして…
5	チョキチョキ、ペタペタ	いろいろな材料を切ったり貼ったりして… (紙、布、毛糸などを使って)
6	にじませて	絵の具を使っていろいろ試しながら… (水彩絵の具の効果や紙の効果を使って)
7	うちわをつくろう	染めた和紙や色紙やホイル紙を使って…
9	夏の思い出	貝や小石など思い出の材料を使って…
10	自然からのおくりもの	草木や木の実、小石などを並べて…
11	木と友だち ふね 木版画	いろいろな形を並べたり積んだりして… ふねをつくろう 鋸や金槌に挑戦! 彫刻刀を使って…
12		
1	くっつけ、つながれ	いろいろな材料を集めて…
2	鬼の顔	大きな紙袋に何をしよう
3	もうすぐ春だよ	土の中の世界を想像して…

高 学 年

① 目 標

- ・いろいろな材料や用具・活動をさらに経験し、形や色や質感などに慣れ親しむ
- ・見たことや感じたことを自分なりの方法で絵にかいたり、つくったり、それを飾ったり、使ったりする
- ・友だちの作品や身近な社会にあるいろいろな造形品を見る楽しさを知る

② 学習形態

児童6名に対し、教師2～3名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
造形遊び	・いろいろな素材に触れ、感じたり、試したりする	・形や色や質感などが違ういろいろなものを触ったり、用具を使ったり、場に親しんだりしながらイメージを広げたり、扱いに慣れたり場に働きかけたり、使ってみたりしよう	・〇〇とあそぼう（布、紐、針金、発泡スチロールなど） ・いろいろな表現技法を学んで（スタンピング、版にして、立体にして、動くものなど） ・環境によって（公園、玄関、屋根など）
表 現	・感じたり思ったことを生かして表す	・自分の考えや感じに合う表し方を見つけたり大切にしたりしながら、工夫して表そう ・いろいろな用具に親しもう	・目的のあるもの（飾るもの、使うもの、プレゼントするもの） ・変化や効果を工夫して（ぼかし版、回転など） ・工具（電動糸鋸機、のみ、鉋、彫刻刀、カッターナイフなど） ・接着剤と塗装
鑑 賞	・自分や他人の作品を見る楽しさを味わう	・自分の作品や友だちの作品や身近な社会にある造形品を見よう	・授業を振り返る（ビデオ利用） ・掲示 ・街で見つけよう ・美術館に出掛けよう

④ 年間指導計画例

月	単元 または 題材	材 料 ・ 活 動
4	サクラをみんなで描こう	スタッピングで版にしながら…
5	こいのぼり	絵の具のグラデーションを使って… 模様とはじき絵の効果を知ろう
6	粘土	粘土であそぼう
	レリーフの壁画	道具を使って粘土に何をしよう
7	七夕かざり	切ったり貼ったり折ったりして…
9	ぶどう	色の変化やステンシルを利用して描こう
	夏休み作品展	いろいろな作品を観てこよう
10	わたしの顔	ちぎった色紙や毛糸を使って…
	木と道具	いろいろな道具に慣れ親しもう
11	県立美術館へ行こう	地域にある造形品を観てこよう
12	皿と器 (やきもの)	粘土でたたら板づくりや模様を描こう
1	そり	木と道具を使って、みんなで…
2		
3	おくりもの	友だちに残すものをつくろう

資料

一部商品名をそのまま使っていたり、単純に分類できないものも便宜的に表している

① いろいろな材料（素材）

身近な自然の中で見つけれられるもの

- 土（赤土、黒土、粘土など）
- 石（川原で拾える石、穴を掘って出てきた石など）
- 砂（荒い砂、細かい砂、白い砂、川の砂、海の砂など）
- 水（清水、雨水、泥水、川の水、池の水、海の水など）
- 植物（草花の花、葉、実、木の葉、木の実、樹木、枯れ枝、竹、穀物など）
- 動物（貝殻、羽、毛など）
- その他

身近にある準備しやすい材料

- 紙（折紙、千代紙、包装紙、はがき、紙テープなど）
（画用紙、工作用紙、水彩紙、ケント紙、トレーシングペーパーなど）
（トイレットペーパー、新聞紙、段ボール、キッチンペーパーなど）
（和紙、版画紙、フラワーペーパーなど）
（アルミホイル、スチレンボードなど）
- 木（ベニヤ板、集合材など）
（コルク材、バルサ材、ボード材など）
- 土（紙粘土、油粘土、小麦粉粘土、合成粘土、土粘土、テラコッタ粘土など）
- 石（天然石、合成石、タイルなど）
（石膏、セメント、石けんなど）
- 布（綿、ナイロン、不織布、テープ、リボンなど）
- 糸（毛糸、綿糸、絹糸、ナイロン糸、テグス、モールなど）
- 金属（アルミ板、銅板、釘、針金など）
- プラスチック（アクリル板、発泡スチロール、スポンジ、セロファン、ビーズなど）
- その他

身近な生活の中で出会える素材として面白い家庭用品や廃品物

コップ類、皿、ビン、ペットボトル、あき缶、ストロー、割り箸、竹串、楊枝、網、あき箱、紙袋、あき容器、スポンジ、梱包材、口金、ロープ、紐、ホース、ハンガー、植木鉢、古くなった衣類、軍手、ボタン、バック類、玩具、バケツ、傘、ゴム、磁石、洗濯ばさみ

・・・など

② いろいろな用具や技法

絵の具類

- 水性絵の具（透明水彩、不透明水彩、固形絵の具、粉絵の具など）
- 油性絵の具（マーブリング用など）
- ポスターカラー（ビニル系絵の具、ネオカラーなど）
- アクリル絵の具
- 塗料（ラッカー、ニス、カシューなど）
- インク類（版画用など）
- その他

筆記具類

- 無彩（鉛筆、墨、木炭、コンテなど）
- 有彩（色鉛筆、水溶性色鉛筆、耐水性色鉛筆、クーピー、クレヨン、パスなど）
 - 水性ペン類（水性サインペンなど）
 - 油性ペン類（油性マジックなど）
 - 顔料ペン類（ポスカなど）
- 消しゴム
- ペインティングナイフ、へらなど

用具（道具）類

- 筆、はけ、ブラシ、ローラー、糸、ストロー、ビー玉、霧吹き、網、割り箸、竹、布、ティッシュ、スポンジ、たんぽ、スプレーなど
- へら、型、たたら板、糸、回転台、芯材など
- はさみ、定規、カッターナイフ、彫刻刀、のみ、のこぎり、鉋、金槌、ペンチなど
- のり、木工ボンド、セメダイン、合成ゴム系接着剤、スプレーのり、セロテープ、ビニルテープ、クラフトテープ、布テープ、両面テープなど

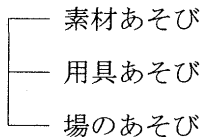
表現方法（技法）

- からだ（手、足、全身、指など）を使って
- 用具や道具を利用して
- 版画（凸版、凹版、平版、孔版）
- いろいろな効果を利用して
 - 墨流し（マーブリング）
 - 合わせ絵（デカルコマニー）
 - ぼかし網（スパッタリング）
 - にじみ絵
 - 染め
 - ドリッピング
 - ウォッシング
 - こすりだし（フロッタージュ）
 - はじき絵（バチック）
 - はり絵（コラージュ）
 - 糸で描く（ストリング）
 - ころがし絵
 - その他

③ いろいろな活動例

- (1) 便宜上、要素ごとに分類を試みましたが、実際の活動や展開のなかでは、いろいろなことが関連し合っていることが多いし、発展性もあると考えます。
- (2) 横や縦の並びが、必ずしも段階を考慮したものではありません。ベースになるものを大切にしながら、少し次へのステップを意識するためのものです。

造形あそび



体全体で自由にあそぶ

色や形や材質に関心をもってあそぶ

材料や用具を選んで

ものや場の特徴を生かしながらあそぶ

(泥や粘土)

のばしたり、ちぎったり、
まるめたり、並べたり

筋をつけたり、穴をあけたり

飾ったり、置いたり、試したり
使ったり

(描画材)

思いのままにかく
点で、線で、

かくものにかく
平面を塗る

かきたいものにかく
塗りたいものに塗る

(版にして)

版になる面白さ
身近にある器物を使って

版に関心を寄せて

版にすることを楽しむ

木の葉や野菜を使って

いろいろな材料や用具を選んで

紙や粘土などを使って

道具などを使って

(その他)

並べたり、積んだり、崩したり

ちぎったり、まるめたり、折ったり、つぶしたり

切ったり、貼ったり、くっつけたり

組み合わせたり、つないだり

集めたり、探したり

形を変えたり、色をぬったり

(場を考えて)

教室、廊下、体育館、校庭、砂場、水場、斜面、樹木、公園、川、砂浜、・・・

(自然現象を利用して)

雨、風、雪、光、・・・

(協力して) 友だちと、先生と、家族と、地域の人と、・・・

絵や立体に表す

つくりたいものをつくる

- 思いのままにかく、つくる
- 決めてつくる
- 見て、感じて、考えてつくる

形をかく、つくる

いろいろな形に関心をもつ

形を版にして

形の面白さを組み合わせたり、
組み立てたり

形や材質の違いを感じたり
生かしたり

色

いろいろな色に関心をもつ

基本的な2～3色を使って

使う色を少しずつ増やして

色の変化や効果を利用して

決めてかく

体験したことをかく

身近なものの色や形に着目してかく

かきたいものを、よく見てかく

見たこと、感じたこと、考えたことをかく

主題を決めてかく

主題のあるもの

体験したこと、

見たもの、見つけたもの

好きなものを伝える

飾るために、プレゼントするために

思いついたことから

感じたことから

必要だから

活動を始めるきっかけ

自分の思いつきから

先生の提案から

共同製作

友だちと一緒に 先生と一緒に OOさんと一緒に

鑑賞

自分の作品を見る

自分の作品や活動を友達や先生と見せ合う

自分や友達の作品の良さに気づく

自分や友達の作品を大切にす

自分や友達の作品以外にも興味をもつ

美しい自然や造形品に関心をもつ

体 育

体育の授業においては、からだづくりと集団行動の基本を身につけることが指導の大きな観点である。また、運動会、水泳教室、そりすべり等、行事や季節に応じた活動も大切にしている。楽しく活動に取り組む中で身体を十分に動かし、運動することが好きになっていくことを願っている。

指導の観点

まず第一に安全面から集団としての行動の基本（集まる、並ぶ、立つ、座る等）を身につけることをめざしたい。また、小学部ではからだづくりはすなわち「動きづくり」であると捉え、調整力を養うことを主な内容としている。歩く、走る、転がる、跳ぶなどの基本的な動作を大切に、身体を十分に動かすことをめざしたい。そのために運動用具や運動の場の設定を工夫・配慮し、楽しく伸び伸びとその子なりに力いっぱい取り組めるようにする。

ねらい

低学年では運動に「慣れる」ことを目標に個人に焦点を当て、基本的な動きを経験させることに重点をおいている。

中・高学年では、それぞれ運動に「親しむ」、「体力に応じて力一杯行う」ことを目標にして集団で身体を動かすことの楽しさをねらい、基本的な動きに加え、ものや人を介した活動を行うことに重点をおいている。

① 目 標

- ・いろいろな運動に楽しく取り組みながら、基本的な動きを身につける
- ・集団としての行動の基本を身につける
- ・調整力（平衡性、敏捷性、巧緻性、協応性、柔軟性）や瞬発力の向上をはかる
- ・順番を待つ、友だちのプレーを見る、ルールを守るなど集団の中でその場や状況に応じた行動ができるようになる
- ・個々の体力に応じて力一杯運動する

② 学習形態

低学年と中・高学年に分かれて別々の時間に行っている。

- ・低学年………6名の児童を教師3名で指導する
- ・中・高学年…12名の児童を教師5名で指導する

水泳教室では全児童を実態に応じて縦割りの3グループに編成し、教師10名で指導する

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	実 践 例
基本の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な決まりを守り、安全に楽しく運動する ・体を温め柔らかくしておくことで怪我を防ぐ ・友だちやコースを意識して歩いたり、走ったりすることに慣れ、各自の体力に応じて力一杯行う ・音楽（曲）に慣れ、自由に動いたり、先生や友だちと同じような動きをする ・日常生活の基本的な身体活動を十分に体験する 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まる、並ぶ、立つ、座るなど ・身体の各部位を十分動かしたり、伸ばしたりする ・先生や友だちと一緒に走る ・中、高学年はバトンの受け渡しもする ・曲に合わせて自由に動いたり、先生の動きを見て歩く、走る、しゃがむなどをする ・階段や坂の上り下り、長い距離を歩くなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合・整列 ・ランニング ・ラジオ体操 ・ストレッチ体操 ・30m走 ・リレー ・運動会の行進や集団演技 ・リズム遊び ・校内の階段を利用 ・散歩
器具、用具を使った運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム的な内容を取り入れ、体を動かすことの楽しさを体験する ・簡単な決まりを守り、友だちや先生と一緒に安全に運動する ・ボールを使うことに慣れ、先生や友だちと一緒に楽しむことができる ・縄を意識しながら楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・マットで横ころがりや前転をする ・平均台の上を歩いたり、下をくぐったりする ・跳び箱を使ってまたいだりよじ登ったり、跳び越したり、飛び降りたりする ・マット、平均台、跳び箱ジャンピングボード、フロアカーなどを使い、繰り返し体を動かす ・転がす、投げる、受ける、的に当てる、蹴る、走って蹴る、蹴ってから走る、つく、高く上げる、入れるなどを取り入れる ・大縄をまたいだり、跳び越したり、くぐったりする ・先生や友だちと縄を引っ張り合ったり、重たいものを引いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・連続で横ころがり ・連続で前転 ・横歩き、前歩き ・腹這いや四つん這いでくぐる ・跳び箱を使って体を動かす ・サーキット的な運動 ・先生や友だちとキャッチボール ・ボール送りゲーム ・バスケットのシュート ・サッカーのシュート ・円形ドッチボール ・フットベースボール ・大縄を使った運動 ・綱引き遊び

水 泳	<ul style="list-style-type: none"> ・水に慣れ楽しく遊ぶ ・水の中での動きを体験する ・いろいろな決まりを守り安全に運動する ・一人泳ぎを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅いプール（ビニールプールや膝より浅いプールなど）で、おけやじょうろを用いて水をすくったり、かけたりして遊ぶ ・水中を先生と一緒に歩く ・先生と一緒にもぐってみる ・ビート板やヘルパーを使い体が浮くことを体験する ・一人で泳ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニールプールで水遊び（低学年） ・シャワー ・水のかけあい ・ビート版やヘルパーを使いバタ足で進む ・各自の目標まで進む
雪 遊 び	<ul style="list-style-type: none"> ・雪遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の上をバランスよく歩く ・雪合戦やそり滑りを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・雪道を歩く ・グラウンドや近くの山でのそり滑り
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友だちと全身を使って遊ぶ ・音楽を聴きながら自由に踊ったり、表現したりすることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友だちと押ししたり、組んだりして楽しむ ・広い場所を自由に使って自分なりに表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・すもう ・おしくらまんじゅう ・自由に表現して踊る

④ 年間指導計画例

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運動会及び練習			器具、用具を使った運動				雪遊び・サーキット			
体力測定及び練習							フットベースボール			
ボール運動、水泳			→							
準備運動（ランニング、ラジオ体操、ストレッチ） →										
集団での動きを習得する（合図で集まる、並ぶ、座る、立つ） →										
全員で走る（直線コース） →										
リズム運動 →										

(2) 領域・教科を合わせた指導

日常生活の指導

小学部では、日常生活の指導を教育の大きな柱の一つと位置づけ、様々な機会を捉えて根気よく丁寧な指導を行っている。またその機会は一人一人の子どもとじっくり向き合う大切なかわりあいのひと時という考え方をしている。基本的な生活習慣を育むために特に大切に考えていることは以下の点である。

適期を大切にする

子どもが小さいうちに指導を始めることが大切である。ここでいう「小さいうちに」には2つの意味がある。一つは、まだ望ましくない習慣が身についていない幼いうちに、より望ましい方法や形を指導していくことが必要であるということである。もう一つは、身体で動きを覚えてほしい内容についての指導は、子どもの体格が小さいうちが有効であるということである。小学部では子どもの身体を後ろから抱えるようにして、子どもの立場に立った動きを指導していくことを心掛けている。

このような観点から、特に低学年での指導の意味は大変大きいと言える。

一貫性を大切にする

基本的な生活習慣は、一人一人の子どもにとって生涯にわたって必要とされることであり、そのためには身につくまで長い期間、根気よく積み重ねが必要である。それ故、どの教師がかかわっても同じような指導を行えるように、その子にとっての一貫性を共通認識して取り組んでいくことが重要である。また、子どもの成長や基本的な生活習慣の定着に伴って発展的な指導を配慮していくことも大切である。

子どもが自分で取り組みやすい方法・手立てを工夫する

子ども一人一人に適したかわり方や方法を配慮することで、より身につけていきやすくなる。指導の観点が子ども自身に分かりやすいように、ものの色や形、大きさを工夫したり、補助具を利用したり、取り組む順序性を考慮したりすることが必要である。

家庭との連携を密接にする

基本的な生活習慣は家庭生活での比重が大変大きい。学校での取り組みが家庭でも同じようにできることを目指すためには、学校と家庭の両面において統一した方針でかかわっていくことが大事である。また、日々の取り組みの中での子どものささやかな成長を共に喜び合う姿勢を大切にしていきたい。

① 目 標

- | | |
|-------|---|
| 低 学 年 | 学校生活のリズムを身につけ、毎日元気に通学できることを目指す
学校生活に慣れながら、基本的な生活習慣の基礎を学ぶ |
| 中 学 年 | できるようになってきたことの定着を図るとともに、まだ難しいことは継続して学んでいく
自分から進んで取り組もうとする姿勢を育む |
| 高 学 年 | できるようになってきたことの定着を図る
同時に、場所や相手が異なってもできるようになることを目指す |

② 指導項目及び内容（各項目ごとに、時間的流れに沿った記載をしている）

指導項目	内 容	備 考
登 校	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの乗降の際、あいさつをする ・スクールバスの中でのマナーを守る ・交通安全に気をつけて歩く ・寄り道しないで登校する ・持ってきた傘をクラスの傘入れに入れる 	信号を守る
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に（大人や友達のまねをして）あいさつをする ・相手を意識して元気よくあいさつをする ・自分から進んであいさつをする ・時や相手に応じたあいさつをする 	
靴のはきかえ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のロッカーから内履きズックを出す ・左右間違えずに履く ・立ったまま片方ずつはきかえる ・脱いだ靴をそろえてロッカーに片づける 	ロッカーに自分のマークをつける 左右の目印をつける かかとの引っ張り紐をつける
教室移動	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師と一緒に教室に行く ・自分の教室が分かり、一人で行く 	
ランドセルの片づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼうしをかける ・ランドセルやカバンを自分の机の上に置く ・連絡帳、宿題を担当の机に出す ・筆箱、給食タオルを机の中に入れる ・ランドセルやカバンをロッカーの中に入れる 	フックに自分のマークをつける
着 替 え	<ul style="list-style-type: none"> ・季節によりコートを脱いで掛ける ・自分のロッカーから脱衣カゴを持ってくる ・上着、ズボンを脱いで自分のカゴに入れる ・体操服を着る ・身だしなみを整える ・脱いだ服を表に返してたたみ、カゴに入れて片づける ・脱衣カゴを自分のロッカーに片づける 	中・高学年の女子は更衣室で着替える 前後、裏表が確認できる目印をつける 服のすその手で持つ箇所に目印をつける
学級朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする ・朝の歌を歌う ・名前呼びをする ・カレンダー調べをする ・今日の予定を知る ・学級の活動をする ・終わりの挨拶をする 	
休 み 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出る場合はズックを履き替える ・次の活動が始まるまでにトイレをすませておく ・友だちと仲良く遊ぶ ・遊んだ後は玩具などを片づける ・決められた場所で自由に遊んだり休んだりする 	ブランコの順番を待つ等ルールを守る 安全に留意する
排泄（男：小）	<ul style="list-style-type: none"> ・「男」のマークを見てトイレに入る ・トイレの入り口の戸を静かに開閉する ・空いている便器の前に立つ ・ズボンを下げずにファスナーを下ろし、用をたす ・終わったらファスナーを上げる ・手を洗い、ハンカチをひろげて拭く 	ファスナーの引っ張り紐をつける 手の大きさに合ったハンカチを使う 便器内に目印を貼る

排 泄 (男:大,女)	<ul style="list-style-type: none"> ・「男」「女」のマークを見てそれぞれのトイレに入る ・トイレの入り口の戸を静かに開閉する ・空いているトイレを見つける ・ドアをノックしてから開ける ・トイレに入り、カギをかける ・ズボン、パンツを下げて用をたす ・トイレットペーパーを巻き取り、きれいに拭く ・ズボン、パンツをあげ、服の裾を入れる ・水を流す 洋式トイレはふたを下ろす ・手を洗い、ハンカチをひろげて拭く 	ペーパーは丸めこまないようにする
給 食	<ul style="list-style-type: none"> ・スモックまたはエプロンを身につける ・手を洗い、ハンカチで拭く ・席に座っておしぼりを出す ・協力して配膳する（準備ができるまで静かに待つ） ・「いただきます」のあいさつをして食べる 主食とおかずを交互に食べる よくかんで食べる 好き嫌いしないで食べる 箸やスプーンを正しく使う 口元が汚れたらおしぼりで拭く ・食べた後「ごちそうさま」のあいさつをする ・食器を片づける ・机をきれいに拭く ・おしぼりを片づける ・はみがきの後、スモックやエプロンを脱いで掛ける 	<p>ボタンの大きさ・色の工夫をする 紐の左右が分かる工夫をする</p> <p>主食は左、副食は右に置く</p> <p>汚れた場合は持ち帰る</p>
は み が き	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のコップと歯ブラシを持って手洗い場に行く ・口をゆすいでからはみがきをする ・ハンカチで口元を拭いてコップ、歯ブラシを片づける 	仕上げを教師がする
掃 除	<ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子を移動する（できる子は持ち上げて運ぶ） ・モップやホウキでゴミを集める ・ぞうきがけをする（ひざをつかないで拭く） ・使った用具を片づける ・机や椅子を元の位置に並べる ・反省会をしてから手を洗う 	から拭きする（週末に雑巾洗い）
帰 り じ た く	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに行く ・ロッカーからランドセルを持ってくる ・ぬれたハンカチを新しいものと取り替える ・ランドセルに筆箱や連絡帳、宿題を入れる ・季節によりコート等を着る 	体操服とエプロンのハンカチを新しいものと取り替える
終 わ り の 会	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめます」のあいさつをする ・今日の出来事をふりかえる ・明日の予定を知る ・下校方法の確認をする ・帰りの歌を歌う ・「さようなら」のあいさつをする 	がんばった点を認めて褒める
下 校	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関で靴を片方ずつ履き替える ・脱いだズックをそろえてロッカーに片づける ・あいさつをして帰る ・スクールバス乗車の際、あいさつをする ・必要に応じて傘をさす 	一人下校の指導を行う 安全確認をする

※学校生活全般を通して指導を行う。

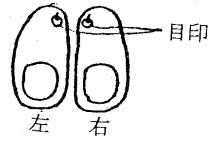
資料

衣服の着脱等の手がかかりとなる工夫

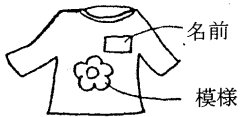
- 靴やズックの踵の引っ張り紐



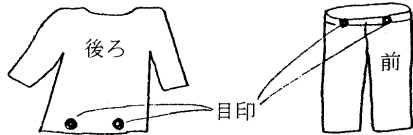
- ズックの左右がわかりやすい目印



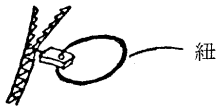
- 衣服の前後がわかりやすい目印や模様



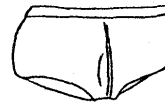
- 衣服の前後が逆にならないように、着る・はく時に手で持つ位置の目印



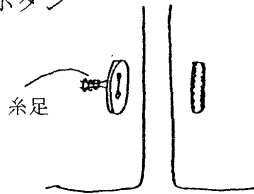
- ファスナーを上下しやすい引っ張り紐



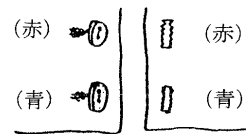
- 出し入れしやすいように、かけ合わせを浅くした男子の改良パンツ



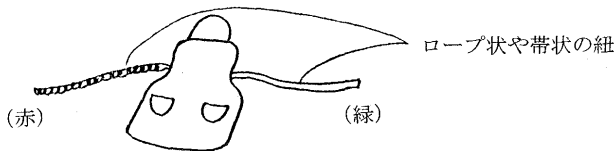
- ボタンのかけはずしがしやすいように、糸足を長くしたゆるめのボタン



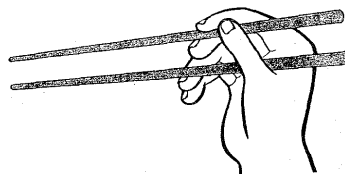
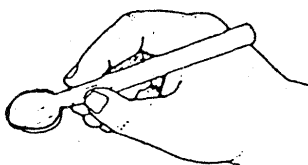
- ボタンをかけるまがわないように、同じ色に合わせたボタンとボタンホール



- エプロンの紐が結びやすいように、左右の色や素材を異なるものにした紐



- 3点で支持をしたスプーンや箸の持ち方



※ いずれの手がかかりも、自分でできるようになったら、自立たなくしたり、取り除いたりしていく。

生活

小学部は1年生から6年生の児童で構成されており、生活年齢に幅がある。また、生活経験の内容やその程度、興味・関心、対人関係の広がり等、一人一人異なっている。

11の観点を網羅した指導内容

指導内容を設定するにあたっては、学習指導要領の生活科の内容の「基本的生活習慣」「健康・安全」「遊び」「交際」「役割」「手伝い・仕事」「決まり」「金銭」「自然」「社会のしくみ」及び「公共施設」の11の観点をすべて網羅されるように計画を立てている。

指導にあたっては、いくつかの観点を組み合わせて、実際的な活動を通して行うように留意している。

低学年の特徴

入学して、初めての学校生活を送る1年生がいる学級である。そこで、身近なことや季節の行事に関する活動を経験すること、そして、それらを継続していくことで、学校生活に慣れていくようにする。また、仲間意識を育むことや、歩いたり、遊具で遊んだりすることによるからだづくりも大切なことである。子どもにとっては初めての活動が多いので、きめ細かい手順に配慮し、楽しくゆったりとした気持ちで取り組んでいくことができるようにしたい。

中学年の特徴

小学部での中間にあたる学級である。学校生活にも慣れてきて、余裕をもって活動できる時期であり、また友だちに対する意識が高まる時期でもある。そこで、地域社会に出掛ける、今までの経験を活かした新しいことをする等、生活経験の幅を広げることを大切にしていく。また、係活動を通して友だちや身近な人とかかわりを広げたり、深めたりすることも重要である。

高学年の特徴

中学部へつなげる学級として位置づけられている。また、修学旅行や合宿といった泊を伴う学習があったり、清掃が日課に取り入れられたり、5限の日が週2回になる等学習活動が時間的、空間的に更に広がりをもつようになる。低学年、中学年で行ってきた学習活動を更に積み上げることを念頭においた学習活動が展開されることになる。同じ単元や題材でも内容が高度になり、これまでに経験しなかった素材や材料、道具が登場するのも高学年である。

低 学 年

① 目 標

- ・身近なことや季節・行事に関する活動を経験することで、生活の幅を広げる
- ・友だちと一緒に活動に取り組んでいくなかで、仲間意識を育む
- ・身近な自然に親しむ
- ・散歩をしたり、遊具で遊んだりすることで、楽しみながらからだ作りを行う

② 学習形態

児童6名に対し、教師3～4名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
校外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然に親しむ ・公共施設・機関の利用を経験する ・地域や社会とのかかわりを広げる ・散歩等を通してからだづくりを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩するなかで、季節の草花に触れる ・路線バス等を利用したり、いろいろな公共の機関・施設を見学したり利用したりする ・地域のお店へ買い物に行ったり、イベントに参加したりする ・近くの公園まで友だちと手をつないで歩いて行き、遊具等で遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・兼六園へ花見（季節毎に） ・落ち葉拾い、どんぐり拾い ・周遊バスでアトリオへ ・路線バスで金大祭へ ・ミスタードーナツ ・「中尾」のたいやき ・県立美術館 ・ひまわりチェーンでお買い物 ・天神町緑地 ・天神町児童公園 ・内灘恐竜公園 ・内川スポーツ広場 等
調理学習	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な調理を楽しむ ・調理器具の扱いに慣れる ・作ったものを美味しく味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・作ってすぐ食べられるものを調理する ・袋を開ける、材料を入れる、混ぜる、皿に入れる等の簡単な活動を分担して行う ・泡立て器、フライ返し、おたま等の調理器具を扱った調理をする ・みんなで一緒に美味しく食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・フルーチェ ・かき氷 ・ホットケーキ ・カップケーキ ・たこ焼き ・あんこカステラ ・お好み焼き ・焼きそば ・焼きりんご ・りんごあめ 等
栽培学習	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然との関わり合いを広げる ・草花を見て季節を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・プランターに花の球根や野菜等の苗を植える ・プランターに水やりをする ・収穫した野菜等を食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラジオラス ・プチトマト ・チューリップ 等

行事に向けた学習	<ul style="list-style-type: none"> ・季節的行事を通して、様々な経験をする ・学校行事や準備を通して、様々な経験をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事に関する活動をする ・学校行事に向けての準備や練習をする ・学校行事に向けて飾りや道具を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・母・父の日のプレゼント作り ・七夕飾り作り ・クリスマス飾り作り ・書き初め、そり滑り ・運動会のポスター ・表現会の練習 ・バザーの準備 ・卒業生を送る会のだしもの ・味噌蔵町小への手紙 ・ひな祭りのプログラム作り <p style="text-align: right;">等</p>
遊び学習	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び・ゲームを通して人とのかかわりを広げる ・簡単なルールや道具の操作を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや教師と一緒にゲームを楽しむ ・簡単なルールや道具を操作するゲームを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・魚つりゲーム ・黒ヒゲ危機一発ゲーム ・イス取りゲーム ・カルタ取り <p style="text-align: right;">等</p>
その他の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいティータイムを過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物やおやつを飲食しクラスでティータイムを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティータイム

④ 年間指導計画例

指導項目	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
校外学習	兼六園	天神町緑地						落ち葉・どんぐり拾い			
		アトリオ					金大祭	ひまわりチェーン			
							ミスタードーナツ				
調理学習			かき氷				あんこカステラ				
		フルーチェ		たこ焼き		お好み焼き		焼きそば			
				ホットケーキ		焼きりんご		りんごあめ			
行事に向けた学習	運動会の練習						表現会の練習・準備	そり滑り			
	七夕飾り						クリスマスの飾り				
	母・父の日のプレゼント						バザー	書き初め			
栽培学習		プチトマト	—————→								
		グラジオラス	—————→				チューリップの球根植え				
遊び学習			魚つりゲーム					カルタ取りゲーム			
	イス取りゲーム						黒ヒゲ危機一発ゲーム				
その他の学習	ティータイム	—————→									

中 学 年

① 目 標

- ・季節、行事に関する活動を行うことで生活経験の幅を広げる
- ・係活動をすることで友だちや身近な人とのかかわりを広げる
- ・公共施設を利用したり散歩をしたりすることで身近な地域、自然への関心を高める
- ・興味・関心のある活動を友だちと一緒に楽しむことで活動への意欲を高める

② 学習形態

6名の児童に対し、教師2～3名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
校 外 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、自然への関心を高める ・生活経験の幅を広げる ・活動への意欲を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩を通して身近な自然に触れる ・交通ルールを守って歩く ・学部や学級の行事に必要な物を買うに行く ・自分たちがつくった作品を見に展示会等に行く ・路線バスやワゴン車で遠くの公園まで出かけ、遊具で遊んだり、おやつを食べたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に行こう（兼六園、金沢城公園、卯辰山花菖蒲園等） ・公園へ行こう（三角公園、横山町児童公園、材木町児童公園、桜町児童公園、天神町児童公園、若松菖蒲公園等） ・どんぐりを拾おう（能楽堂） ・〇〇へ行こう（片町ラプロ、横安江町アーケード街、県立美術館、県立美術工芸大学、金沢大学、中央児童会館、城北児童会館等） ・路線バスに乗ろう（北鉄バス、ふらっとバス、周遊バス） ・ワゴン車で行こう（辰口丘陵公園、松任若宮公園、野々市中央公園、内灘総合公園、津幡中央公園等） ・買い物に行こう（ティータイムのおやつや飲み物）
行 事 に 向 け た 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人とのかかわりを広げる ・活動への意欲を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や学部行事に必要な飾りや道具をつくったり、準備をした ・卒業生を送る会の準備や運営をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇（運動会、表現会）の衣装をつくろう ・七夕飾りをつくろう ・お泊まりに行こう ・バザーの準備（販売するものを作る、値札を書く等）をしよう ・買い物に行こう（七夕、クリスマス子ども会、まめまき、ひなまつり、卒業生を送る会、ティータイム等） ・卒業生のプレゼントを作ろう
調 理 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・活動への意欲を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な調理をみんなでつくる ・楽しく会食する 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物をつくって食べよう（ポップコーン、かき氷、アイスクリーム、りんごジャム、焼きいも、焼きそば、鉄板焼き、鍋等）

遊び学習	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験の幅を広げる 活動への意欲を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 感触遊び（砂、水、泥、雪）をする 季節の遊び（お正月、そり等）を体験する 伝承遊び（手遊び、はないちもんめ等）をする ゲーム的遊び（ボーリング、すごろく、カルタ、海賊危機一髪等）をする 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外で遊ぼう（広場、砂場、テラス、中庭） 水遊びをしよう（テラスのミニプール、天神町緑地、金沢大学里山等） そり遊びをしよう（広場、築山、学校周辺の坂） お正月の遊びをしよう（福笑い、カルタ、双六、ゲーム等） つくって遊ぼう（凧、ペットボトルシャワー、牛乳パックバス等） ボーリング大会をしよう
その他の学習	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人とのかかわりを広げる 	<ul style="list-style-type: none"> 飲み物やおやつを用意してクラスでティータイムを楽しむ クラスや廊下の掲示物（時間割表、係分担表、誕生日表、壁面飾り等）をつくる クラスのアルバムをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ティータイム 新しいクラスだ アルバムをつくろう 写真を飾ろう プレゼントをつくろう（お母さん、お父さん、教生先生等へ） 染め物をつくろう（笹染め、みかん染め、コーヒー染め等）

④ 年間指導計画例

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
校外学習	学校周辺		天神町緑地			能楽堂				恐竜公園	
行事に向けた学習		運動会		七夕まつり		表現会	宿泊学習		クリスマス子ども会		卒業生を送る会
調理学習		ポップコーン	かき氷	ホットケーキ	焼き芋			焼きそば		鍋	
遊び学習	砂			水・プール				お正月		雪	
その他の学習	ティータイム	→									
	プレゼント作り										アルバム作り

高 学 年

① 目 標

- ・ 季節、行事、暮らしに関する活動を行うことによって生活経験の幅を広げる
- ・ 集団の中で係活動をしたり役割を担ったりすることで高学年としての意識を育てる
- ・ 公共施設を利用したり、栽培活動を行うことで、身近な地域や社会、そして自然とのかかわり合いを広げる

② 学習形態

児童6名の学級単位による学習で教師は2～3名で指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
校 外 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な地域や社会、自然との関わり合いを広げる ・ 季節を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩しながら季節の草花にふれる ・ 公園の遊具で遊ぶ ・ 公共施設を見学や利用する ・ 公共交通機関を利用する 	兼六園花見 ばら園 卯辰山花菖蒲園 内川スポーツ広場 作品展 歴史博物館 外食 等
栽 培 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然との関わり合いを広げる ・ 季節を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花の栽培をする ・ 野菜の栽培、収穫をする 	パンジー ミニひまわり さつまいも にんじん ジャがいも ミニトマト なす・たまねぎ
調 理 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力して楽しく調理をする ・ 作った料理を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料を買う ・ 包丁・皮むきなどの道具を使って調理する ・ 皆でおいしく食べる ・ 準備、片づけを行う 	カレーライス スープ・味噌汁 おにぎり やきそば 等
宿 泊 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合宿や旅行の準備ができる ・ 家から離れて宿泊する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の荷物の出し入れの練習をする ・ 布団敷きの練習をする ・ 行き先、予定を知り日程表を作る ・ お礼の手紙を書く 	すずかけの家での合宿 修学旅行 (加賀、能登方面)
行 事 に 向 け た 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な学校行事の準備や係を担うことを通して生活経験の幅を広げたり、高学年としての自覚を育んだりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕まつりを楽しみにして準備をする ・ 横安江町七夕飾り見学をする ・ 七夕飾りを作る 	七夕まつりの準備
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 役を決める ・ 表現会へ向けて劇の練習をする ・ 劇での自分の役がわかり練習に取り組む ・ 劇の小道具を作る 	表現会の練習
		<ul style="list-style-type: none"> ・ バザーの商品の製作をする ・ 店の飾りや看板を製作する ・ 販売の練習をする 	バザーの準備

		<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス子ども会の準備をする ・係を分担して練習する ・招待状を作り配布する ・プログラム作りをする 	クリスマス子ども会の準備
		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生を送る会の準備をする ・だしものについて話し合う ・役を決め、練習する 	卒業生を送る会の準備
遊び学習	・友だちと楽しく遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのある遊びを皆で楽しむ ・ゲームで使う小道具等を作る 	型はめゲーム 風船バレー ラケットボウリング
その他の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学級や友だちを意識する ・集団の中で活動したり役割を担ったりすることで高学年としての意識を育てる。 ・卒業を意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間割、係、当番を決める ・誕生会のプレゼントを作る ・文集を作る ・卒業制作をする 	「新しい3組」 手すきのメッセージカード作り ペットボトルビーズのアクセサリー ネームプレート作り 文集作り モザイク画を作ろう

④ 年間指導計画例

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
校外学習	時雨亭見学 兼六園花見		浅の川界限見学 七夕見学 レストランで食事 ばら園、菖蒲園見学			紙すき見学 ふらっとバス乗車 内川スポーツ広場 児童会館 どんぐり拾い		レストランで食事			
栽培学習	パンジー さつまいも、ミニトマト、ナス、ニンジン	ミニひまわり						チューリップ	じゃがいも (3月)		
調理学習		やきそば スープ	おにぎり、味噌汁 カレーライス	スープ							
合宿学習		合宿	修学旅行		合宿						
行事に向けた学習			七夕まつり			表現会	バザー クリスマス子ども会 卒業生を送る会				
遊び学習		風船バレー		ラケットボウリング 型はめゲーム			カルタ				
3組を意識した学習	新しいクラス 誕生会のプレゼント作り										卒業に向けて

資料

生活の学年別の目標と学習指導要領の指導内容との関連

○－関係がある

◎－特に関係がある

学習指導要領の指導内容 学年別の目標		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		基本的 生活習慣	健康・ 安全	遊 び	交 際	役 割	手 伝い・ 仕事	き ま り	金 銭	自 然	社会 のしくみ	公 共 施 設
低 学 年	・身近なことや季節、行事に関する活動を経験することで、生活の幅を広げる	○	◎	○	◎	◎	○	○	○			
	・友だちと一緒に活動に取り組んでいくなかで、仲間意識を育む			○	◎	◎						
	・身近な自然に親しむ		○	◎				○		◎	○	○
	・散歩をしたり、遊具で遊んだりすることで、楽しみながらからだづくりを行う		◎	◎						○		○
中 学 年	・季節、行事に関する活動を行うことによって生活経験の幅を広げる	○	◎	○	◎	◎	○	○				
	・係活動をすることで友だちや身近な人とのかかわりを広める				◎	◎	◎					
	・公共施設を利用したり、散歩をしたりすることで身近な地域、自然への関心を高める		○	◎	○				◎	○	◎	◎
	・興味、関心のある活動を友だちと一緒に楽しむことで活動への意欲を高める			○	◎	◎		○	○	○	○	○
高 学 年	・季節、行事、暮らしに関する活動を行うことによって生活経験の幅を広げる	○	◎	○	◎	◎	○	○				
	・集団の中で係活動をしたり、役割を担ったりすることで高学年としての意識を育てる				◎	◎	◎					
	・公共施設を利用したり、栽培活動を行うことで、身近な地域や社会、そして自然とのかかわり合いを広げる		○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎

ほっとタイム

ほっとタイムとは

ほっとタイムの時間は平成13年度（2001年）から実施された。活動には原則として、小学部児童全体が参加する。活動場所は季節や天候によって教師が決める。

子どもにとっては、友だちや先生と一緒にまたは一人で自由に遊んだり、思い思いに過ごしたりする時間である。教師は、子ども一人一人とじっくり向き合い、一人または複数の子をじっくり支援していく時間である。

教師の支援

教師は、子どもの自ら「～したいな」「なんだろう？」「おもしろそうだな」「～しよう！」等という思いから、教師や友だちの姿を見て、真似て、やってみるといった言動を大切にしたい。

そのための支援のあり方として次のような教師の姿勢を大事にしたい。

- ・子どもが活動を始めるのを待つ
- ・子どもの姿を観察する
- ・教師が楽しく遊ぶ姿を見せる
- ・子どもの求めに応じる
- ・子どもと一緒に遊ぶ
- ・子どもと同じかわりを繰り返す
- ・新しい活動場面を工夫し設定する
- ・環境整備や作業の様子をさりげなく見せる
- ・子どもの様子を見守る
- ・教師自身が楽しく遊ぶ
- ・子どもが見てくれることを期待する
- ・子どもの思いを形にする手伝いをする
- ・子どもと楽しい時間を共有する
- ・遊びに誘ってみる
- ・子どもの反応を見る

① 目 標

- ・設定された場所で一人、または友だちや教師と一緒に自発的に遊んだり、自由に活動したりする
- ・もの、人、自然等とかかわる中で学ぶ力を育む

② 学習形態

学部全児童18名で行い、教師は7～9人が指導にあたる。

③ 授業の展開

集 　　う	・集合場所には一斉に集うのではなく、朝の会が終わったクラスから順に子どもたちが三々五々集まってくる。集合場所が変わるときは事前に各クラスに連絡する。授業の始まりの挨拶は行わず、集まった子から遊んでもいいことは事前に告げておくが、子どもに応じて声かけをする。
自由に過ごす	・子どもは好きな遊びを楽しんだり、のんびりする等自由に過ごす。教師は子どもの安全に気をつけながら遊びを観察したり、遊びを見守ったり、一緒に遊んだり、遊びのモデルを示したり、積極的に教師の遊びに誘ったりする。決められた場所で遊ぶように、子どもたちには事前に伝える。

片 づ け る	・時間が終わる5分位前になったら、「そろそろおわりで一す。みんなで後片づけをしましょう」等と言葉かけをして回る。子どもと教師全員で体育館等の遊んだり使ったりした遊具・道具等の後片づけをする。片づけが終わった子から集合する。
振 り 返 る	・一同に集まって座り、「今日は何をして遊んだのかな」等と聞きながら、数人の子どもの前にみんなの前で話してもらったり、教師が代わって話したりする。なるべく各クラスの子の様子がみんなにわかるように配慮する。(集まることなく、休み時間に自然と入っていく場合もある。)
解 散 す る	・その日の高学年の学級の当番が前に出て号令をかけ、おわりの挨拶をして解散する。

④ 活動内容

活動場所	内 容	遊 具 な ど
体 育 館	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の好きな場所をフルに活用して遊ぶ ・室内を走ったり、体操をしたり、自転車に乗ったりして体を使って遊ぶ ・体育館倉庫から道具を持ち出して自由に遊ぶ ・教師とのやりとりを楽しむ ・子ども同士で遊ぶ 	自転車(含む補助車付き自転車)、三輪車、一輪車、ボール、バトン、ポンポン、フープ、フロアーカー、キャスターカー、風船、竹馬、マット、セーフティ・マット、大縄跳び、電車ごっこ等
なかよし広場	<ul style="list-style-type: none"> ・広場の好きな場所を使って遊ぶ ・戸外で思い切り体を動かして遊ぶ ・固定遊具で遊ぶ ・教師とのやりとりを楽しむ ・子ども同士で遊ぶ 	自転車、三輪車、ブランコ、ジャングルジム、うんてい、吊り橋、砂場、池、2～3人用ブランコ、平均台等
その他の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部ホールと廊下、プレールームと玄関、サンルームと屋上、高等部ホール等その他の場所にも遊具を持ち込んで自由に遊ぶ ・雪が積もったら、積極的に戸外に出てゆき遊びやそり遊びなどをする ・色々な場所の特性を生かした遊びを楽しむ 	凧揚げ、ダンス、大玉転がし、雪投げ、雪だるまづくり、かまくらづくり、そり滑り、雪道歩き、絵本、パズル、ぬいぐるみ、シャボン玉等

⑤ 年間指導計画例

1 学 期	2 学 期	3 学 期
体育館で遊ぼう	なかよし広場で遊ぼう プレールーム等で遊ぼう	なかよし広場で遊ぼう プレールーム等で遊ぼう 屋上・サンルームで遊ぼう

ランランタイム

ランランタイムとは

小学部の全児童と教師により行われる学部集団学習である。学級の枠をこえた大きな集団でのさまざまな活動を通して、より豊かな人間関係を築き上げていきたいと願って設定したものである。

指導にあたって

- ・活動内容の設定にあたっては、教師全員が2班に分かれ、季節毎に交代で立案し準備を担当する。チームティーチングを効果的に行うため、打ち合わせを綿密に行う。
- ・各活動毎に担当の教師が替わることで、児童に活動の区切りを意識づけたり、興味をもちやすくしたりする。活動においては、各教師が持ち味を活かし、楽しんで行う。
- ・活動には、季節感を感じるものや本物、身近なものを提示したり、場の雰囲気盛り上げる絵や音楽などを用意したりし、どの子も興味をもって意欲的に取り組めるよう工夫する。音や色、光など五感に訴える教材・教具を有効に活用していく。
- ・児童は、全校集会での縦割りグループに基づき、4グループの学習集団を編成する。自分たちのグループを意識しやすいように、グループ毎に横一列に弧を描くように並んで座り、シンボルの旗を置く。

かかわり合いを育むために

- ・友だちを意識しやすいよう、グループ内での座席の配置やペアなどを考慮する。
- ・各グループのリーダー「お兄さん」「お姉さん」を決め、活動のなかに役割（旗の準備や片づけ、教材の配付や集約、グループの代表としての活動など）を与えることでリーダーの意識を育む。
- ・かかわり合いを意識した活動（共同制作、友だちとの協力が必要なゲーム、全員での発表等）を工夫し、設定していくことで、協力・競争・応援などの経験を積み重ねられるようにする。
- ・教師は各児童の実態をふまえてめあてを設定し、効果的な支援を心掛ける。

① 目 標

- ・学級の枠をこえた縦割り集団でのさまざまな活動、経験を通して、友だちや教師とのかかわり合いを育み、広げる

② 学習形態

- ・小学部の児童全員で、「黄色いちょうちょう」「赤いくるま」「白いうさぎ」「青いことり」の縦割り4グループを編成する
- ・教師も全員が4グループに分かれて所属し、授業には交代で7名が参加、指導を行う

③ 授業の展開例および留意点

授業の展開	留意点
(1) 「ランランタイムのうた」	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の始まりを意識しやすくする ・歌の中で各グループへの呼びかけをすることで、自分のグループの意識づけを図る
(2) 本時の活動を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・1時限の授業の流れを一定にすることで、児童が活動の見通しをもちやすくする ・司会の教師が、本時の活動の予定をカードや板書で提示する
(3) 「おはなしでてこい」	<ul style="list-style-type: none"> ・誰が話をするのか期待をもてるように、名前を知らせない、みんなで呼び出すなど工夫する。担当者はテーマ曲にのって初めて登場する ・話題に関する資料、道具、実物などが入った「おはなしでてこい箱」を持って登場、興味を引きながら話をする
(4) うた・リズムあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・歌や音楽に合わせた表現を楽しめるよう、楽器・衣装・小道具など工夫した教材を準備する ・グループ全員で一つのものを持つ、各自が好みのものを選んで使うなど、設定も工夫する ・やってみたい気持ちを大事にし、その子らしい表現も認め評価することを心掛ける
(5) つくる あるいは ゲーム その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやペアの友だちと一緒に協力してつくったり、自分らしさを発揮してつくったり出来るよう内容や手順を工夫する ・できあがったものをみんなで見合い、認め合う ・グループ対抗で競う、他グループと協力して頑張る、勝敗なく楽しむなど、様々な内容を設定する ・自分たちがつくったものをゲームに利用する、ゲームでできあがったものを飾るなど、より興味・関心が高まるような工夫をする ・見る、聴く、味わうなど楽しい活動を工夫する

④ 指導領域および内容

指導領域	ねらい	内容	題材例
うた リズムあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな歌に親しむ ・歌に合わせて、自分らしく楽しく表現する ・友だちの表現を見て楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事の歌をみんなで歌う ・小道具を使って表現する (リボン、リュック、こいのぼり、傘、笹の小枝、めがね、帽子、布など) ・楽器を選んで奏する ・みんなでダンスや手遊びをする 	「すてきなともだち」 「春のまきば」「チューリップ」 「えんそくいこう」「こいのぼり」 「かえるの合唱」「長ぐつマーチ」 「たなばたさま」「海」 「とんぼのめがね」「虫の声」 「どんぐりころころ」 「おおきなおいも」 「あわたんぼうのサンタクロース」 「お正月さん」「ねばねばもち」 「雪のペンキやさん」「豆まき」 「うれしいひなまつり」 「春がきた」

つくる	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力して楽しくつくる ・自分の思いをこめて楽しくつくる ・友だちのつくったものをみんなで見合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな材料を使い、折る・切る・貼る塗る・描くなどして工作する（紙、布、木、テープ、シール、絵の具等） ・簡単な調理を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 紙兜づくり、いちご畑、パレードの衣装づくり、楽器、蛙、スイカ畑、七夕飾り、てるてるぼうず、ぶどう棚、とんぼのめがね、神輿づくり、秋の虫、秋景色、プレゼント、クリスマスツリー、雪だるま、白い世界、鬼的、いちごブルーチェ、やきいも、いもきんとん、星型クッキー
ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単ルールゲームをみんなで楽しむ ・友だちと協力したり、他グループと競い合ったり、応援したりする経験をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ対抗で、速さや量や出来上がりなどを競うゲームを楽しむ ・勝ち負けを考えず、みんなでにぎやかにゲームを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 集まれゲーム、遠足ゲーム、こいのぼりをつくろうリレー、お母さんになろうゲーム、お父さんになろうゲーム、傘でお迎えゲーム、蛙釣り星釣りゲーム、虫取りゲーム、さつまいも運び、プレゼントを届けようリレー、雪合戦、風船バレー、鬼的当て、ふくわらい、おひなさまに変身ゲーム
その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを見る ・音楽を鑑賞する ・季節の食べ物を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会・修学旅行・水泳教室・表現会などのビデオを見よう バイオリンの演奏を聴こう 柏餅を食べよう お茶会 栗を味わおう

等

⑤ 年間指導計画例

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
お話し	お花見遠足 春の花	こどもの日 田植え	修学旅行 かたつむり	健民プール 夏休み	ぶどう狩り 秋の虫	秋の遠足 スポーツの秋	生け花 落ち葉	バザー 読書	年賀状 風邪	節分 そり滑り	桃の花 もうすぐ進級
うた・リズム	すてきなともだち チューリップ	こいのぼり 長ぐつマーチ	たなばたさま うみ	とんぼのめがね	大きな栗の木の下で 虫の声	雪のこぼろず うれしいひなまつり	豆まき	春よこい			
つくる	チューリップの花	てるてるぼうず	七夕飾り	とんぼのめがね	秋の虫	プレゼント包み	鬼的				
ゲーム	集まれゲーム 鯉のぼりをつくろうゲーム	傘でお迎えゲーム	虫とりゲーム	プレゼントを届けようリレー	どんぐり運びゲーム	風船バレー	的当てゲーム おひなさまに変身ゲーム				
その他の活動		運動会・修学旅行のビデオを見よう お土産でティータイム	チューリップの球根植え	栗の和菓子を楽しむ			お抹茶を頂こう バイオリン鑑賞				

2. 中 学 部



フリーデイ「お店やさんごっこ」



生活「ティータイム」



散歩「急な坂をのぼったら どこに出るの？」



ハッピータイム 100回記念パーティ

中学部で大切にしたいこと

ここ10年間、私たちは子どもたちの姿をどう捉え、何を大切にしていけるかを問い続けてきた。集団参加ができていく生徒、自分の気持ちをうまく伝えられない生徒、指示がないと行動できない生徒たちが増えていた。このような生徒が、「みんなと一緒にいるのが楽しい」と感じ、「自分からしてみたい」という意欲を持ち、「自分で考え、自分で決めて行動できる」ようにと考え、取り組んできたのが『ハッピータイム』『散歩』『フリーデイ』である。まず、教師はこれらの活動を生徒とともに楽しみ、生徒をじっくり見つめ、生徒からの自発的な行動を待って、援助する。時には生徒とともに学び、自己表現し、かかわり合う。つまり教師は生徒と同じ視点に立ち、行動や気持ちを十分理解し、大切にしながら向き合っていくのである。このような教師の姿勢で、子どもたちは少しずつまわりの様子を見るようになり、友だちとかかわるようになる。また、みんなの中で自分を出したり、自分から主体的に活動を開始したりする。子どもたちは自己開放し、自己表現し、自己選択・自己決定の力を身につけてきているのである。

中学部の3年間は「子どもから大人への生まれ変わりの時期」であり、大人に援助された生活から自分の力で何かをする生活を求めるようになる。そのための支援が教師の役目であると考え、教師は『教える人』から『支える人』へとその姿勢を変えてきたのである。『ハッピータイム』『散歩』『フリーデイ』の中で教師は子どもとともに人やもの、社会や自然と向き合い、共感的に関係を取り合う。自分はどうしたいのか、相手はどうしたいのか、どう感じ取ったのかを互いに理解し合うことで、より生活の充実をはかり、自分の力で生活する力を育てていきたい。

教育課程は子どもたちにとっては学校生活そのものであり、私たちは子どもたちと日々「生活づくり」をしているという認識に基づいて教育内容を考えてきた。日常生活の指導は、自分で考え自分で選択し自分で行動に移す機会であり、各教科の学習は、教科の内容や系統性を配慮しながら、子どもの生活課題や生活の中から題材を見だし、教材化していくことを心がけた。また、ハッピータイムや散歩・フリーデイでは、自己判断し自己決定して自分から自分の生活をつくる機会となるように働きかけた。行事には、自分たちの生活づくりの一環として、子どもと教師がともに「今を豊かに」生きるいしづえと受け止め取り組んだ。学校が子どもにとって楽しい場所、明日も行きたいと思える場所であることを願って、私たちは子どもたちとの「生活づくり」に取り組んでいる。

また、そこには親の思いや願いを受け止め、「親とのつながり」が見える教育も大切である。普段の学校生活の中で、学級通信や生徒の作品などの工夫ある掲示、送迎時の親との対話を大切にし、その中で見えてくる親の思いや願いをしっかり受け止め、子どもの実態把握をしっかりした個別指導計画を大切にしながら、一人一人の指導を行っていきたい。

これらの実践はまさに新学習指導要領がねらう「豊かな人間性や基礎・基本を身につけ、個性を生かし、自ら考える『生きる力』を培う」ことにつながるものであり、一人一人の個性や思いや願いを大切にし、それぞれの能力や適性を最大限に発揮して『生きる力』を育むものであると捉えている。

(1) 教科別の指導

国 語

身近な生活体験と密接に関連をもった具体的な言葉や文字を理解・習得し、自分で使えるようになることで、認知力やコミュニケーションの基礎を培い、高めていくことができると思われる。そのために、生徒の身近な生活の中にある具体的な題材や、興味・関心、意欲を喚起する題材を用いて、言語能力や思考力を伸ばし、言語生活がより豊かになるように取り組んでいる。

① 目 標

- ・身近な生活の中にある具体的な文字や言葉を獲得し、使用する力を育てる
- ・ひらがな・カタカナ・漢字を習得し、読んだり書いたりする力を育てる
- ・話を聞いて、その内容を理解する力や人に分かるように話をする力を育てる

② 学習の形態

1年から3年までの縦割りグループを編成する。

1グループ生徒4～5名に対し教師1～2名で指導する。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
読 聞 話 書 む ぐ す ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人やものの名前がわかる ・平仮名や漢字で読んだり書いたりできる ・経験したことを簡単な言葉や文で表すことができる ・絵本や物語を読んで理解したりイメージする心を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名・カタカナ・簡単な漢字を読み書きする ・促音・長音・拗長音・濁音・半濁音などを含む語句を読み書きする ・簡単な表示や標識の意味を理解する ・ローマ字を使って簡単な言葉を読んだり表記したりする ・絵本を読む ・絵本を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前 ・友だちの名前 ・先生の名前 ・行事の思い出 作文・見学先・地名 ・ものの名前 文字チップで構成しよう ・今日の給食の献立 ・今週の予定 ・自分の名刺づくり ・漢字ドミノ ・ひらがなドミノ ・ローマ字で書こう ・外国のことば ・絵本の読み聞かせ ・絵本づくり ・昨日のことを発表しよう ・書き初めをしよう
	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの響きを楽しみながら読んだり話したりできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で話す ・歌詞をはっきりと歌う ・ことばの響きを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・まねっこあそび ・ことばあそび ・うたあそび ・群読 ・俳句
	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や文字に注目する ・ことばのリズムを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カルタとりをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・『かがのとかるた』 ・友だちカルタ(写真カード) ・たべものカルタ

④ 年間指導計画例

A グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
漢字(筆順・へんとつくり・名前・住所) かざりのことば しりとり 作文 一泊旅行	ことばの階段 「あ」のつく2～6音節のことば 秋の合宿 絵本を読もう 声に出して読もう みんなの前で読む	国語辞典の使い方 カルタ スキー教室 絵本づくり
みんなの前で話そう		

B グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
文字チップによる単語の構成 濁音・半濁音を含むことば 自分・友だち・先生の名前 行事の思い出 一泊旅行・運動会 絵本の読み聞かせ	促音・長音を含むことば ものの名前 秋の合宿・表現会 ことばあそび	拗音・拗長音を含むことば 『卒業おめでとう』 書き初め カルタとり

C グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
友だち・先生の名前 写真カード選び 名前とひらがなカードの一致 名前とひらがなカードの一致 絵本の読み聞かせ	ものの名前 ひらがな・単語の理解	自然の名前 ひらがなの構成

D グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
友だち・先生の顔と名前 写真カードを選ぶ 写真カードと名前カードの一致 ものの名前 絵カード同士のマッチング 絵カードと文字カードのマッチング 50音のひらがな あ行～さ行 文字のマッチング・声に出して読む	食べ物の名前 本物を選ぶ 絵カードと文字カードのマッチング た行～は行	ま行～わ行

数 学

日常生活に必要な数学的なものの見方・考え方を育て、生活のなかに生かせるようにする。そのために、できるだけ生徒の実際の生活や具体的な活動を通して直接的な数量経験を多くし、数量的感覚を豊かにするとともに生活に活用できる力を伸ばしていく。また、生徒自らが興味・関心をもち、その必要性を感じて目的意識をもって理解を深めることができるように、生徒の実生活に関連した具体的な学習内容を取り上げていく。

① 目 標

- ・数量関係の認識や数量の概念の理解を促す
- ・生活に生かせる時間やお金、長さなどの概念を育てる
- ・図形の認識を高め、位置関係や空間の認識を育てる
- ・数的な見方や考え方を育て、生活に活用できるようにする

② 学習の形態

1年から3年までの縦割りグループを編成する。

1グループ生徒4～5名に対し教師1～2名で指導する。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
数量の処理と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な数の概念を理解する(数唱・数詞・数量・大小比較・順序数・合成分解) ・初歩的な数量の処理をする(数のまとまり・数え方・読み方・大小・順序・0) 	<ul style="list-style-type: none"> ・具対物と数詞の1対1対応 ・数量の大小比較と順序 ・あわせていくつ ・いくつ違う ・数えてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつずつ分けよう ・テーブルをセットしよう ・そうめんを分けよう ・的あてゲームをしよう ・トランプをしよう ばばぬき 7ならべ しんけいすいじゃく ・タイルで計算しよう ・電卓で計算しよう ・束をつくって数えよう
長さ・重さなどの単位と測定	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に関連した量の単位が分かり、測定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さをくらべる ・重さをくらべる ・温度をくらべる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものさしで測ってみよう ・野菜の重さを測ってみよう ・温度と暑さ・寒さ
図形と図表の理解と作成	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の特徴や図表の内容を理解し、作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・○△□のなかま ・位置関係を考える ・表をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・辺・角の数をかぞえよう ・上から○番目はな～に ・ゲームの結果を表にしよう ・アンケート調査(好きなメニューは何?) ・ジグソーパズルをしよう
金銭や時計・暦の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の種類を知り正しく数える ・簡単な両替や買い物をする ・時計の使い方に慣れる ・暦の使い方に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を数える ・両替をする ・買い物をする ・時計を見る ・時刻と時間の関係 ・日課表を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を分けて数えよう ・1000円を500円にかえよう ・調理の材料を買おう ・何時何分? ・新聞のテレビ欄を見よう ・今日の予定を知ろう ・今月・今週の行事予定

④ 年間指導計画例

A グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
数の読み書き タイルを数えよう 数の合成・分解 トランプ	三角形と四角形 繰り上がりのあるたし算	お金 (数える・そろえて出す) 長さを測ろう ひき算 繰り下がりのないもの・繰り下 がりのあるもの ビンゴゲーム
7ならべ ボウリング	ババ抜き さいころゲーム アンケート (調査・集計・グラ フ化)	

B グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
数と量 数量・数詞・数字の三者関係の 理解 トランプ	大小の比較・順序 お金	数えてみよう【3・5・10のかたまり】 時計
神経衰弱 ジグソーパズル	ババ抜き	

C グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
弁別・仲間あつめ 1対1対応 ジグソーパズル	大きい小さい 多い少ない 1～5までの数 お金	長い短い 重い軽い

D グループ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
宝さがし 同色あつめ・同色ならべ 積木のパズル	ひとつずつ 多い少ない いっぱい集めよう 大きい小さい 缶積み	もうひとつ 同じ数だけ集めよう 箱たおしゲーム
1対1対応 タイルの型はめ		

美術

美術では、その子らしさ（個性）が出せ、創る喜び・遊ぶ楽しみ・偶然性を楽しめるものを題材としている。特に本校は、金沢市の中心部に位置し、兼六園・卯辰山が近くにある。この恵まれた環境を生かし、散歩に出かけた先々で自然の素材を拾い集めて作品の材料にしたり、自然の美しさを絵にしたりしている。

指導にあたっては、教師がまず生徒の前で描いたり作ったりして、作品のできあがり過程を見せることで、生徒に自分も作ってみたいという気持ちを引き出すことを大切にしている。さらに毎時間、生徒一人一人の作品を発表して良い点を褒めるとともに、廊下などに作品を掲示し、満足感をもたせ、より意欲的に作品づくりに取り組めるようにしている。

① 目 標

- ・見たもの、感じたものを自分らしく表現できる
- ・作品を作り上げる喜びを知る
- ・材料・用具の扱い方に慣れる
- ・美しいものを感じる感性を養う

② 学習の形態

1年から3年までを縦割りで2グループに編成する。

1グループ生徒9名に対し教師3名で指導する。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・対象をよく見て描く ・経験や想像をもとにする ・作品を飾ったり、使用したりする ・いろいろな材料や用具を工夫しながら、目的にあわせて使う ・いろいろな材料や用具をくり返し経験する ・用具の扱いでは安全管理に留意する 	絵画(静物) (風景)	<ul style="list-style-type: none"> ・花、果物、動物、文房具 (魚「カレイ」～食べる前・食べた後～) ・写生会、秋の紅葉 (卯辰山の花菖蒲園) (「ただいま工事中」～校舎改築の様子～)
		彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ・イモ版 ・版画 ・こすりだし(拓本) ・雪像
		デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・にじみ絵 ・おり染めの写真フレーム ・マーブリングのしおり、招待状作り

			<ul style="list-style-type: none"> ・秋の葉っぱ～ステンシル風～ ・折り紙で雪の結晶 ・モザイク ・スティックアート ・ひっかき絵
		工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土で作ろう ・作って遊ぼう～動くおもちゃ～ ・お面作り ・箱庭～土、木の実、落ち葉を使用～
		共同制作	<ul style="list-style-type: none"> ・表現会の大道具作り ・運動会の大道具作り ・絵文字習字～掛け軸～
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の見本や生徒の作品にふれ、ものの美しさを感じ取る ・名画や造形品などを見ることに関心をもつ 	自然・造形物に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館へ出かけよう ・自然の美しさ

④ 年間指導計画例

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
絵 画	写生会 (石川動物園) チューリップ	コントラバス (楽器)	校舎改築の様子
デザイン	にじみ絵	秋の葉っぱ写し	折り紙で雪の結晶
工 芸	粘土で作ろう	箱庭	お面作り
共同製作	運動会大道具作り	表現会大道具作り	絵文字習字

体 育

様々な運動やスポーツを経験する中で、生徒たちは体の使い方や体を動かすことの楽しさを知る。そのために生徒に関心のあるスポーツを取り入れ、運動量も十分に確保したいと考えている。授業は、学校の施設に加えて地域にも出かけて行っている。指導にあたっては、教師が実際に模範を示し、見通しをもたせ意欲的に取り組めるようにしている。

① 目 標

- ・様々な運動やスポーツを経験する中で、運動やスポーツの楽しさを感じ、意欲や関心を高める
- ・具体的な身体運動を繰り返し練習することで、筋力・持久力・調整力などの全身的な体力を身につける
- ・きまりや簡単なルールなどを守り、みんなと一緒に楽しく運動できる
- ・健康・安全に関する日常的な事柄を理解し、実践できる

② 学習の形態

中学部生徒全員 教師5名で指導する。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	活 動 例
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各部位を十分動かし体力の向上をはかる ・体の動かし方・使い方がわかる ・みんなと一緒に体を動かすことの楽しさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きの持続性を高める運動 ・柔軟性を高める運動 ・リズムにあわせて体を動かす運動 ・準備運動・整理運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミック ・エアロビクス ・ストレッチ ・ラジオ体操
陸 上	<ul style="list-style-type: none"> ・短い距離を全力で走る瞬間発力を養う ・一定の速さで長く走り続ける持久力を養う ・目標を決め自分の記録を意識しながら走る 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・持久走 	<ul style="list-style-type: none"> ・走って壁にタッチ ・50m 走 ・ゆっくり休まず速く走ろう ・犀川河川敷を走ろう ・中央公園でミニマラソン
器 械 運 動	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな技に取り組み技能を高める ・平衡感覚を養う ・安全に注意しながら器具や用具を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・跳び上がり・跳び降り ・跳び箱運動 ・マット運動 ・自転車 ・一輪車 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージにとびのろう ・マットでゴロゴロ ・『サイクリングだ ヤッホー』 (運動会演技種目)

水 泳	<ul style="list-style-type: none"> ・ばた足・クロール・背泳 ・平泳ぎ・息継ぎなどの技法を身につける ・続けて長く泳ぐことができる ・速く泳ぐことができる ・安全に注意して水に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水に慣れる運動 ・伏し浮き ・けのび ・手足の動きや呼吸の練習 ・補助用具を使つての練習 ・記録会 	<ul style="list-style-type: none"> ・水のかけ合い ・水中ウォーク ・ボール取り ・水中じゃんけん ・棒くぐり ・フラフープくぐり ・25m 競争
球 技	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを操作する技能を高める ・きまりや簡単なルールを守る ・チームや個人で勝敗を意識できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・フットベースボール ・サッカー ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁を越えて遠くに投げよう ・目標物に向かってシュートしよう ・ゴールに入れよう ・先生チームとゲームしよう
冬のスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・雪上や氷上をバランスよく歩いたり滑る感覚を養う ・曲がる・止まるなどの基本的な技能を高める ・用具の扱い方に慣れる ・冬のスポーツへの関心を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケート ・スキー ・雪合戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール袋を履いて体育館を滑ろう ・スキーを履いて廊下を歩こう ・スケートセンターで滑ろう ・スキー場で滑ろう ・雪だるまに当てよう

④ 年間指導計画例

1 学 期	2 学 期	3 学 期
リトミック・ストレッチ		→
ゆっくり長く走る		→
50m 走	ミニマラソン	全力走
	跳び箱・マット運動	→
水泳	→	エアロビクス
フットベースボール	サッカー	バスケットボール
	スケート	スキー

職業・家庭

職業・家庭は、実生活に役立つものづくりを通して、基礎的な技術や知識を育てることをねらいとして取り組んでいる。素材は身の回りのものを利用し、題材にはいろいろな活動が含まれるものを設定することで、個に応じた幅広い選択ができるように配慮している。さらに活動の過程を視覚的にわかりやすく提示し、生徒が見通しと期待感をもてるようにしている。

① 目 標

- ・様々な作業過程において手指を使ったり、機械・道具を操作したりして基礎的な技術や知識を得る
- ・作業での自分の役割を理解し、準備・活動・後片づけに見通しをもって参加する
- ・友だちと協力・分担してものを作り上げていく喜びを実感し完成の成就感・達成感を味わう
- ・作り上げたものを実生活に役立て、友だちやお世話になった人へプレゼントしたり、バザーで販売したりする

② 学習の形態

1年から3年までを縦割りで、3グループに編成する。

1グループ生徒4名から7名に対し教師1名から3名で指導する。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材	活 動
染 色	<ul style="list-style-type: none"> ・染色を体験する ・身近な草、花、木を使い染色する工程を知る ・染めた布を使い作品を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・草木染め ・花びら染め 	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップ染めのテーブルセンター ・よもぎ染めのコースター ・マリーゴールド染めのピアノカバー ・さざんか染めのミニクッション ・藍染めのクッション ・桜染めの巾着袋 ・玉ねぎ染めのTシャツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・花摘み ・綿つめ ・枝集め ・染液づくり ・染め ・アイロン ・ミシン ・ステンシル
手 工 芸 (クラフト)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の身近な物や自然物を利用して製品化する工程を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう細工 ・自然物利用 ・つる細工 ・竹細工 ・流木アート ・はたおり ・押し花アート ・空き瓶加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく ・木製の壁掛け ・マグネット ・木の実のリース ・ミニクッションのリース ・葉ばし ・ミニレンガの置物 ・小物入れ ・マフラー 	<ul style="list-style-type: none"> ・押し花 ・木の実、落ち葉拾い ・流木、石拾い ・おはじきのボンドづけ ・型取り ・ステンシル

紙工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルに関心をもつ ・廃品から製品ができることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃物利用 ・牛乳パック ・ダンボール加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックの椅子 ・はがき ・フォトフレーム ・キャンディー入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガムテープはり ・紙すき ・布のボンドづけ ・のりづけ
木工	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の名称を知り、簡単な操作ができる ・木材、廃材から製品ができることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃材利用 ・木材加工 ・木材組み立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・プランター ・積み木 ・ミニ椅子 ・パズル 	<ul style="list-style-type: none"> ・やすりがけ ・のこぎり引き ・釘うち ・ペンキ塗り ・ねじしめ
栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な作物がどのように作られるかを知る ・園芸に関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜作り ・園芸 	<ul style="list-style-type: none"> ・大根、さつまいも、じゃがいも、枝豆、ひょうたん、ヘチマ、きゅうり、トマト、なす、しそ、ハーブ、藍、ケナフ、マリーゴールド、ラベンダー、スターチス 	<ul style="list-style-type: none"> ・土起こし ・畝作り ・種まき ・苗植え ・草むしり ・水やり ・収穫

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	牛乳パックの椅子作り チューリップの花びら染め コースター作り 栽培				自然物採集・リース作り プランター作り				さざんかの花びら染め ミニクッション作り ろうそく作り		
行事		宿泊合宿	一泊旅行 修学旅行		教育実習	合宿		バザー			卒業生を送る会
活用例		宿泊先におみやげ	宿泊先におみやげ		教育実習生にプレゼント	宿泊先におみやげ		バザーで販売			卒業生にプレゼント

年間を通してH・Tのお客さんや散歩での訪問先へのプレゼント作りを行っている。

(2) 領域と教科を合わせた指導

日常生活の指導

将来の自立に向けて『自分のことは自分でする』ことを基本に、できるだけひとりででき、見通しを持った行動がとれるように配慮して指導している。さらに、場面や場所が違ってでも対応できる広がりのある行動をめざしている。

① 目 標

- ・1日の生活に見通しを持ち、日常生活の様々な活動を自分自身の力で処理することができる
- ・日常生活をより自主的に対処するための生活態度や意欲を育てる

② 指導項目と内容

指導項目	内 容	備 考
登 校	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の通学方法で登校する 交通安全に気をつけて歩く 寄り道をしないで登校する バスの中でのマナーを守る バス乗降の際のあいさつをする ・玄関で靴をはきかえる 教師や友だちにあいさつをする 靴の左右を間違えないように履く 立ったまま片方ずつ履き替える ・まっすぐに教室へ行く 	信号の確認
カバンの片づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・カバンの片づけをする 連絡帳や宿題を出し、教師の机の上に置く 筆箱・下敷きを机の中に入れる ロッカーにカバンを入れる 	
着 替 え	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室で着替えをする ズックをそろえて脱ぐ ハンカチ・ティッシュを制服から体操服に入れ換える 脱いだ制服をハンガーにかけてロッカーに片づける 	
朝 の 会	<ul style="list-style-type: none"> ・当番の号令で朝のあいさつをする ・出席をとる 名前を呼んで握手する ・今日の日程を確認する 日付・曜日・天気・気温を知る 1日の流れに見通しがもてるように確認する ・下校方法の確認をする ・連絡帳を読んで昨日のことや今日のことを話す ・今日の給食の献立を知る 絵やカードを見て考える 献立の名前を書いて確認する 	

休 み 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと仲良く遊ぶ ・外に出る場合はズックを履き替える ・次の活動が始まるまでにトイレを済ませておく ・遊んだ後は片づけをする 	安全に留意する
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔・身なりに気をつける ・月経の処置ができる 	ヤングメモリーの記入・提出
給 歯 磨 食 磨 食 磨 食	<ul style="list-style-type: none"> ・手をしっかり洗う ・セルフ方式で配膳をする 主食は右、副食は左など配膳の位置に気をつける 量を考えて取る 苦手な献立ではあらかじめ少なくしてもらおう ・好きな席について食べる ・好き嫌いしないで食べる 一品食べにならないように気をつける ・『いただきます』『ごちそうさま』をいう ・かたづけをする ゴミの分別をしっかりとる ・歯磨きをする きちんと磨けているか確認する 	<p>一人一人の課題に応じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳のふた ・おかわり ・ごはん・おかずの量 ・こぼしたときの拭き方 ・時間内に食べる
掃 除	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の分担の場所を掃除する 机・いすの移動 ぞうきんがけ モップやほうきでごみを集める 黒板をきれいにする 机の上を拭く 反省会をする 手洗いをする 	ぞうきんがけの回数を表にする シールをはって確認しはげます
終 わ り の 会	<ul style="list-style-type: none"> ・制服に着替えをする 使ったハンカチを体操服から出し持ち帰る 水曜日・金曜日には体操服を持ち帰る ・連絡帳に今日の学習を書く ・かばんに連絡帳などを入れて帰り支度をする ・歌を歌ったり、絵本や紙芝居の読み聞かせをきく ・今日の出来事を振り返る ・明日の予定を聞く ・下校の方法を確認する ・当番の号令で終わりのあいさつをする 	
下 校	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをして帰る ・忘れ物がないか確認する ・交通安全に気をつけて歩く ・交通機関・スクールバスのマナーを守って利用する ・寄り道をしないで帰る 	バスの番号の確認 バス停での乗車の確認

*学校生活全般を通して指導を行う

生活（栽培・調理・アルバムその他）

中学部の生活の指導にあたっては、学校生活の基盤となる学級での活動の充実を図り、生徒たちが自らの生活を自らの力で豊かに営んでいけるようにという視点で取り組んでいる。そのためには生徒同士のつながりを深め、身近な生活や自然との関わりの中で興味を持った事柄を積極的に自分の生活に取り入れていく態度や技能を育てることが大切である。それがその子らしい個性的な生き方をしていくことにつながっていくと考える。そこで、生徒にとって教室が心地よい楽しい空間となるように心がけ、友だちと互いに関わり合ったり自分の好きなことを思い切り楽しんだりできる活動を行っていくようにしている。特にみんなで一緒に活動でき、様々な自然や社会とふれ合うことのできる学習活動として、中学部では「散歩」を重要な取り組みの一つとして捉えているが、これについては次の項で詳しく述べることにする。

散歩以外の内容としては「遊ぶ」「食べる」「調べる」「つくる・育てる」など実際の生活や余暇の利用につながるものが主となる。特に「食べること」は、直接の興味関心に基づいていて、調理・会食・片づけと一定のパターンがあり見通しを持った活動ができること、さらに家庭でも繰り返し取り組めることから、欠くことのできない内容であるといえる。また、教室横のベランダにある菜園で季節の花や野菜を育て、収穫した作物を調理するなど、活動に関連性をもたせることによって一層興味がわき意欲も高まることから栽培も並行して行っている。アルバムについては学級での活動を振り返りみんなで思い出を話し合ったり、一年間の学校生活の流れを知る上でも大切な内容と考えている。こうしたことから「栽培」「調理」「アルバム」を中心として、それぞれの学年に応じた内容を盛り込んでいる。

① 目 標

- ・物や自然、社会への関心を持ち、主体的に生活していく態度を培う
- ・身近な人と協力して物事を成し遂げるなど、友だちと一緒ににかかわり合って生活する力を養う
- ・日々の生活を楽しみ、自らの生活を豊かにしていくための技能を身につける

② 学習の形態

学級単位で行い、担任2名が指導する。

③ 内 容

指導項目	内 容	題 材 例
栽 培	<ul style="list-style-type: none"> ・花の苗や球根などの植え方を知り、鉢やプランターに植えつける ・畑の土をおこす 肥料をまく ・野菜やハーブなどの作物を植え、水やりしたり収穫したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の花・夏の花 ・芋の苗植え ・夏と秋の野菜を育てよう ・ミニハーブ園を作ろう ・ケナフの栽培

調理	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫や買い物した材料で調理をする ・トースターや電子レンジで簡単に食べ物を作る ・季節に応じた食べ物を作る ・包丁、泡立て器などの使い方を知る ・会食の準備、後片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・サラダパーティ ・味噌炒め ・ピザトースト ・モコモコケーキ ・冷やしそうめん ・鍋料理 ・餅づくり ・コーヒーやお茶の入れ方
アルバム	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の写真を見ながら楽しかったことを振り返る ・アルバムに写真やタイトルなどを貼る 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の整理とアルバムづくり
文集	<ul style="list-style-type: none"> ・中学部での思い出を話し合ったり書いたりする ・好きな写真を選ぶ ・中1、中2が寄せ書きを書く ・お世話になった先生に原稿を依頼する ・作文を印刷して綴じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業文集づくり
ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びを経験し友達と仲良く遊ぶ ・紙や段ボールで遊具を作って遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・かくれんぼ ・大玉転がしドッジボール ・折り紙相撲
プレゼントづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピータイムに招待するお客さんへのプレゼントを作る ・教育実習生や卒業生にわたすプレゼントをつくる。卒業生は在校生へのプレゼント（卒業製作）をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁掛け ・ネイルチャーム ・色紙 ・ビーズブレスレット ・ピアノカバー ・本棚
行事に向けての活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全校や学部の行事に向けて準備や練習をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会 ・生徒会役員選挙 ・旅行のしおりづくり ・意見発表会 ・ハッピータイム100回記念パーティ ・新年会 ・卒業生を送る会

④ 年間指導計画例

1年～3年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
栽 培	花の苗植え・球根植え ・金魚草、朝顔 ひまわり、マリーゴールド 夏野菜の鉢植え ・トマト、なす はつか大根 ピーマン きゅうり、枝豆	・水仙、チューリップ、パンジー 金せん花、ヒヤシンス → 収穫 秋野菜の苗植 ・人参、ほうれん草、白菜 春菊、キャベツ、ブロッコリー、 かぶ、レタス	→ 収穫

1年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
調 理	カップラーメン ミックスジュース かき氷	野菜サラダ 枝豆の塩ゆで ピザトースト コーンスープ	お茶の入れ方 にんじんホットケーキ 白玉団子
そ の 他	学級の旗作り 折り紙相撲 旅行しおり作り 1年間の行事表づくり → アルバム作り →	大玉転がしドッジボール ボーリングゲーム クラスカレンダー作り	カラオケ パソコンゲーム カルタ大会の練習 卒業生へのプレゼントづくり →

2年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
調 理	小麦粉を使った調理 うどん お好み焼き クッキー	なすのスパゲッティ バーベキュー なべパーティー もちづくり	ハーブティーづくり 大根のつけもの 春菊のおひたし
そ の 他	絵本作り 友達の家 旅行のしおり作り アルバム作り →	散歩の地図作り ハッピータイム100回パーティー 準備 (くす玉づくり)	カルタ大会の練習 卒業生へのプレゼント作り 卒業生を送る会準備 →

3年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
調 理	ご飯の炊き方 ご飯を使った調理 おにぎり 焼きめし	玉子を使った調理 卵焼き オムレツ お菓子作り スイートポテト ケーキ	コーヒー・紅茶の入れ方 雑煮 おでん
そ の 他	新入生歓迎会の準備 長縄跳び 旅行のしおりづくり 花のアルバム作り → 卒業文集づくり →	表現会のポスター作り Tシャツ作り パソコンを使って写真プリント 高等部面接の練習	カルタ大会の練習 卒業制作

生活（散歩）

散歩は教室から外に出て人や物・自然や社会とかがわかることができ、生徒も教師も気持ちが開放される。教師は生徒と一緒に散歩を楽しみ、同じ場所同じ空間を共有して同じ発見や体験をしたりする。こうした中で、生徒とじっくり向き合い、適切な援助をするようにしている。生徒自らが判断して決定する場面やその子らしさ、その子の良いところが発揮できる場面も多い。

散歩に行く場所は毎回話し合いをして生徒とともに決めるようにしている。自分たちで行き先を決めることは生徒が主体的・能動的に活動できる要素となっている。

一人では成しえないことでも教師や仲間と一緒にならできることも多く、クラスという集団で行動することも重要だと考えている。生徒たちが友だちへの関心を高め、友だちを知り、友だちと深くかかわっていけるような内容の設定をしている。友だちや地域の人とつながっていく心地よさを感じることができるよう、散歩後に思い出を教師やクラスの仲間と共有したり、散歩先で出会った人と交流したりすることにも取り組んでいる。

また、散歩と他教科の学習は相互に関わっており、校外で実際に体験することは生徒の心や体のなかに蓄積して、後に大きな力となると考えている。

① 目 標

- ・クラスの仲間意識を高める
- ・人、物、社会とつながって生きていく力を育てる
- ・生活経験を広げ、意欲を持って生活する気持ちを育てる
- ・体を動かし体力をつけるとともに心も開放させて、困難にくじけないたくましい心と体をつくる
- ・散歩での様々な経験からわき上がってくる気持ちを他者に伝えたり、相手に働きかける気持ちを育て、つたえあう喜びを感じる
- ・散歩でとる行動を自己選択・自己決定し、自分の気持ちを表現する力を育てる
- ・公共物の利用、安全、マナーやあいさつ、余暇などに役立つ知識や技能を育てる

＜学年ごとの散歩のねらい＞		三 年 目	[集団] 仲間とともに考える [個人] 集団の一員として行動する
		二 年 目	[集団] 仲間とともに楽しむ [個人] 自分と他（人・物・場所）とのかかわりを考える
一 年 目			[集団] クラスの仲間を意識する [個人] 自己決定する
	1年生	2年生	3年生

② 学習の形態

各学級単位で行い、担任2名が指導する。

③ 内容および活動例

■散歩の形態（方法）

ぶらり散歩

目的散歩

教師主導型と生徒主体型

教師主導型と生徒主体型

集団で行く散歩と個人で行く散歩

集団で行く散歩と個人で行く散歩

■散歩の場（対象と題材）

自然との
かかわりを求めて

街との
かかわりを求めて

社会との
かかわりを求めて

川に出かける
石ころ道を歩く
草むらを歩く
花を見つける
秋の山を歩く
竹林を歩く
雨の中を歩く
雪道を歩く
自転車に乗って

学校周辺を歩く
デパートに出かける
公共施設に出かける
市内バスを利用する
電車を利用する
マンホールを探しながら
橋をたどる
坂めぐりをする
用水を探る
階段道を歩く
マークを探しながら

お店を見つける
お店で食べる
バス停をたどる
交通ルールを知る
イベントを見に行く
友だちの家へ
先輩の職場へ
大学へ散歩
出会った人と交流する

■散歩へのアプローチ（ねらいと言葉かけ）

散歩になれる → 散歩を楽しむ → 散歩を知る

「お出かけするよ」

「いいお天気だね」

「何が好き」

「〇〇行くよ」

「〇〇見てみようか」

「何したいかな？」

「〇〇を歩いてみよう」

「今日の先頭〇〇さん」

「どこ行こうか」

■指導の手だて（教師の姿勢）

気づく → 見守る → 支援（援助）する

見る

待つ

ヒントを示す

知る

認める

きっかけを与える

感じる

受け入れる

気づかせる

④ 年間指導計画例

1年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
街 と の かかわり	兼六園の花見 学校周辺を歩く ワゴン車でバラ園へ 横安江町商店街へ七夕飾り を見に行く	コンビニに行こう 電車を見に金沢駅へ クリスマスの飾りを見にデ パートへ	周遊バスに乗ろう 図書館で本や CD を楽しも う
自然との かかわり	浅野川へ川遊び	卯辰山へ落ち葉拾い 本多の森公園へ行こう 里山へ秋を探しに	雪道散歩
社会との かかわり	先生の家訪問		喫茶店へ行こう 大学散歩

2年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
街 と の かかわり	兼六園の花見 路線バスでバラ園へ 近江町市場へ苗を買いに	中央公園へ自転車に乗って 東茶屋街散策	周遊バスに乗ろう 竪町通りを歩こう
自然との かかわり	浅野川上流へ川遊び 卯辰山菖蒲園へ行こう	里山へ秋を探しに 浅野川周辺の竹林を歩こう	雪道散歩
社会との かかわり		友だちの家訪問 →	大学散歩

3年

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
街 と の かかわり	兼六園の花見 金沢の緑地（天神町、子来 町、主計町、彦三町など） をまわろう	電車に乗ろう	高いビルを見学しよう からくり記念館見学
自然との かかわり	季節の花を探そう 浅野川・犀川へ	金沢城公園へ 卯辰山散歩 里山へ秋を探しに	→
社会との かかわり	友だちの家訪問	先輩の仕事場訪問 国際交流祭りに行こう	大学散歩 卒業記念品を注文・取りに いこう

ハッピータイム

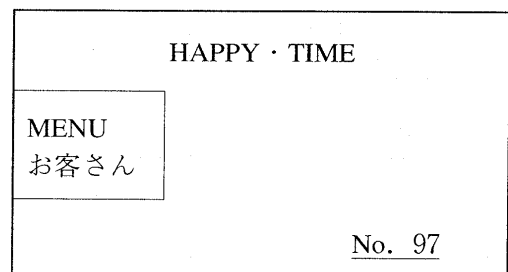
ハッピータイムは、中学部の学部集団学習である。通常は、中学部ホールまたは体育館で行われ、1) ゲーム 2) 音楽 3) 発表 4) 週番 5) 行事に向けた活動の5つを主な内容として展開している。さまざまな集団活動を通して、生徒同士のかかわりがより豊かになることを願って設定したものであり、「この時間を過ごすことで気持ちがうれしくなる、みんなと一緒にいることが楽しい時間」ということで、ハッピータイム (H・T) と名前がついている。

ここでは、学年 (学級) の枠を越えたダイナミックな活動が期待でき、自分を表現する力、友だちのことを理解する力、自発的に参加する態度を養うことをねらっている。そこで、まわりの人たちとの関係づくりに視点をあてた活動を多く取り入れている。

H・Tでは、始まりのスタイルや1時限の流れを一定にし、友だちや教師のすることが見やすいように、コの字型に椅子をならべている。また、進行の一部を生徒に任せたり、生徒が考えた案を状況に応じて取り上げたりしている。

始まりのスタイル

- ① 「ハッピーチルドレン」の曲を流し、その曲を合図に自分で椅子を持ち、ホールまたは体育館に集まる
- ② 全員が揃うまで曲に合わせて踊る
- ③ またその間、生徒が自発的に黒板に「HAPPY・TIME」、その時間の「MENU」、実施回数の通し番号「No. _____」を書く
- ④ 全員が揃ったら、週番の号令によりはじめの挨拶をする
- ⑤ その時間の活動内容を知る



黒板例

① 目 標

- ・ みんなと一緒に活動することの楽しさを味わう
- ・ 思いきり自己開放し、自分を表現する
- ・ 友だちを理解し認め合い、互いに気持ちが通いあう心地よさを知る
- ・ 人との出会いを通して新しい文化や世界にふれて視野や体験を広げる
- ・ コミュニケーション能力を高め、友だちや教師とかかわる力を育てる
- ・ 次週の予定を知り、見通しをもって学校生活が送れるようにする

② 学習の形態

中学部生徒全員を教師4名で指導する。

③ 各分野のねらいと内容

分 野	ね ら い	内 容	活 動 例
ゲ ー ム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を思いきり動かしみんなと一緒に活動する楽しさを味わう ・ 自らやってみようとする気持ちを育てる ・ 目標達成にむけて協力する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対抗ゲーム ・ 記録に挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いすとりゲーム ・ デカパン競走 ・ おんぶりレー ・ だめよだめだめつれてかないでゲーム ・ 長縄跳び合計100回 ・ ドミノ並べ ・ 空き缶つみ
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌ったり楽器を鳴らしたりして自己表現する ・ 大きな声で歌ったり、正確なリズム感を育てる ・ ダンスを通して自己開放する ・ リズムや曲想を感じとり、身体表現を楽しむ ・ 音楽のもつ美しさにふれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱 ・ リズム ・ ダンス ・ 鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の歌 ・ 覚えたい歌 ・ 好きな歌（リクエスト） ・ いろいろな楽器や素材を使ってのリズム打ち コンガ、マラカス、ティンパニー、和太鼓、竹筒、石、新聞紙、鉄管など ・ 模倣ダンス 話題の曲（だんご3兄弟、おはロック、学園天国校門編など）を使って ・ 創作ダンス いろいろなテンポや拍子の曲を使って ・ 生演奏 ギター、ピアノ、フルート、和太鼓など
発 表	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの前で自分を表現し、友だちを理解する ・ みんなに知ってもらい喜びを味わう ・ 進んで発表しようとする態度を育てる。 ・ 人との出会いを通して新しい文化や世界を知り、視野や体験を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分についての発表 ・ ジェスチャー ・ お客さん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所や通学方法、家族、特技、大切なもの、好きなものなど ・ 夏休みの思い出や作品 ・ 自分に届いた年賀状 ・ 行事の感想 ・ なりきり遊び 洗濯機、お風呂など ・ まねっこタイム 友だちの言葉や身振りなどをみんなでまねする ・ 学校で働く人（事務部や他学部の先生） ・ ○○さんのお母さん・お父さん・兄弟、先生の家族 ・ 外国の人（留学生） ・ 近所の人 ・ 教育実習生など

週 番	・次週の予定を知り、見通しをもって学校生活が送れるようにする	・来週の予定の確認 ・週目標の決定 ・週番の交代 ・お楽しみコーナー	・行事などの確認 ・提案、相談 ・絵本の紹介 ・歌、手あそび ・紙芝居 ・友だちの誕生日 など
-----	--------------------------------	---	--

*行事に向けた活動について

学校行事・学部行事に関する活動はH・Tの時間にくみ入れ、取り組んでいる。

④ 年間指導計画例

ゲーム

1 学 期	2 学 期	3 学 期
集まれゲーム いすとりゲーム だめよだめだめつれてかないで ゲーム 空き缶つみ	しっぽとり デカパン競走 おんぶりレー ドミノならべ	ゴロ卓球 ズックとぼし 綱引き 長縄跳び

音 楽

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
歌 唱	バラが咲いた、ビリーブ 好きな歌 (リクエスト)	赤い花白い花、気球に乗ってどこまでも	ともだちはいいもんだ、たんぼぼ
リ ズ ム	鉄管 コンガ	竹筒 和太鼓	新聞紙、石 ティンパニー
ダ ン ス	おはロック ワルツの曲	だんご3兄弟 タンゴの曲	学園天国校門編 ジルバの曲
鑑 賞	クラシック曲 楽器の生演奏		

発 表

1 学 期	2 学 期	3 学 期
おうちはどこ? まねっこタイム お客さん	夏休みの思い出 なりきりあそび	年賀状の紹介

週 番・・・年間を通して同じ内容を行う

リズムタイム

中学部の3年間は心と体が大きく成長する大切な時期である。しかし、運動経験が乏しかったり、体のバランスが悪かったり、動きつづけることができなかったり、思い切り体を動かすことが苦手な生徒が多い。そこで音楽に合わせて楽しみながら体を動かすことで自然に運動が行えるように取り組んでいるのがこのリズムタイムである。体力の異なる生徒たちが同時にできるように、単純な動きを8ビートの曲に合わせ、左右バランスよく変化を持たせるようにした『エアロビクス体操』を中心に、いろいろな動きを経験できるようにと考へて行っている。その中で一つ一つの動きは正確にできなくても、楽しくその子なりに動けることを目的としている。そしてそれが心の開放にもつながることを願っている。

指導にあたっては、動きに合わせて発声したり、言葉を結びつけてわかりやすいようにしたり、その場の生徒の動きを取り入れたりするとともに、毎回最後に、上手な子や頑張っていた子を発表して誉め、満足感を持たせ、より意欲的に主体的に参加できるように働きかけている。

① 目 標

- ・楽しみながら体を動かす
- ・いろいろな動きを経験する
- ・休まずに動きつづけることができる
- ・意欲的・主体的に参加する

② 学習の形態

中学部生徒・教師全員が参加する。

③ 指導の方法と内容

	内 容	方 法
リズムタイムの流れ	ランニング * 1	各クラスの朝の会終了後それぞれ集まってくる。全員がそろった間、準備運動を兼ねて右まわり左まわりと向きを変えて5分程度ランニングする
	ウォーミングアップ * 2 * 3	指導の教師の動きをまねる ウォーキングレベル・ランニングレベルの曲に合わせ、ステップを中心に単純な手の動きを交えながら行う
	エアロビクス体操	ウォーキングレベル→ランニングレベル→ウォーキングレベルの順に構成したもの。ステップを中心に同じ動きが繰り返されている。10分間動きつづけることをねらいとしている
	ストレッチ体操	エアロビクスに引き続きクーリングダウンとして各種のストレッチ体操を行う 腕・肩・アキレス腱・ふともも・股関節・腰・ウエスト・胸・腹・脇・首等、それぞれの部位のストレッチの型が身につくように繰り返し指導する
特別メニュー	* 1 おいかっこタイム	鬼を決めて『○○さんをつかましろ』と鬼ごっこをする ランニングが苦手な生徒もこれには積極的に参加できる
	* 2 まねっこタイム	生徒や他の教師が前に出て好きな動きをし、それをみんなでまねて動く
	* 3 パラパラエアロ	エアロビクスの簡単なステップ、ダンスを取り入れたもの ステップの足を止めないでできるように指導している

*日に応じて取り入れる

④ 年間指導計画例

年間を通して同じ流れで行い、見通しがもてるようにする。

(3) 総合的な学習の時間

フリーデイ

フリーデイは、子どもたちが自分の判断で行動できる時間であり、“ずっと長い休み時間”として設定している。総合的な学習の時間に位置づけ、『生きる力』を育てることをねらいとしている。

教師にとってこの時間は、子どもを理解し一人一人の課題を明らかにしたり、教師自らが子どもとどうかわかるか、子ども主体の活動を作り上げるにはいかに支援すればよいかを学ぶ場となっている。

① 目 標

- ・自分で考え、自分で判断し、周りの環境（人やもの）に働きかけ、行動する力を育て自己選択・自己決定の力を育てる
- ・『生活の主体者』として行動することにより、その喜びを知る
- ・自分からしてみたいという意欲を育てる
- ・友だちとかかわりあう力を育てる
- ・コミュニケーションの力を育てる

② 学習の形態

中学部の全生徒と全教師で行う。

③ 実施にあたって

- 1) 事前にフリーデイの持ち方や場の設定について話し合う
- 2) フリーデイを実施する
- 3) 実施後、生徒の様子と教師の対応を話し合う
- 4) 生徒の課題と目標を話し合う

④ 実施内容

- ・学期に1～2回実施する
- ・午前中のみの場合と給食時間を含む場合の二通り（3～5時間）を設定する
- ・実施場所は中学部エリアと運動場・体育館（空いている場合）とする

⑤ 日程（例）

- 9:20 ホールに集合し、フリーデイの説明を聞く（時間と行動できる範囲・注意事項）
- 9:40 フリーデイの開始（給食時間も含む）
- 13:10 ホールに集合し、フリーデイの感想を話し、終了する

⑥ 実施形態

Aバージョン【徹底した行動観察】

- ・特に場の設定はしない
- ・子どもの行動観察を徹底し、ありのままの姿を見る
- ・実施後一人一人の課題を把握する（いずれのバージョンにおいても実施する）

B バージョン【教育資源を工夫する】

- ・教師が素材・資源を準備し、遊びの中心になって遊びを広げる
- ・子どもの要求に応じて遊ぶきっかけをつくるが、子どもたちのしたいことを大切に、教師の方から遊びを設定しないようにする

C バージョン【環境設定】

- ・教師が興味を引く活動を設定し、関心を示す子どもと一緒に活動する
- ・教師の行動に子どもたちがどのように気づき、どのように参加してくるか注目する

D バージョン【A+B+C】

- ・個々のニーズに応じて教師は柔軟に対応する

④ 実践例

形態	教師の用意した場・資源	子どものあそび
A	特に準備しない	<ul style="list-style-type: none"> ・各種楽器（ピアノ・コンガ・太鼓など） ・自転車・一輪車 ・お絵かき ・自宅から持参したもの（カード・カルタ・ビデオ等）*いずれのバージョンにおいても同じ
B	紙工作（紙・テープ・モール・綿・はさみ・セロテープ・マジックなど） マイク（キーボード・マイク機器） ドミノ・木片 ギター 粘土 なわとび 自転車	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物づくり（ソフトクリーム・ジュース・サンドイッチ） ・ぬりえ ・好きな歌を歌う ・積木（タワー作り） ・楽器遊び ・紙粘土 ・電車ごっこ ・にらめっこ ・すもう ・詩づくり ・自転車 ・トランプ
C	カレンダーづくり（紙工作） コスモスの花びら染め ミシン掛け・アイロンかけ 砂絵 焼き芋 ドミノ 絵本 ギター・歌	<ul style="list-style-type: none"> ・初めのうち、教師のすることを見ているだけだったが、少しずつ自分の好きな活動に参加してきた ・好きな時に参加、嫌になると次の活動に移ったり、自分の好きなことを始めたりしていた
D	紙工作 折り紙 ドミノ お絵かき	<ul style="list-style-type: none"> ・お店やさんごっこ ・大鍋づくり ・カルタとり ・ドミノ ・CD鑑賞 ・釘打ち ・綿菓子 ・ギターと歌

資料 中学部の主な年間行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新入生歓迎会 (H・T) オリエンテー ション(H・T) 花見(兼六園) フリーデー	宿泊学習	一泊旅行 (修学旅行) 写生大会 おふろの日 フリーデー	水泳教室 大学プール 健民プール	登校日 しごとデイ	おふろの日	秋の合宿 秋の遠足 社会見学 フリーデー	表現会にむけ て(H・T) H・T100回記 念パーティー フリーデー	スケート教室 3年進学面接	新年会 書き初め大会 カルタ大会 しごとデイ	そり教室 スキー教室 フリーデー	卒業を祝う パーティー 卒業生を送る 会
春の遠足 日曜参観	運動会 体育交歓会		オーケストラ 鑑賞教室	夏祭り	教育実習		表現会 意見発表会	バザー		教育研究会 日曜参観	卒業式

*花見……はじめで学級で出かける『散歩』になる。中学部全員で出かけるが各クラス単位で行動する。近くの兼六園へ行き、傘をかぶった部主事を見つけてシールをもらい、3つそろうと花見だんごがもらえる。

*宿泊学習……6月に予定されている旅行に向けて、練習のための宿泊学習。金沢大学の宿泊研修センターを利用する。

2日目には旅行時の見学先とよく似た所に出かけて経験してみる。

*一泊旅行……富山方面の一泊旅行・福井方面の一泊旅行・大阪方面の2泊3日の修学旅行を毎年順に行う。

特に富山方面の一泊旅行では観光バスを使わず、JRや公共の乗物を利用したり、富山市内でのクラスごとの自由行動を実施したりしている。

*写生大会……『いしかわ動物園』にでかけ、ほんものの動物を目の前にして絵を描く。

*おふろの日……1・2学期に1回ずつ実施している。生活訓練棟「すずかけの家」でおふろに入り、その後流しそうめんや焼き芋パーティーなどお楽しみの活動をする。

*秋の合宿……日常経験できないダイナミックな活動をすることを目的としている。1日目は親子で登山に挑戦し、その後親は解散。生徒と教師だけで宿泊する。2日目は公共施設の見学や野外などで活動し、学校に帰って給食を食べる。

*社会見学……公共の施設を利用したり、普段あまり馴染みのない場所を訪れ、その利用方法や約束ごとなどを体験する。金沢大学散歩(学長室・学生食堂など)や埋蔵文化財センターなどを訪れている。

*表現会……約1ヶ月前からH・Tの中で取り組んでいる。その子らしさを自然に劇の中で発揮できるように、舞台に上ることから始め、楽しく演技できるように練習を積み重ねていく。

*H・T100回記念パーティー……年度始めから数えて100回目をむかえたことを記念して行う。100回のH・Tの歩みを振り返ったり、『100』という数字の重みを実際に体験を通して感じるために、100冊の本を積み重ねたり、100回なわとびを跳んだり、100本のろうそくに火を灯したりする。

*バザー……喫茶店を担当する。そのために2週間前から、実際にウェーター・ウェートレスになって練習を積み重ねて当日を迎える。

*スケート教室……金沢スケートセンターにでかけ、全員がスケート靴をはいて体験する。年に1回の経験であるが学年を追うごとに少しずつ上達している様子がうかがえる。

*スキー教室……鳥越高原大日スキー場まで出かけ、全員がスキーをはいて体験する。慣れた生徒からフリフトに乗ってゲレンデを滑り降りることに挑戦している。

*卒業を祝うパーティー……卒業を祝って中学部全員がレストランにでかけ、本格的なランチを食べる。クラスごとに現地集合し、ナイフとフォークを使った食事を体験する。費用としてバザーの収益金を当てている。

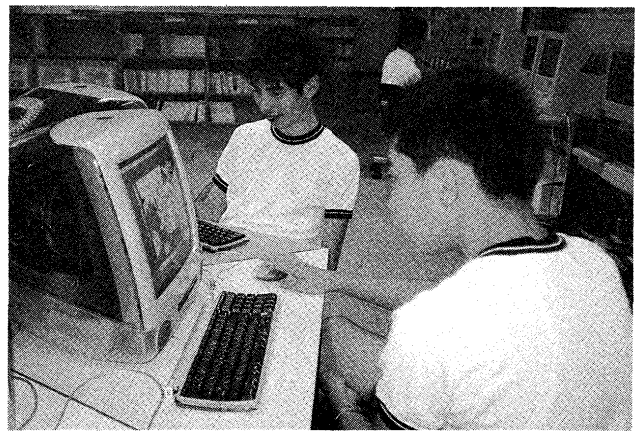
*フリーデー…(内容表「フリーデー」参照のこと)

*しごとデイ…夏休み登校日の大掃除のための荷物の運び出し作業、冬の除雪作業など機会を捉えて仕事をすすめる日を行っている。

3. 高等部



作業学習（製菓班）
「クッキー生地づくり」



情報「コンピュータグラフィックス」



ほんもの学習「ボウリング」



挑戦学習「アイロン」

高等部として大切にしたいこと

生徒の実態を把握する

高等部になるとそれぞれが自分の世界をもち、思春期とも重なって複雑な内的世界をもつようになる。異性への関心やあこがれ、将来の夢や希望をもったり、語ったりする時期である。また自己主張が強くなることから、表出言語がない子でもやりたいことや嫌なことがあると自分なりのコミュニケーション手段で強くアピールしてくる。改めて生徒一人一人の個性が明確になってくる。

さらに生活経験を積み重ねて、学校や家庭において自分の生活を作り上げている。毎日、毎週、毎月、毎年の繰り返しの中で見通しをもち、行事を楽しみにしたり、不安に思ったり、予定が変わっても納得したりと、同じ活動でも受け止め方は様々であるがそこには必ず個々の成長を見て取ることができる。しかし知識では知っていても経験のないことは自分の生活の中の行動とは直接結びつかないようである。自分で経験をし、それが何らかの意味をもつことで生活に位置づけられ、次の同じような経験をした時に、蓄積し、定着していくようである。青年期の特徴に加え、生徒の今日までの育ちを考慮し、一人一人の実態の把握に努めたい。

「学ぶ」「働く」「遊ぶ」活動のバランスの良い展開を行う

高等部では 生徒の学校での生活及び卒業後の生活を「学ぶ」「働く」「遊ぶ」の3つのカテゴリーで構成されていると考えた。

「学ぶ」は自分の課題、身の周りの出来事、そして先生や友だちとのかかわりを通して、知的な欲求を満たす活動で、得た知識は生活で生かすことができる。実際の科目の分類では主に「各教科学習」「生活」「挑戦学習」「ほんもの学習」などがあげられる。

「働く」は結果や成果を他者から認められたり、喜ばれたりするといった人とかかわりを通して、自己の有用性を見出す活動である。「作業学習」や「生徒会・委員会活動」、時間割には出てこないが生活を自分たちで担う活動として、清掃や係活動、各行事での準備に関する活動などがあげられる。

「遊ぶ」は自分の好きなこと、楽しいこと、面白さを追求する活動である。「レクリエーション活動」や「趣味学習」「生活」「挑戦学習」「ほんもの学習」「全校集会」などがあげられる。

この「学ぶ」「働く」「遊ぶ」の3つのカテゴリーで構成する教育活動がバランス良く整えられ展開される必要がある。これが生徒の現在及び将来にわたって「豊かな心と生活」づくりを支援する教育課程になると考えている。

また、「できるから」といった本人の力による取り組みばかりでなく、「やってみたい」という本人の意思での取り組みを大切にしたいと考えて、生徒自身が学習内容や課題を選択できる機会を増やしている。教育活動のいろいろな機会を捉えてできるだけ選択肢を準備し、生徒が自己選択・自己決定でき、主体的に学習を進めていけるように支援したい。

生徒を主体者として尊重する姿勢をもつ

生徒を生活の主体者として尊重するためには、生徒にかかわる関係者は支援者となる。教師は生徒を受容

いろいろな機会にほめたり励ましたりするのはもちろんのことであるが、その存在をどのように捉え、どう接するかを考えていきたい。

まず、生徒を豊かな人間として捉えることが大切である。生徒たちの知的発達レベルは様々であるが、生活経験から培われた情操や思春期の複雑な感情、周囲の人々や異性に対する気持ちの変化などを考慮すれば、年齢相応の対応の仕方があるはずである。私たちは常に高校生を相手にしていることを忘れてはならないと考える。

次に、伸びゆく存在としての生徒の可能性を信じることである。将来の生活を想定して学習活動を一つの方向に絞るのではなく、多方面にわたる活動の中からその可能性を探っていきたい。ある学習では見つけられなかった生徒の長所やつまづきが他の学習で見つけられたり、その子らしさが遊びの中で見られたりすることもある。そしてそこから始まる支援があると考えている。周囲の人が共に生徒の可能性を信じ、その伸びを喜び合える環境においてこそ、自信や自尊の気持ちが育てられ、新しい活動への意欲につながると考えられる。

そして、充実した学校生活を送るその先に、卒業後の生活があると考えている。生徒にとって今の生活は卒業後の準備期間ではない。今を豊かに生きることをつなげていくことが豊かな生活につながっていくと考えている。

実際の実践に関しては、教師自身が意欲的な授業、行っていて楽しい授業は生徒にとっても楽しい授業であると思われる。その年その年の教師集団の特性を生かした学習を展開していきたい。

保護者との連携を大切にす

高等部では一人一人にできるだけ明確な課題を提示していく方向で学習を計画実施していきたいと考え、4月当初、保護者に対して「身辺自立」「学習面」「コミュニケーション」「余暇」「作業面（態度／技術）」「卒業後の進路」その他について、アンケートを行っている。

- ・現在、子どもに対してできるだけ早く身につけさせたい、育てたい事柄、また最近できるようになりつつあること、やりたがる事柄
- ・将来、子どもが身につけていく必要があると思われる、あるいは育てていきたいと考えている事柄
- ・現在、子どもがもっていて、今後伸ばしていきたいと考えている能力や態度

上記の視点での保護者の子どもに対する現在及び将来的な願いや希望を、可能な限り教育活動に生かしていきたいと考えている。

また、高等部で最も大切な保護者との連携は進路指導においてなされている。1年生の職場見学、2年生・3年生の現場実習を積み重ね、徐々に卒業後の進路を決定していく。具体的な事柄としては、卒業生の話を聞く学習、どんな仕事をしたいのかという希望調べ、生徒の特技を生かす職場調べや職場開拓、ジョブコーチの取り組み、ショートステイを取り入れた現場実習など、個々の生徒の実態に合わせた取り組みを随時・積極的に行ってきた。進路指導は、生徒本人、保護者、教師が密接な連携を取りながら、個々の生徒の「特技」「特徴」「働く意欲・態度」「性格」、そして保護者の「希望」「家庭の実態」を考慮して決定している。

(1) 教科別の指導

国 語

国語では「氏名、住所、生年月日」や「食事のメニュー」など、実生活における必要性を想定し内容を設定している。よって「仮名や漢字の読み書き」「助詞」「主語と述語」などいわゆる基礎的事項は題材として表面上示されることは少ない。しかしこれらの内容については、生徒個々の習得状況に即して指導している。

「ローマ字」や「英単語」も生活の中での必要性や生徒の興味・関心に応じてという観点から「挑戦学習」の課題として取り上げたり、グループによっては国語の時間の中で扱ったりすることもある。

「領域・教科を合わせた指導」がより円滑に進められるために必要な指導内容を国語の時間にとりあげ指導することを意図している場合もある。よって表現会やかるた大会など行事との関連により国語の単元として扱うものも多い。

① 目 標

- ・日常生活に必要な国語を理解し、表現及びそれらを適切に活用する能力と態度を育てる

② 学習形態

全生徒を習熟度別に4グループに編成する。1グループに生徒2～8名、教師1～2名。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
聞 く	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な話し言葉に慣れ身近な人の話を聞く ・話の内容を聞き取り要点を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が読むのを聞く ・ストーリーを大体知る ・登場人物のことは聞きとり、感情を高める ・主人公の心情をうけとめ作品の良さを知る ・感想の話し合い・感動したことを話し合う ・友だちの感想を聞き自分の思っていることを話す ・感想文(思ったこと、考えたこと)を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の朗読 ・文学作品(表現会の題材「七稲地蔵」「芋掘り藤五郎」など) ・民話、童話(絵本、紙芝居、ビデオ)
話 す	<ul style="list-style-type: none"> ・身振りや音声で表現したり、見聞きしたことなどを簡単な言葉で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の名前を言ったり書いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ことば遊び(メニュー、道具など) ・パズル ・しりとり

	<ul style="list-style-type: none"> ・見聞きしたことを話す ・目的や場に応じて要点や感想を話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や行事や休日のことをみんなの前で話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介／行事／休日のこと
読む	<ul style="list-style-type: none"> ・文字などに関心を持ち見たり読んだりする ・簡単な語句や短い文などを読む ・いろいろな語句、短い文、文章を読み内容を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真カードと文字カードのマッチングをする ・パズルやしりとりなど、ゲームの形で物の名前を言ったり書いたりする ・絵と文字を見て同じカルタをとる ・文字だけ見て同じカルタをとる ・百人一首のカルタを読んで覚える ・百人一首のカルタとりをする ・教師が読むのを聞く ・はっきりと読む ・詩を書き写す ・国語辞典の50音の並びを理解し、引き方になれ、意味を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の名前(友だち、先生、家族) ・文字カード並べ(メニュー、道具など) ・カルタ取り ・百人一首 ・詩の朗読 ・国語辞典
書く	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具を使って書くことに親しみ文字や簡単な語句や短い文を書く ・いろいろな語句や文章を手紙や日記など目的に応じて書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペンではがき、手紙、年賀状などを書く ・事物や地名などを正しく書く ・ものごとを順序よく書く ・思ったこと感じたことを書く ・清書をする ・みんなの前で読む、聞く ・書き出しの言葉、終わりのあいさつの言葉、書き方の形式などを習って、お礼などの手紙を書く ・はがきや封筒のあて名、差し出し人の住所氏名を書く ・郵便番号を調べ、切手を貼って出す ・自分の生年月日、住所、電話番号、家族の名前などを確認し、必要な事項を記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・はがき、手紙、年賀状 ・日記や旅行の作文 ・手紙の書き方 ・履歴書
英単語 英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットや簡単な語に興味や関心を持ち簡単な英語を使って表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・五十音表から必要な文字を見つけ自分の名前や駅名や人名などを読み書きする ・ビデオを見たり、歌を歌ったり、簡単なあいさつを真似て話したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字の読み方、書き方 ・あいさつ

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
1 グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ・本（見る、聞く） ・コンピュータ絵本（見る、聞く） ・マイクで発声（話す） 				<ul style="list-style-type: none"> ・カード（なかまわけ） ・劇の練習（動作） ・百人一首（マッチング） 							
2 グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書（名前、住所等） ・日記（休日の出来事等） ・詩を読む（音読、読解） 				<ul style="list-style-type: none"> ・単文づくり ・お店の品物 ・劇の練習（読む、話す） ・百人一首（マッチング） ・群読 「どっちの学校いい学校」 							
3 グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居（見る、聞く） ・絵本（見る、聞く、読む、話す） 				<ul style="list-style-type: none"> ・手紙（書く） ・劇の練習（読む、話す、覚える） ・百人一首（読む、覚える） 				<ul style="list-style-type: none"> ・詩（話す、書く） 			
4 グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ・力試し（プリント学習など） ・履歴書、自己紹介（現場実習にむけて） ・行事の思い出、作文、手紙（運動会、修学旅行など） ・ことわざ、四字熟語、反対ことば（読む、書く、話す、覚える） ・物語の読み聞かせ（表現会にむけて） 				<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書、自己紹介（現場実習にむけて） ・国語辞典 ・劇の練習（読む、話す、覚える） ・百人一首（読む、覚える） 							

数 学

数学には〈数と計算〉の分野と〈数量生活〉の分野とがあり、それらは車の両輪のように不可分の関係にあると考える。一応、指導の便宜上分けて指導するが、必要に応じては関係づけて指導することが大切である。

数量に関する知識理解と数量処理能力の向上を図るためには、できるだけ実生活に用いられている用具等を使って経験的・实际的に理解させるように努めなければならない。

生徒の中には、長い年月の間に数学が苦手だと感じている子も少なくないので、できるところ・分かるところから課題を絞り学習していきたい。そして、できることや分かることが増えるよう支援していきたい。指導にあたっては、一斉指導で進めることがほとんどであるが、随時、一人一人のつまづきを見きわめそれに対応できるよう個別化を図りたい。そしてできるだけ成功感・達成感を得させ自信をもたせるようにし、数量に関する興味・関心を育てるようにしていきたい。

① 目 標

- ・数量に関する知識理解と処理能力の向上を図ると共に、実生活の中で扱ったり処理したりできるようになる
- ・実生活で用いられている器具や用品に関心を持ち、それらを理解し扱おうとする態度を育てる

② 学習形態

全生徒を習熟度別に4つのグループに分けて学習する。1つのグループは1名の教師で担当するが、必要に応じて2名で担当する。

③ 指導項目及び内容

分野	指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
数 と 計 算	数の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・個数が数えられる ・数の大小・順序づけができる ・数量処理能力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合数・順序数が分かる ・数の大小が分かる ・数字を読んだり書いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・トランプあそび ・位取り、数字の書き方と読み方
	計 算	<ul style="list-style-type: none"> ・たす、ひく、かける、わるの意味が分かり、それらに基づいて計算できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・足し算・引き算をする ・九九を知る ・乗法・除法の計算をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・＋、－、×、÷、＝の記号とその意味 ・九九を覚える ・電卓で計算しよう
数 量 生 活	長 さ	<ul style="list-style-type: none"> ・物の長さ・高さや距離に関心をもつ ・物さしや巻き尺を使って計ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・長い・短い順に並べる ・単位を知る (cm, m, km) ・物さし、巻き尺などで計る 	<ul style="list-style-type: none"> ・棒の階段作り ・物さし、巻き尺の読み方・使い方

数	重さ	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の重さや自分の体重に関心をもつ ・計りの見方・使い方を覚えて計ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・重い・軽い順に並べる ・単位を知る (g、kg) ・計りや体重計などで計る 	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキーの重さ ・自分の体重はいくら ・計りの見方・使い方
	かさ	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物のかさに関心をもつ ・計量器を使って計ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・かさの多い・少ない順に並べる ・単位を知る (ml、l) 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳やジュースなどのかさ
量	図形と図表	<ul style="list-style-type: none"> ・図形や図表に関心をもつ ・図表を活用することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ色・形・図形などを集めたり、分解・合成したりする ・表から読み取ったり、書き込んだりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・色・形のマッチング ・パズルの構成 ・マークの認識 ・ゲーム表など
	時間時刻暦	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーや時計の見方を知る ・カレンダーや時計を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・時計を見て何時何分が言える ・時刻表を読む ・カレンダーを見て、行事予定日や曜日が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・時計・時刻表の見方と読み方 ・カレンダーの見方と読み方
活	金銭実務	<ul style="list-style-type: none"> ・金種を区別し、お金をもらったり支払ったりして社会生活・経済生活に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・金種を知り、区別する ・一人で買い物をする ・お金を払いおつりをもらってくる ・通帳を使う ・割り引きの計算をする ・請求・領収が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をしよう ・バザーで販売しよう ・郵便局で通帳を使おう

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
1 グループ	数字パズル (数字) —————→								—————→		
	トランプ (数と数量) —————→								—————→		
	碁石 (分別) —————→								—————→		
					すごろく (数と数量) —————→				—————→		
					カード —————→				—————→		
					図形 —————→				—————→		
2 グループ	カレンダー —————→								—————→		
	数字・数量 —————→				数の大小 —————→				時計 —————→		
	数の順序 —————→				図形 —————→						
3 グループ	時計<アナログ時計で> —————→				カレンダー —————→				買い物 —————→		
	(時間を読む・1日の流れを知る)				(位置・予定)				(お金の種類・買い物をする)		
4 グループ	数と計算 —————→								—————→		
	時刻・時間 —————→				長さ・測定 —————→				金銭実務(1) —————→		
									重さ・測定 金銭実務(2)		

理 科

日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きについて理解し、それらを生かすことによって、自然や生命を重視する心を育てることをねらいとしている。また、生活に関係のある物質の性質や機械・器具の働きについて理解することで、日常生活に役立てよりよく過ごしてほしいと考えている。そのためには、体験を重視した活動を多く取り入れ、生活と結びつくようにしていきたい。

① 目 標

- ・自然の仕組みや働きについて関心をもち理解し、自然を大切にできる態度を育てる

② 学習形態

全生徒を習熟度別に4グループに編成する。1グループに生徒2～8名、教師1～2名。週5回あるグループ学習の中の1回で理科及び社会を行っている。

③指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
人 体	・人の体のおもななつくりや働きを理解する	・体を動かす骨と筋肉について調べる ・口、胃、腸など消化器の名称と働き、栄養素などについて調べる ・心臓の位置、働きについて知り脈拍数を調べる ・肺の位置と働きを知る	・骨と筋肉の働き ・内臓の働き ・心臓、血液の働き ・肺の働き
生 物	・生物についての理解を深め、生命の大切さを知る	・野菜を栽培し観察する ・魚や動物を飼育し、観察する	・夏野菜の栽培 ・金魚の飼育
機械・器具	・生活に関係のある物質の性質や機械・器具の働きについて理解し、適切に取り扱う	・洗剤の種類を調べ、用途によつての使い方を調べる ・身近な電気器具の正しい使い方を知る ・乾電池の単1、単3など、大きさの種類を調べる ・器具によつて入る大きさが決まっていることを知る ・+-を正しくセットする	・洗剤の種類と使用方法 ・暖房器具の使い方 ・乾電池の種類と使い方

自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について初歩的な理解を図る ・自然と生活との関係を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気図と天気予報に使われる用語について知り、四季の特徴について話し合う ・台風の情報を理解する ・木の葉などの色づきや、落ち葉の様子を観察する 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気図の見方 ・四季の特徴 ・台風の記事と情報 ・季節さがし
-----	---	--	--

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
1 グループ	学校周辺の散策 →				ビデオ視聴 →						
2 グループ	春を見つけに 植物や野菜の栽培 →				秋を見つけに						
	天気予報 →										
3 グループ	植物や野菜の栽培 →				体のしくみ →						
4 グループ	植物や野菜の栽培 →				体のしくみ →				天気図、天気予報 →		

社 会

自分たちの住んでいる地域社会を中心とした社会の様子、働き、移り変わりなどについての学習活動を通して、社会の中でできるだけ自立した生活を送ることができることをねらいとしている。そのためには、体験的な学習を多く取り入れたり、できるだけ具体的な内容を示すことで社会生活に活かせるようにしていきたい。指導にあたっては、生徒の発達段階や興味・関心、さらに学習経験や卒業後の生活での必要性などを考慮して単元を構成していきたい。

① 目 標

- ・社会の様子や働き、変化についての関心をもち、理解し、社会生活に必要な能力と態度を育てる

② 学習形態

全生徒を習熟度別に4グループに編成する。1グループに生徒2～8名、教師1～2名。週5回あるグループ学習の中の1回で理科及び社会を行っている。

③ 指導項目及び内容

指 導 項 目	ね ら い	内 容	題 材 例
社 会 と の つ な が り	・相手や自分の立場を理解し、互いに協力して役割や責任を果たす	・新聞の切り込み広告などから、身近な店で扱われているものを知る ・いろいろな職業について調べ、分類する	・いろいろな職業 (家族や周りの人の職業)
い ろ い ろ な き ま り	・社会や国にはいろいろなきまりがあることを知り、それらを適切に守る	・関心のある記事を切り抜き、スクラップブックに貼る	・新聞記事の切り抜き
政 治 ・ 経 済 ・ 文 化	・政治、経済、文化などの社会的事象に興味・関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する基本的な事柄を理解する	・新聞やテレビのニュースなどに関心のある記事について調べる	・身近なくらしと政治

<p>いろいろな地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子を理解し、社会の変化に関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の住所を調べ、家の周りの店、役所、公共の施設などの絵地図を作る よく利用するところについて発表する 石川県の自然、市町村名、道路、鉄道、駅名などを入れた絵地図を作る 特産物(輪島塗、九谷焼、農産物)、祭り、観光スポットなど特徴的なものについて知る 修学旅行の行き先を地図で調べたり観光スポット、特産物などについて調べたりする 都道府県名、地方名(都道府県の中心都市とその他の主な都市)を知り絵地図を作る 	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちのまち(金沢市を中心に) 石川県 修学旅行事前リサーチ 日本
<p>世界の国々</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事に関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主な国の名前、首都、国旗などを知る 旅行のパンフレットを参考にしながら行ってみたい国について調べる 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな国々 海外旅行プラン作り

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3					
1 グループ	学校周辺散策(地域) →															
2 グループ	身近な地域 →				旅行先の地図 →											
3 グループ	石川県の名所と特産物 →				いろいろな国 →				県名 →				全国の特産物 →			
4 グループ	日本の地名、世界の国々 →				歴史上の人物 →				修学旅行事前リサーチ				いろいろなきまり →			

音 楽

音楽の授業で大切にしていることとして、豊かな情操を育み、歌唱・器楽演奏の楽しさを知り、様々な楽曲にふれ、これらを生活の中に取り入れることができるようにする事があげられる。そのため1学期初めより多様な音楽にふれる機会を持ち、生徒の嗜好などの実態を知り、ビデオ、レーザーディスクなどのAV機器を利用して視聴覚的に理解を深めるように配慮する。また授業で用いる楽曲は生徒の自己選択の部分を残しながらも卒業後の生活につなげられるよう指導を考慮する。

器楽演奏など、すべての生徒に表現の機会を保障するため既存の楽器以外にもコンピュータ等の教材・教具を積極的に利用していくようにする。

① 目 標

- ・表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる

② 学習形態

- ・全生徒が芸術の一領域として「音楽」「美術」「書道」の3教科から生徒が選択し、活動する
- ・器楽演奏のための楽器、AV機器の備えられた環境で、6～8名の生徒と2名の教師で行う

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
歌 唱	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で楽しく歌う ・メロディーやリズムを意識して歌う ・自分で曲を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏に合わせて歌う (LD・MIDI) ・合唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の好きな歌 ・季節の歌 ・みんなで歌おう ・カラオケ
器 楽 演 奏	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の演奏方法が分かる ・他者の演奏を意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏に合わせて楽器演奏する ・自由に演奏する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベル演奏 ・和太鼓 ・コンピュータミュージック
身 体 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・曲から受ける印象を解釈して表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲にあわせて身体表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスコダンス
鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴いて感想を持つ ・自分の好きな曲を見つける ・幅広い音楽にふれる ・音楽についての知識を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・CDやビデオを通して演奏を聴く ・世界の音楽について知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・N響アワー (TV) ・題名のない音楽会 ・名曲アルバム (CD) ・オーケストラアンサンブル金沢(演奏会)

④年間指導計画例

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
歌 唱	私の好きな歌 →	みんなで歌う歌 →	季節と行事の歌 →
器 楽	ハンドベル・太鼓	キーボード・コンピュータ →	合奏 →
鑑 賞	古典音楽 →	民族音楽 →	邦楽・音楽史 →

美術

主な活動内容は大きく「絵画的活動」と「工作的活動」の二つに分けられ、それぞれにデザイン的な題材や彫塑的な内容も含む。その他として美術展などの鑑賞がある。

授業の初めに見本や制作手順を示したり、素材や材料に身近なものを取り入れたりするなどの工夫や配慮を行い、個々の生徒の気持ちに沿って制作を進めていく。生徒が今から始まる活動に関心を寄せたり、見通しをもって取り組むことが「やってみたい」「やってみよう」「楽しい」という気持ちを引き出すことにつながる。

友だちと一緒に作品を創り上げていく過程を生徒一人一人が楽しめるようにするとともに、生徒の作品に対して肯定的な評価をすることで、認められる喜びと次の活動への意欲を高めていきたい。また、友だちと同じ活動を行ったという意識を大切にすることで、友だちの作品にも関心をもち、友だち関係の継続と、互いに認め合い育ち合う機会にもなってほしい。

① 目 標

- ・「描く」や「作る」活動に友だちと一緒に参加する
- ・制作過程を楽しみ、活動に興味や見通しをもって取り組む
- ・モチーフに親しみ、用具や材料の名称を覚え、扱いに慣れる
- ・活動内容を理解し、創造・表現する楽しさを感じる
- ・自分と友だちの作品を互いに認め合う心を育てる
- ・自分自身の可能性を見つけ広げ、将来の趣味活動につなげる

② 学習形態

全生徒が芸術の一領域として「音楽」「美術」「書道」の3教科から選択し、活動する。6～10名の生徒と2名の教師で行う。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
絵 画	<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフに親しむ ・用具や材料の名称を覚え、扱いに慣れる ・制作過程を楽しむ ・興味や見通しをもって取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描く ・切り絵をする ・平面によるデザイン構成をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢植えの植物 ・風景 ・友だち ・ステンドグラス ・彩色紙帯によるデザイン構成 ・コラージュ
工 作	<ul style="list-style-type: none"> ・創造し表現する楽しさを感じる ・自分で作ったものを使って楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材を使って、立体的な造形作品を作る ・作って遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・同型紙による立体構成 ・張子のおめん ・飛び出す絵 ・凧
鑑 賞	<ul style="list-style-type: none"> ・実物の作品に触れる機会をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展の見学をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代美術展 ・美大卒展

④ 年間指導計画例

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
絵 画	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢植えの植物 ・デザイン構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・風景 ・ステンドグラス 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だち ・コラージュ
工 作	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び出す絵 	<ul style="list-style-type: none"> ・凧 ・張子のおめん
鑑 賞		<ul style="list-style-type: none"> ・現代美術展 	<ul style="list-style-type: none"> ・美大卒展

書道

高等部から入学した生徒は小中学校の「書写」の時間で、その他の生徒についても「書き初め」等で毛筆を経験してきている。鉛筆やペンで文字を書くときよりも落ち着いていた姿が見られたり、難しい字でも手本をみながら集中して書き上げ読み書きを覚えたりする生徒もいる。このような効果が毛筆にはあると思われる。しかし本校では以前は「習字クラブ」もあったが、ここ数年高等部の生徒が筆を持つ時間は教育課程上なくなっていた。

書道は卒業後も余暇の過ごし方の一つともなりうる活動であるとも考え、平成13年度から芸術の時間の一教科として設け、選択した生徒には年間を通して継続的に活動できる時間を確保することにした。

楷書を中心とし書くときの姿勢や、道具の準備、後片づけ、筆の運び型等はその都度指導するが、基本的には書に親しむ気持ちや創作意欲を大切にしていきたい。よって課題となる字は筆使いの系統的な配列ではなく、季節や行事に関連した言葉から選んでいる。

① 目標

- ・書に親しみ意欲的に創作活動に取り組む
- ・現在及び卒業後の趣味や文化的活動につなげる

② 学習形態

- ・全生徒が芸術の一領域として「書道」「音楽」「美術」の3教科から選択し、活動する。6～8名の生徒と2名の教師で行う

③ 指導項目及び内容

指導項目	ねらい	内容	題材例
毛筆 楷書(かな) (漢字)	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと書く ・落ち着いて書く ・字形を整えて書くように意識する ・字の大きさや配列に注意して書くように意識する 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の準備や片づけを行う ・季節や行事に関する言葉について話し合う ・教師や友だちの書き方を見る ・手本をみて書く ・なぞって書く ・作品を見る、選ぶ ・作品掲示をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や季節のことば「花」「雨」「走」「表現会のプログラム」 ・ことわざ、四字熟語 ・百人一首 ・書き初め

④ 年間指導計画例

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
「花」 「桜」	「走」 「勝利」		「雨」	「海」	「月」	「柿」	「霜」	「雪」	「寿」	「鬼」	「桃」
		「紫陽花」		「古城名月」		「秋刀魚」					
<ul style="list-style-type: none"> ・ことわざ・四字熟語 ・表現会プログラム・百人一首・干支・書き初め 											
姿勢、筆の持ち方、道具の準備後片付け、運筆（はね、とめ、はらいなど）→											

保健体育

保健体育の時間は健康の保持増進や体力の向上ばかりではなく、情緒の安定や余暇の充実、判断力や責任感、協調性等の育成にも効果があると考え。そのためこの時間では基礎体力や運動技能の向上をめざすとともに障害の状態や体力に応じて自分の好きな運動を見つけ、卒業後の生活においても運動に親しんでいく態度を育てていきたい。

また、生徒同士のかかわりを深める場面を設けたり、スポーツに対するあこがれが強い生徒たちに練習方法、道具、ルール等の工夫を行い、体を動かすことの喜びや楽しさを十分に感じとれる授業づくりに努めていきたい。

保健の分野は養護教諭と連携しながら、適宜行っている。内容については個々の障害の状態や思春期における心身の発達を考慮し、選んでいる。

① 目 標

- ・適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる

② 学習形態

全生徒が一斉に行っている。教師は4名で指導にあたっている。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例、実践例
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きや働きを高め、体力の向上を図る ・心身の緊張をほぐし、健康を維持する ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、友だちとのかかわりを深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な動きや巧みな動きを高める運動 ・力強い動きを高める運動 ・動きの持続性を高める運動 ・準備運動や整理運動 ・技能を高めるための補強運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチング ・SAQトレーニング ・筋力トレーニング ・ウォーキング ・ランニング ・エアロビック体操 ・踏み台昇降 ・ラジオ体操 ・スティックダンス ・リトミック

球 技	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを操作する技能を高める ・きまりや簡単なルールを守り、運動する ・友だちと協力し、チームや個人で勝負を競い合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの種目の特性に応じた練習 ・個人の技能を伸ばす練習とチームワークを高める練習 ・実態にあったルールでのゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートテニス ・ゴロ卓球 ・卓球 ・バドミントン ・ポートボール ・バスケットボール ・ミニサッカー ・フットベースボール
陸 上	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の記録に挑戦し、達成した喜びを味わう ・技能を習得し、友だちと競い合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の技能にあった記録や相手への挑戦 ・必要な技能や体力を高める練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・100M 走 ・リレー ・持久走 (20分間走) ・障害走
水 泳	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に注意し、水に慣れる ・水中での活動を楽しんだり、泳法や距離、時間に挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> ・水に慣れる運動 ・手足の動きや呼吸の仕方の練習 ・ゆっくり泳ぐ練習 ・距離、時間への挑戦 ・新しい泳法への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊び ・浮かぶ、もぐる ・水中ウォーキング ・け伸び→ばた足→クロール→平泳ぎ→背泳ぎ
器 械 運 動	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に注意し、技に挑戦する ・自分の技能にあった技を選び、挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の技能にあった技と器具の選択と練習 ・技の連続や組み合わせでの練習 ・新しい技への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 ・とび箱 ・平均台
保 健	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全に関する事柄を理解し、実際の生活に生かす ・心身の発達や発育に関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な生活 ・体の発達 ・命の誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、手洗い ・おしゃれ ・男女の違い ・体の発達 ・命の誕生

④年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
〈体づくり運動〉	・運動会の練習										
〈陸上・水泳・器械運動〉	・ウォーキング・SAQトレーニング・踏み台昇降・筋力トレーニング等—————→										
〈球技〉	・短距離走・障害走 ・水泳 ・マット運動・とび箱・平均台										
〈保健〉	・フットベースボール ・ボール運動・ミニサッカー ・ポートボール、バスケットボール										
	・身だしなみ、手洗い ・おしゃれ ・男女の違い ・体の発達 ・命の誕生										

情報

テレビ、新聞、コンピュータなどからの情報は、現代社会において生活を営んでいく上で非常に重要なものである。しかし、ただその情報を享受するだけでなくその取捨選択のすべ、いわゆるメディアリテラシーを身につけることが必要になってくる。

また高度情報化社会においてコンピュータなどのツールを用いた自己表現の方法を身につけることは卒業後のQOL向上のためにもきわめて重要なことと考える。

① 目標

- ・コンピュータを用いてできることを知り、自分から使っていこうとする態度を高める。
- ・必要な情報を自分で選び、手に入れる方法を学ぶ
- ・卒業後の余暇生活に生かせるよう基本的な技能と知識を身につける

② 学習形態

- ・各年度ごと生徒自身が履修するか選択する
- ・生徒数は5～8名程度、指導者は2名で構成する
- ・生徒各自が1台ずつのインターネットに接続されたコンピュータを使える環境で指導を行う

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
基礎技能	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの操作に慣れ入力出来るようになる ・コンピュータの楽しさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・起動と終了 ・マウス入力の習得 ・キーボード入力の習得 ・ソフトウェアを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボード練習ソフト ・娯楽・教育ソフトウェア
ネットワークの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットへの接続方法を知る ・情報の見つけ方を知る ・ネット上でコミュニケーションをとる ・ネット上のエチケットについて知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザソフトの操作 ・検索ページの利用 ・電子メール 掲示板の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使おう ・ヤフーキッズ キッズ goo ・チャレンジキッズへの参加 ・メールを出そう ・ウイルスについて知ろう
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを操作して絵や音楽を作り自己表現する ・学んだことを統合して表現する ・学んだことを評価しあう 	<ul style="list-style-type: none"> ・CGを作る ・DTMを作る ・Web ページを作る ・CD-ROMを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状 カレンダー ・作曲をしよう ・私のお気に入りページ ・インストラクターになろう ・ポートフォリオ ・コンクールへの参加

④ 年間指導計画例

1 学 期	2 学 期	3 学 期
ソフトを楽しむ		→
マウス・キーボードの操作	→	MIDI ファイルを作る →
デジカメの利用	→ スキャナーの利用 →	ビデオの編集 →
コンピュータグラフィックの作成		→
インターネットの利用		
ページの閲覧検索		→
Web ページを作る		→
	メールを出す →	チャレンジキッズへの参加 →
		ポートフォリオ →

(2) 領域別の指導

委員会

平成13年度より従来の活動に加え、高等部のみで行う「委員会」の時間を設けることになった。この時間の基本的なねらいや主な活動は中学部・高等部合同の「生徒会・委員会」の時間と同じであるが、これまで以上に生徒自身が学校生活の主体者となり、自分たちの学校生活を担ってほしいという願いから時間割の中に週1時間位置づけられることになった。こうして時間的に保障されることによって実際の活動も、委員会毎での行事の企画や運営、委員会からの発表など、より自治的な意味合いの深い活動が増えてきている。

① 目 標

- ・上級学部としての自覚をもち、自分たちの仕事に責任をもつ
- ・友だちと協力して行事の運営に携わり、自主的・主体的に行動する力を高める
- ・友だちと協力して学校環境整備の一端を担う

② 学習形態

生徒会役員以外は整美・体育・飼育・保健・広報の5つの委員会のいずれかに所属する。生徒会役員会は役員選挙当選者1～4名で構成され、各委員会は4～5名の生徒が所属する。それぞれ1～2名の教師が担当する。

③ 各委員会のねらいおよび内容

委員会	ね ら い	内 容	題 材 例
生徒会 (役員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の代表として公の場で活動を行う ・生徒会主催の行事等の企画、運営を行う ・学校や児童生徒の益になる活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校代表としての挨拶 ・運動会のテーマ決め ・各行事のポスター作成と掲示依頼 ・意見発表会 ・カルタ大会 ・生徒会新聞 ・各種マークの収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・体育交歓会 ・運動会 ・表現会 ・テーマの募集、集約 ・ポスター作成、掲示依頼 ・運動会 ・表現会 ・バザー ・意見発表会の企画、運営 ・カルタ大会の企画、運営 ・立案、記事集め、作成 ・グリーンマーク、エコマークの収集

整 美	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外の快適な環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓 ・植物の世話 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の整理 ・道具の整理 ・鉢植え、花壇の水やり等
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館、運動場の快適な環境づくりを行う ・体育的行事では係としての進行に協力する 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育用具や場所の整理整頓 ・スポーツ大会の企画、運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の用具係 ・スポーツ交歓会 ・高等部スポーツ大会 ・グラウンド整備 ・体育館用具庫の整理整頓
飼 育	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育に関する基本的な知識や技術を知り、毎日、小動物の世話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育小動物の選択 ・飼育用具の設置 ・飼育方法の理解と実際 ・当番活動の計画と運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で手頃な小動物の中から生き物を選定 ・飼育に必要な用具・物品の確保 ・餌やり（毎日） ・水換え 洗濯室にて委員全員で協力して行う ・餌やり当番の決定と運営 給餌器の扱い方と当番表記録
保 健	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員として保健の仕事の一端を担って、係や当番の仕事をする事ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健目標 ・出席しらべ ・手洗い場の管理 ・掃除用具の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・各月の保健目標の作成 ・全校集会での保健目標の発表 ・出席しらべの配布、収集 ・手洗い場の清掃 ・石鹸の補充 ・箒、ちりとり等のシール貼り ・掃除用具の補充
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での様々な活動を視覚的に広報する ・定期的な放送を行い学校生活を豊かにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真掲示 ・校内放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事毎に写真を選択し掲示 ・お昼の放送 ・そうじの放送

④ 年間指導計画例

〔生徒会（役員会）〕

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会新聞作成 → ・グリーンマーク収集 → 										
<ul style="list-style-type: none"> ・「運動会テーマ」募集・ポスター作成 				<ul style="list-style-type: none"> ・表現会ポスター作成 ・バザーポスター作成 ・意見発表会運営 				<ul style="list-style-type: none"> ・カルタ大会運営 		

〔整美委員会〕

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・鉢植え、花壇の水やり → ・図書、遊具の整理整頓 										

〔体育委員会〕

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の用具係 ・スポーツ交歓会の企画・運営 ・高等部スポーツ大会の企画・運営 ・運動場、体育館の整理・整頓 → 										

〔飼育委員会〕

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・餌やり（毎日） → ・水換え（週1回程度） 										

〔保健委員会〕

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・保健目標、作成、発表 ・出席しらべ → ・手洗い場の清掃・管理 ・掃除用具の点検 ・掃除用具の点検 ・掃除用具の点検 										

〔広報委員会〕

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・お昼の放送（毎日） → ・行事写真の掲示（随時） 										

(3) 領域・教科を合わせた指導

日常生活の指導

高等部にとっての日常生活の指導とは、自立的な生活をするための能力や態度を身につけるために行うものである。学校生活の流れにそって、実際的な状況下でその場に適した指導を行う。これは、小学部、中学部の継続した指導の上に成り立っており、生徒の発達段階に応じて行うものであると同時に、生活年齢を意識して指導する必要がある。生徒一人一人が生活年齢に応じた生活ができるように、さらには卒業後の生活をできるだけ自立したものになってほしいと願っている。

① 目 標

- ・ 1日の生活に見通しを持って、日常生活の様々な活動を自分自身の力で処理することができる
- ・ 日常生活をより自立的、発展的に対処するための生活態度や意欲を育てる

② 指導項目及び内容

指 導 項 目	ね ら い	内 容
登 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全に気をつけて登校する ・ 卒業後の職場を想定してタイムカードを押す習慣をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩、交通機関を使って登校する ・ 登校後、タイムカードを押す
着 替 え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意識して衣服を整える ・ 自分で清潔を意識する ・ 寒暖や天候、活動や場所に応じて衣服や履き物を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 更衣室で着替えをする
学 級 朝 の 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当番活動を責任をもって行う ・ 部の目標を確認して守るよう意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当番が司会をする ・ 日付、天気、気温などを知る ・ 今日の予定を知る ・ 出席調べをする ・ 部の目標を確認する
係 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの係の仕事を責任をもって行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、書記、配布係、電気係などの仕事を行う
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清潔、身なりに気をつける ・ 月経の処置ができる ・ トイレを清潔に使用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤングメモリー（月経の記録）を記入する ・ トイレの使用後、汚れた時は清掃をする

給食	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳時に適量の食器を選び、残さずに食べる ・マナーを意識して楽しく食事をする ・食器を片づける 	<ul style="list-style-type: none"> ・大中小のご飯、おかず等を自分で配膳する ・所定の場所に食器を片づける
整理整頓 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のものだけでなく、他の人が使ったものや学級の備品の整理整頓をする ・不要物を選別し所定の場所に廃棄する ・決められた場所の清掃をする ・反省会を行い、清掃の仕方や態度などを振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、整理整頓を行う ・ゴミを分別して出す ・教室、体育館、食堂などの担当の場所を清掃する
終わりの会	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳に本日の学習記録を正確に書く ・翌日の予定を聞いて準備するものの有無を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を書く ・当番が司会をする
下校	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の職場を想定してタイムカードを押す習慣をつける ・目的地まで安全に気をつけて歩く ・交通機関、スクールバスではマナーを守って利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時にタイムカードを押して帰る ・徒歩、路線バスなどで帰宅する

※ 学校生活全般を通して指導を行う。

生 活

高等部における生活は卒業後の生活を見据え、学校生活・社会生活・家庭生活に必要な知識・技能・態度などを身につけられるよう、実体験を中心にした学習を行っている。その際、個別ではなく集団で行うことにより、お互いに協力し合い、学び合い、影響し合いながら主体的に学ぶ態度を大切にしている。

① 目 標

- ・生活に必要な知識・技能・態度などを、実体験を通して身につける
- ・季節や状況を意識し、それに合わせた活動をする
- ・上級学部としての認識をもち、学校行事に役割を意識して参加する

② 学習形態

学習する内容に応じて、学部全体・クラスごとなどで行う。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
公共施設の利用および移動	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用の仕方を知る ・乗り物や徒歩など、どのような移動手段があるかを知る ・必要な手段を使い、目的地までどうやっていけばよいかを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな施設へ行き、利用する ・どの施設がどんなことをする場所なのかを知り、目的に応じた場所へ行く ・バスや電車、タクシー、自転車など、移動時に使う手段を考える ・外出する機会に、いろいろな交通手段を利用してみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館へ行く ・郵便局へ行く ・喫茶店へ行く ・デパートへ行く ・カラオケ店へ行く ・パソコン等を利用した疑似体験学習
社会生活のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や公共施設利用の際のマナーを身につける ・人前での身だしなみに気をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・大声で話すなど、他の人の迷惑になることは何かを考える ・状況に応じた服装や行動を知り、実践する 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルマナー ・おしゃれ
金 銭	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をするとき、外で食事をするとき、一部施設や公共交通機関を利用するときには代金を支払うことを知る ・所持する金銭の有効な使い道を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬貨や紙幣を使って支払いをする ・切符や回数券など、現金以外の支払いも体験する ・無駄遣いをしないよう注意した金銭の使い方考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物時の支払い ・バス、電車での支払い ・施設利用時の支払い ・食堂等での支払い ・パソコン等を利用した疑似体験学習 ・こづかい

<p>家庭生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な料理の作り方を知り、余暇時間などに楽しみながら作ることができる ・必要な材料を考え、買い揃えることができる ・季節にあった料理があることを知る ・洗濯や日曜大工など簡単な家事の仕方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子づくりや簡単な調理を体験する ・材料をリストアップし、買いに行く ・洗濯の仕方を知る ・大工道具の使い方を知り、簡単な修繕を経験する 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうめん作り ・鍋作り ・かき氷作り ・たこ焼き作り ・ホットケーキ作り ・冷たいデザート作り ・靴下やTシャツの洗濯 ・金槌を使った釘打ち ・ドライバーを使ったネジ締め
<p>行事の運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行われる行事の運営を通し、上級学部としての責任を自覚する ・自分の役割を認識し、責任をもって行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校行事の準備、後片づけをする ・学部行事の企画立案、運営、準備、後片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・表現会 ・バザー ・新入生歓迎会 ・新年会 ・卒業生を送る会
<p>生活の記録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や日常生活の思い出をまとめ、振り返る ・写真や作文、作品などをまとめることで1年間を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の写真を整理したり、作文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバム整理 ・作文 ・文集
<p>社会的慣習や交際</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出て人とつきあう上で必要になる様々な慣習を知る ・他者との友好的な関係を保つつきあい方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状を送るなどの季節の行事を知る ・礼節を重んじることが人間関係を保持する上で大切であることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状 ・暑中見舞い ・お礼状 ・お見舞い
<p>学級活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の役割を認識し、責任をもって行う ・同じクラスの一員であるという意識と連帯感を高め、協力して活動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・係分担を決め、責任をもって仕事する ・各自の得意なことなどを考慮し、役割を分担して活動する ・トラブルが起こった際に、協力して解決する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級係活動 ・行事での学級ごとで行う準備等 ・卒業制作 ・話し合い

④年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・学級係決め ・表現会準備 ・運動会準備 ・バザー準備 ・冷たいデザート作り ・年賀状作り ・ホットケーキ作り ・新年会の企画運営 										
	<p><随時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出（公共施設の利用、移動、金銭）、生活の記録（アルバム整理、作文）、話し合い活動 										
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・学級係決め ・表現会準備 ・運動会準備 ・バザー準備 ・かき氷作り ・日曜大工 ・鍋物作り ・洗濯 卒業生を送る会の企画運営 										
	<p><随時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出（公共施設の利用、移動、金銭）、生活の記録（アルバム整理、作文）、話し合い活動 										
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・学級係決め ・表現会準備 ・運動会準備 ・バザー準備 ・そうめん作り ・新入生歓迎会の企画運営 テーブルマナー ・卒業文集づくり ・卒業制作 → 										
	<p><随時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出（公共施設の利用、移動、金銭）、生活の記録（アルバム整理、作文）、話し合い活動 										

作業学習

卒業後の生徒の生活を考えると、「働く」ことはその中で最も大きな割合を占める要素となる。働くことを通して社会にかかわり、人やものにかかわることとなる。そのためにも生徒には「働く」ことを肯定的に受け止めてほしいと願っている。作業では自分の存在や活動が認められる経験、自分たちが作ったものを身近な人たちが使ってくれたり購入してくれたりする喜びを通して、自らの有用性を感じ取ることを一番のねらいとしている。

作業種については、生徒のそして可能ならば教師も含めて個々のタイプを生かせるものを考えたい。また、本校の特色を生かしたものや時代に即したものも取り入れていきたい。

活動に関しては、教師は「指導をする人」ではなく「共に作業をする人」という気持ちで臨みたい。生徒には、同じ場を共有し、同じもしくは一連の作業の中で教師や友だちを見ながら活動の見通しをもったり、意欲につなげていったりしてほしい。教師は、生徒が自分自身に価値を感じられるような活動の展開を考え、自信につながる言葉かけや、感謝の気持ちなどを積極的に表していきたい。

① 目 標

- ・作業を通して自らの有用性を感じ、「働く」ことへの自覚と意欲を高める
- ・仲間と共に働くことを通してつながり合い、協力して作業できる態度を培う
- ・自分たちの製品の利用者を意識して、よりよい製品を作りたいという気持ちを育む

② 学習形態

その年度ごとの生徒自身の自己選択によるグループ編成（第一希望、第二希望あり）。4～5の作業班で、各作業班の生徒数は5～7名、教師は2名で構成されている。選択制ではあるが、3年間で2つ以上の作業班で経験できるように配慮している。

③ 作業種及び内容

作業種	ね ら い	内 容	製 品 例
印 刷	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・作業に必要な機器や用具の扱いに慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 ・印刷（各種用紙、各種表紙、シール） ・製本（枚数数え、ステープラ、背表紙貼り、裁断） ・スタンプ押し ・シール貼り ・バザー準備 ・穴開けミシン操作 ・紙折り ・コンピュータ操作 ・シュレッダー操作 ・後片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・封筒 ・連絡帳 ・日記帳 ・メモ帳 ・ミニスケッチ帳 ・タイムカード ・クッキー用袋 ・食券 ・値札 ・菓子箱

<p>栽 培</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・作業に必要な道具や用具の扱いに慣れる ・収穫の喜びを味わう ・土に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 ・野菜、花づくり <ul style="list-style-type: none"> 荒おこし 畝づくり 種蒔き、苗づくり 植付け、定植 水やり 間引き 肥料やり 草取り 収穫、選別 ・販売準備 <ul style="list-style-type: none"> 袋づくり、袋詰め 種取り ・販売 ・農閑期作業 <ul style="list-style-type: none"> 小物づくり ・後片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜づくり <ul style="list-style-type: none"> ジャガイモ 山芋 ブロッコリー 里芋 枝豆 人参 大根 インゲン など ・花作り <ul style="list-style-type: none"> アサガオ サルビア パンジー マリーゴールド など
<p>手 工 芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手工芸にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・作業に必要な道具や用具の扱いに慣れる ・デザイン図に沿って正確に、指先を使って細かい仕事をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 ・デザイン選択、決定 ・ビーズの選択 ・ビーズ、テグスの用意 ・作成 <ul style="list-style-type: none"> パーツの取り付け 仕上げ ・販売準備 <ul style="list-style-type: none"> レイアウト 袋詰め ・販売 ・集計 ・後片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセサリー <ul style="list-style-type: none"> チョーカー ネックレス ラリエット ブレスレット 指輪 ・携帯ストラップ ・グラスコード
<p>製 菓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・作業に必要な道具や用具の扱いに慣れる ・清潔に気をつけて作業の準備をし、材料を扱うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 <ul style="list-style-type: none"> 身支度 手洗い ・生地づくり <ul style="list-style-type: none"> 道具、材料の準備 計量 ナッツを切る 型入れ、冷凍 ・後片づけ <ul style="list-style-type: none"> 道具の洗浄、 材料の片付け 作業台の清掃 床の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキーづくり <ul style="list-style-type: none"> アーモンド クルミ ココナツ コーヒー 紅茶 ゴマ シナモン ジンジャー チョコチップ マープル ミックス

		<ul style="list-style-type: none"> ・袋詰め <ul style="list-style-type: none"> 日付印押し クッキー詰め 計量 シーラー ・販売 <ul style="list-style-type: none"> 校内配達 小売り 	
彫 刻	<ul style="list-style-type: none"> ・プレート彫刻にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・作業に必要な機器や用具の扱いに慣れる ・危険物（薬品）の取り扱いや、換気に注意して作業をする ・製品の良、不良について知り、良いものを制作するよう促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 <ul style="list-style-type: none"> 字母選び 材料選び 機材のセット ・彫る <ul style="list-style-type: none"> 色付け、色とり 穴あけ アクセサリー鎖付け ・製品納入袋づくり <ul style="list-style-type: none"> 紋紙の糸取り 紋紙切り 袋づくり ・納品 <ul style="list-style-type: none"> 請求書作成、送付 ・後片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネームプレート <ul style="list-style-type: none"> 新入生 新任者 他校注文 ・キーホルダー ・表札
組み立て ・ 分解	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立て・分解にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・目と手の協応動作による部品の操作技術を身につける ・部品の属性を認識し、組立分解の手順を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 ・組み立て、分解 <ul style="list-style-type: none"> 部品の裏表、長短、大小の区別 手順の理解 部品の分別 ・箱折り <ul style="list-style-type: none"> 手順の理解 ・後片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一輪車 ・パイプ ・ジョイント ・各種箱折り
縫 製	<ul style="list-style-type: none"> ・縫製にかかわる作業の基礎的態度和技術を身につける ・作業に必要な機器や用具の扱いに慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 ・衣服の手入れ、繕い方 ・手縫い <ul style="list-style-type: none"> 糸通し、玉結び 運針練習 まち針打ち ボタン、スナップ、かぎホックづけ 裾かがり（まつり縫い） ・ミシン <ul style="list-style-type: none"> 糸かけ練習 縫いはじめ 縫い終わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふきん ・エプロン ・袋 ・てさげカバン ・ビニール袋入れ

		<ul style="list-style-type: none"> 直線縫い 角縫い ・製品づくり ・販売 ・後片づけ 	
木 工	<ul style="list-style-type: none"> ・木にかかわる作業の基礎的技術と態度を身につける ・作業に必要な機器や道具の扱いに慣れる ・安全に気をつけて作業する 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備 ・基礎練習 <li style="padding-left: 20px;">ねじ回し <li style="padding-left: 20px;">釘打ち <li style="padding-left: 20px;">のこぎり ・製品づくり ・研磨 ・塗料 ・販売 ・後片づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍋敷き ・鉛筆立て ・雑巾掛け ・すのこ ・本棚 ・ゴミ入れ
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・捨てられてきたものが分別によって資源となることを知る ・汚い仕事でも嫌がらずに積極的に作業する 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き缶つぶし <li style="padding-left: 20px;">缶の回収 <li style="padding-left: 20px;">缶の分別 <li style="padding-left: 20px;">(アルミ缶・スチール缶) <li style="padding-left: 20px;">缶つぶし <li style="padding-left: 20px;">計量、袋入れ <li style="padding-left: 20px;">業者渡し ・古紙回収 <li style="padding-left: 20px;">紙の回収 <li style="padding-left: 20px;">紙の分別 <li style="padding-left: 20px;">縛る <li style="padding-left: 20px;">業者渡し 	

学部集会

特別活動の内容を含む、高等部の集団学習の一つである。主な活動内容には生活指導の一環として週目標を決めることと、次週以降の週予定の確認がある。学校生活を快適に過ごすため、生徒たちが自分たちの課題を意識し、どうすればいいかを考え、提案し、皆で相談する。また、今後の予定を知ることは見通しをもった行動を促すとともに、生徒たちの情緒の安定にもつながる。その他、行事のオリエンテーションや教育実習生との学部紹介とお別れ会なども随時行う。

週目標の相談では一部生徒に発言が偏ったり、生徒からの提案にマンネリ化が見られる事もあるが、生徒たちの気持ちや考えが素直に表れる場面もあって楽しい時間である。新入生が回を重ねるうちに発言する事ができるようになってきたり、活動内容を理解し見通しをもって参加できるようになった生徒の姿が見られるようもなってきた。

上級生から下級生へ伝え、また生徒同士がより身近に知り合う機会として、生徒一人一人が学校生活や集団生活を理解していく場にもなっている。友だち同士で学校生活を考え、支えていく場として今後も継続し充実させていきたいと考えている。

① 目 標

- ・活動を通して学校生活や友だちのを知る
- ・活動に慣れ、学校生活に積極的に参加する
- ・活動内容を理解し、見通しをもって参加する
- ・学校生活や集団生活のルールを知り、守ろうとする意識を育てる

② 学習形態

普段の活動は学部の全生徒と、教師4名で行う。行事の事前オリエンテーションなどでは担当の教師も参加する。次週の目標を相談する場でもあるということで、時間割では週末の金曜日に1時限を設けている。その他、必要な時には随時時間を設定して行う。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全で規則正しい生活に心掛ける ・社会生活に向けての自覚を促す ・自立に向けた自我の確立を目指す ・見通しをもって学校生活を送る 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の諸注意の話聞く ・横断歩道の渡り方 ・皆で相談して週目標を決める ・週予定の話聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの約束 ・冬休みの約束 ・交通安全教室 ・「友だちと仲良くしよう」「力を合わせ運動会を成功させよう」「自分のことは自分でする」など
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって積極的に行事に臨む ・約束を守り行事中の安全に留意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事日程や約束の話聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の遠足 ・一泊旅行／修学旅行 ・秋の遠足
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・皆の前で簡単な自己紹介ができる ・出会いや別れの場を体験する 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習生と自己紹介をする ・お別れ会をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部紹介 ・お別れ会

④ 年間指導計画例

1 学 期	2 学 期	3 学 期
<ul style="list-style-type: none"> ・週目標と週予定 ・交通安全教室 ・オリエンテーション (春の遠足、修学旅行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習生との学部紹介とお別れ会 ・オリエンテーション (秋の遠足) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (スキー教室)

レクリエーション学習

この学習は高等部独自の集団学習の一つであり、大きな集団で楽しみを共有する経験を通じて生徒一人一人が仲間を意識し、ともに活動する楽しさや協力しあうことのすばらしさを感じ取ることをねらいとしている。また、生徒によってはリーダーとしてあるいは上級生としての力を発揮する場を与えられることとなり、集団としての高まりも期待できる。

題材を選ぶにあたっては、卒業後、地域行事への参加や近年増えている福祉就労先での活動にもつながることを願って、親しみやすく誰でも知っている活動を中心に取り上げるようにしている。

① 目 標

- ・学部の生徒全員で楽しむ
- ・個々の生徒がその能力に応じてかかわりあうことができる
- ・将来の行事参加につなげる

② 学習形態

全生徒が一斉に行っており、教師は4名で指導にあたっている

③ 指導項目および内容

指導項目	ね ら い	内 容	題 材 例
ゲ ー ム	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員で1つのゲームを楽しむ ・チームに分かれて勝敗を競う ・自分たちで楽しみの場を運営する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で行うゲーム ・チーム対抗ゲーム ・道具等の準備 ・司会進行 	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子とりゲーム ・大縄跳び ・仲間作りゲーム ・ビンゴ ・ボール送りゲーム ・ウォークベースボール ・円形ドッチボール
ダ ン ス	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会に向けてフォークダンスの振り付けを覚え楽しむことができる ・夏祭りに向けて盆踊りの楽しさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス ・盆踊り 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクラホマミクサー ・テン・プリティガールズ ・炭坑節 ・金沢ホーヤネ節

④ 年間指導計画例

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
椅子とりゲーム		炭坑節 (ダンス)		大縄跳び		ドッチボール		ウォークベースボール		
仲間作りゲーム										

趣味学習

「趣味学習」を一言で言えば学校で行う“カルチャースクール”である。

高等部での学習活動の中には現場実習や作業学習など、社会生活に向けて必然的に体験させ、意識させていく為に重点を置かざるを得ない活動がある。反面、スムーズな社会生活の維持には仕事面だけに力点を置いた活動だけで良いのかという思いがつかまとう。

そこで生徒たちが卒業後も仕事以外に自分自身の時間や気持ちを大切に、自発的にまた積極的に生活するためのきっかけになればということで「趣味学習」が提案され、平成12年度より取り組むことになった。

活動の内容としては“卒業後の余暇にも継続して楽しめるもの、またはそれらを補完する内容を伴ったもの”という観点で、やはり生徒の興味や関心から出発し、生徒自身の気持ちを喚起するもので、教師も一緒に楽しめるものが良いのではないかと考えた。

実際の手順としては生徒たちの実態と興味・関心、教師自身の技能面などを検討し、教師側で考えた3～4種の活動内容を生徒に提案して、その中から生徒が自主的に選択することとした。自己選択の意思表示が難しい一部生徒については、教師側が個別に生徒自身の個性や適性を考察したり、アドバイスなどの働きかけを行い、活動内容とグループを決定する。その後、グループを構成する生徒の人数や実態を考慮して教師の配置を決めることとした。

一応、期間は学期単位または半年単位として、各単位の始めに新たな活動内容が教師側から提案され、グループの編成や編成替えが行われる。年間を通じて行われる活動内容もあり、生徒も同じ内容を選択して継続することも可能である。今のところ評価や発表の場は想定せず自由な形で行っていきたいと考えている。

① 目 標

- ・ 友だちと一緒に楽しみながら活動に参加する
- ・ いろいろなことに興味をもち、積極的に参加する
- ・ いろいろな体験をすることで新しい自己の可能性を探る
- ・ 心楽しく、生活に張り合いをもち、できることを増やして自信につなげる
- ・ 卒業後の余暇の活用につなげる

② 学習形態

教師の提案した3～4の活動内容の中から生徒が一つ選び、全生徒がそれぞれのグループに分かれて活動する。各グループに対し教師が2名ずつ指導にあたる。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
手 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・でき上がっていく過程を楽しむ ・継続して取り組む ・技術的向上を目指す ・次の作品への意欲を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・刺子をする ・スキルスクリーンをする ・コンピュータミシンでの刺繍をする ・小物づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふきん ・のれん ・写真立て ・スカート ・バッグ ・キーホルダー ・アクセサリ
生 け 花	<ul style="list-style-type: none"> ・花に親しむ ・花の名前を知り、花に関する興味を拓げる ・花を飾り、自分の作品を多くの人に見てもらおう経験をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・花材を選ぶ ・花器を選ぶ ・水切りをする ・自由に花を生ける ・型に注意して花を生ける ・後片づけをする ・花を飾る 	<ul style="list-style-type: none"> ・投げ入れ（花瓶） ・剣山を使った生け花 ・オアシスを使った生け花 ・フラワーアレンジメント
調 理	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な調理が楽しくできる ・簡単な器具や道具に慣れ、安全に扱うことができる ・身近な材料を扱うことができる ・繰り返しの中で簡単な軽食などの用意ができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・身支度を整え手を洗う ・半加工品を使って作る <ul style="list-style-type: none"> 混ぜて作る 溶かして作る 凍らせて作る ・専用の器具で作る <ul style="list-style-type: none"> かき氷器 綿菓子器 たこ焼き器 ミキサー ・電子レンジで作る ・ホットプレートで作る ・オーブントースターで作る ・包丁やまな板を使って作る ・調理の記録を書きためてレシピ集を作る ・後片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・「フルーチェ」 ・クリームソーダー ・「シャーベ」 ・かき氷 ・綿菓子 ・たこ焼き ・バナナジュース ・カップケーキ ・フランクフルト ・どらやき ・スプレッドトースト ・ピザトースト ・フルーツポンチ

スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことの楽しさや喜びを味わう ・競争に親しみ、必要な技能を高める ・友だちとスポーツを楽しんで行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビクスで心身の緊張をほぐす ・球技を楽しむ <ul style="list-style-type: none"> 1) 練習をする 2) 実態にあったルールでゲームをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビクス ・バドミントン ・卓球 ・ゴロ卓球 ・ショートテニス
絵	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな絵を描く ・楽しみながら過ごす ・一つの作品にじっくりと取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描く ・ぬり絵をする ・絵を写す ・いろいろなスタンプを押す ・和紙のちぎり絵をする ・折紙の切り絵をする ・色紐の模様絵を描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由画 ・ぬり絵 ・うつし絵 ・スタンプ ・ちぎり絵 ・切り絵 ・貼り絵

④ 年間指導計画例

手芸

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
内容	・刺子 → ・小物づくり →										

生け花

1 学 期	2 学 期	3 学 期
・オアシスに生ける →		
・投げ入れ →		
・剣山で生ける →		
・クリスマスアレンジメント		
・春の花	・夏の花	・秋の花
		・正月の花
		・卒業式の花

調理

1 学 期	2 学 期	3 学 期
<ul style="list-style-type: none"> ・半加工品を使った調理 「フルーチェ」 クリームソーダー 「シャーベ」 ・専用の器具を使った調理 バナナジュース かき氷 ・ホットプレートを使った調理 フランクフルト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットプレートを使った調理 焼きトウモロコシ どらやき ・電子レンジを使った調理 カップケーキ (モコモコ) ・オーブントースターを使った調理 スプレッドトースト 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーブントースターを使った調理 スプレッドトースト ピザトースト ・自分の作りたいものを作って みる

スポーツ

1 学 期	2 学 期	3 学 期
<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じてエアロビクス、バドミントン、ゴロ卓球、ショートテニスなどを行う 		

絵

1 学 期	2 学 期	3 学 期
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな題材を選び、納得いくまで取り組む。一つの題材が終わったら別の題材を選んで取り組むこともできる。 		

体力づくり

高等部の毎日の学校生活は、体力づくりの時間から始まる。一日の体の調子を整え、基礎体力を高める運動として、ラジオ体操とランニングを中心に行っている。

ランニング中は生徒の好きな曲をかけ、楽しく走れるように工夫している。

この時間では基礎体力の向上だけをねらいとするのではなく、毎朝、継続することで適度な運動に親しむ習慣をつけ、自主的に運動する態度も育てていきたい。

生徒には自らの健康に関心をもち、生涯にわたって明るく活力のある生活を営むための心と体を鍛えてほしい。

① 目 標

- ・適度な運動により、基礎体力の向上を図る
- ・生活の流れの中で、運動する習慣をつける

② 学習形態

全生徒が一斉に行っている。教師は3～4名で指導にあたっている。

③ 指導項目及び内容

指 導 項 目	ね ら い	内 容	題材例、実践例
ウォーミングアップ	・心身の緊張をほぐし、けがの防止につなげる	・徐々に心身の働きを高める準備体操	・ラジオ体操 ・ストレッチング
トレーニング	・基礎体力の向上を図る ・気分転換を図り、健康の増進に活用する	・全身運動 ・持久力を高める運動	・ランニング (15分間程度)
クールダウン	・心身の緊張を和らげ、疲労の回復を促進する	・呼吸を整え、心身の緊張を和らげる整理体操	・ストレッチング

④年間指導計画例

1 学 期	2 学 期	3 学 期
ウォーミングアップ・トレーニング・クールダウン →		

進路学習

高等部では、卒業後社会へでの準備として進路について考えていくことが必要となってくる。その機会として、2年生と3年生の時に、校外へ出て職業体験をする「現場実習」を実施している。また1年生の時には卒業生の仕事ぶりや上級生の現場実習の様子を見学して、進路に対するイメージをふくらませる機会として「職場見学」が行われる。その他に適宜「進路学習」の時間を設けて、卒業後の進路に関することを学習している。

① 目 標

- ・卒業後の仕事と生活について知り、社会人になることへの意識を高める
- ・働く上で大切なことは何かを知り、現場実習などで実践する

② 学習形態

学習する内容に応じて、学部全体・クラスごと・個別で行う。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
仕事の種類	・どのような仕事があるかを 知り、働く意欲を育てる	・一般就労先の業種や福祉就 労先としての作業所など、 様々な仕事があることを知 る	・卒業生の働く姿や過去 の現場実習などのビデオ 視聴 ・卒業生の体験談 ・職場見学
仕事のマナー	・仕事をするうえで必要なこ とを知り、日頃から意識し て生活する	・あいさつや返事など基本的 な受け答え、身だしなみを 整え清潔に気を配るなど、 働く上で大切なことを知る	・職場のマナーのビデオ 視聴 ・日頃のあいさつなどの 徹底
給料の扱い	・仕事で得た給料を無駄遣い したりしないよう、有効な 使い方を知る	・1ヶ月にどれくらいもらえ るかを知る ・何にどのように使えばいい かを考える	・模擬家計簿づくり ・卒業生の生活の実際
職業体験	・実際に仕事を体験し、卒業後 の進路をより明確に捉える	・一般事業所や福祉施設へ出 かけ仕事を体験する	・現場実習
現場実習 の準備	・現場実習に行くうえで気を つけなくてはいけないこと を知る ・現場実習に臨む気持ちを高 める	・体調に気をつけること、仕 事のマナーをきちんと実践 することなどを確認する ・実習先を確認し、抱負など を考える	・過去の体験や学習のま とめ ・現場実習壮行会

適性考察	・自分がどのような仕事に向いているかを知り、進路希望に生かす	・公的機関での各種検査の結果や保護者との話し合い、現場実習の反省などから進路の方向性を考える	・公共職業安定所での職業相談 ・障害者職業センターでの職業適性検査 ・福祉相談 ・現場実習のまとめ
------	--------------------------------	--	--

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場見学 ・ 職場見学のまとめ ・ 卒業生の体験談 										
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場実習壮行会 ・ 現場実習 ・ 現場実習のまとめ ・ ビデオ視聴（過去の実習など） ・ 卒業生の体験談 ・ 現場実習壮行会 ・ 現場実習 ・ 現場実習のまとめ ・ 職業適性検査 										
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業相談 ・ ビデオ視聴（マナー） ・ 模擬家計簿づくり ・ 卒業生の体験談 ・ 現場実習壮行会 ・ 現場実習 ・ 現場実習のまとめ 										

(4) 総合的な学習の時間

ほんもの学習

「ほんもの学習」は、生徒の現在及び卒業後の余暇生活を想定した実体験重視型の学習である。生徒自身が行きたい校外学習のコースを選び、自分たちで活動計画を立てて行動する学習であることから、教育課程上「総合的な学習の時間」に位置づけている。校内で設定した模擬的な環境ではできない活動、学校生活ではあまり経験することができない活動を、実際の場所や施設に行って行うというもので生徒の生活につながる・生活を広げる学習である。

実施にあたっては、教師が4～5の生徒自身の余暇生活につながりそうな校外学習のコースを提示する。生徒はその中から自分の好きなコースを選んで、そのグループ毎に活動計画を立てて行動する。生徒が主体になる楽しい活動を通して、成功経験をし成就感を味わうことで、再び同じ様な場面に立った時できるだけ自分で行動できるようになってほしい、この活動のいずれかが生徒自身の楽しみや余暇の過ごし方につながってほしいと願っている。

① 目 標

- ・提示されたコースの中から、自分のしたいこと、行きたい場所が選べる
- ・いろいろな余暇利用の方法や手段があることを知る
- ・各種施設の基本的な利用の仕方を知る
- ・各種施設の人との簡単なやりとりや、お金の受け渡しに慣れる

② 学習形態

4～5名の教師が各自1つずつ校外学習のコースを提示し、全生徒がその中から行きたいコース、やってみたいコースを選択する。コース毎の生徒の人数は未定。コース別に集まった生徒の人数やその構成、場所によって教師の数を調整するが、複数を基本とする。

各学期に1回実施する。1回の実施は14時間程度を計画している。

時間配分例	コース提示・選択・決定	2時間
	計画立案（調査、準備、家庭連絡用プリント作り）	2時間
	実施	6時間
	報告会準備	2時間
	各コース発表	2時間

③活動及び内容

活 動	ね ら い	内 容	利用施設・活動例
外 食	<ul style="list-style-type: none"> ・店や食べたい物を自分で選べる ・その場にふさわしい態度で食事ができる ・セルフサービスやドリンクバーなどの利用の仕方を知る ・周りの人の支援を受けながらお金のやりとりができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたいものを考え、行きたいお店を決める ・予算を決める ・メニューやサンプルを見て予算内で食べたい物を決める ・適切な金額を出してお金を払う ・場所によっては、自分で運んだり、食後の後片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型店舗内食堂 ・ファストフード店 ・ファミリーレストラン ・食堂、レストラン ・ホテル(バイキング他) ・ドリンクスタンド ・喫茶店
公共施設 利 用	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にどのような公共施設があるのかを知る ・公共施設の基本的な利用の仕方を知る ・公共施設利用の際の望ましい態度を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用時間を調べる ・施設への交通手段を調べる ・利用者カードを作る ・本や雑誌を読む ・本を借りる ・CDやビデオを視聴する ・その場の雰囲気に合わせて展示物を鑑賞する 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館 ・市立図書館 ・県立美術館 ・市立歴史博物館
ショッピ ング	<ul style="list-style-type: none"> ・店をまわって買いたい物を見つけることができる ・その場にふさわしい態度で買いたい物ができる ・店の人とやりとりができる ・周りの人の支援を受けながらお金のやりとりができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買いたい物や買い物をする場所を決める ・予算を決める ・店までの交通手段を調べる ・金額を考慮しながら買いたい物を選ぶ ・店員さんに「買いたい」ことを伝える ・適切な金額を出してお金を払う 	<ul style="list-style-type: none"> ・書店 ・CD店 ・大型店舗 ・デパート ・スーパーマーケット
スポーツ 及 び 関連施設	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にどのようなスポーツ関連施設があるかを知る ・その施設の基本的な利用の仕方を知る ・施設利用の際の望ましい態度を育てる ・運動するのにふさわしい服装や、用具の準備について知る ・安全に気をつけて利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用時間や使用料について調べる ・施設への交通手段を調べる ・その運動にふさわしい服装や用具について考え、準備をする ・用具を借りたり、チケットを買ったりする ・その場のルールを守り、安全に気をつけて運動する ・その場の雰囲気に合わせて各種スポーツの観戦を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター (体力測定) ・体育館 ・スポーツクラブ ・陸上競技場 ・サイクリング ・ボーリング ・プール ・スケート ・スキー ・パットゴルフ ・高校野球観戦

<p>地 域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢やその近辺について知る ・地域の各種文化施設や文化財等に触れる ・地域の伝統工芸や産業について知ったり、体験したりする ・見学の際の望ましい態度を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用時間や入園料について調べる ・利用したい交通機関や、代金を調べる ・適切な金額を出してお金を払う ・その場の約束や雰囲気に合わせて見学する ・体験型の場合は自分のしたいことや、作りたいものを自分で選んで取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢散策 ・文学散歩 ・ふらっと散歩 ・忍者寺 ・玉泉園、成巽閣 ・からくり記念館 ・松井秀喜野球の館 ・地場産業見学、参加 <ul style="list-style-type: none"> 九谷焼絵付け 加賀友禅色付け 金箔工芸 和菓子作り体験
<p>調 理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な食材を考えることができる ・店をまわって買いたい食材をそろえることができる ・支払いも含めて店の人とやりとりができる ・友だちと協力して食事の準備ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な材料を考える ・予算を決める ・近隣の店や市場に買い物に行く ・お店の人とやりとりをしながら買い物をし、適切な金額を出してお金を払う ・下ごしらえをする ・調理をする ・みんなで食べる ・食後の片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・近江町市場鍋 ・かに鍋 ・ギョウザづくり ・バーベキュー ・魚をさばく
<p>乗 り 物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の県や市町村へ、公共交通機関を利用して出かけることができる ・バスや電車の時刻表の調べ方を知る ・自動販売機でチケットを買うことができる ・運賃表を見ながら利用分の金額を払うことができる ・乗り物に乗ることを楽しむ ・車内での望ましい態度を育てる 	<p><バス利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地への往復のバス路線とダイヤルを調べる ・行き先の表示を確認してバスに乗る ・車内放送などを聞いて降りる準備をする ・運賃表を見ながらお金を払う <p><電車利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地への往復の電車と時刻を調べる ・値段を調べる ・乗り場を調べる ・チケットを買う ・構内に入って電車を待つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスに乗る ・ふらっとバスに乗る ・電車に乗る <ul style="list-style-type: none"> 石川県内 福井方面 富山方面

ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の周囲の環境をよりよくするために働きかけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミを拾う 空き缶を拾う 草刈りをする ゴミの分別をする 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸清掃 河川敷のゴミ拾い
遊戯施設利用	<ul style="list-style-type: none"> 身近にどのような遊戯施設があるのかを知る 各種遊戯施設の基本的な利用の仕方を知る お店の人とやりとりができる 周りの人の支援を受けながらお金のやりとりができる 施設利用の際の望ましい態度を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の場所や利用時間、利用金額などについて調べる 施設への交通手段を調べる 利用金額を知り、適切な金額を出してお金を払う その場の約束や雰囲気に合わせて施設を利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 映画 カラオケ ゲームセンター 温泉関連施設
リクエスト	<ul style="list-style-type: none"> 自分が「ほんもの学習」の時にやりたいこと、行きたいところなどを教師に伝えたり、コースを自ら提案したりする 	<ul style="list-style-type: none"> 上記のいずれかの指導項目に含まれるものであれば、以下それに準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 同左

④ 年間指導計画例

7 月 中 旬	12 月 上 旬	2 月 中 旬
<ul style="list-style-type: none"> 高校野球観戦 ショッピング カラオケ ボウリング 健民プール 	<ul style="list-style-type: none"> 映画 附属幼稚園訪問 (近江町) かに鍋 スケート ふらっと金沢散策 	<ul style="list-style-type: none"> カラオケ 餃子作り (中国人留学生と) 九谷焼絵付け体験 体力測定 (保健センター) スキー

挑戦学習

「挑戦学習」は教師が提示した4～5の課題の中から、生徒が自分のしたいものを選び挑戦する学習であり、課題に対して主体的、積極的に取り組む態度と力を育てる学習であることから、教育課程上は「総合的な学習の時間」に位置づけている。

この学習は、教師側が生徒に身につけてほしいこと、余暇につながるようなことを4～5の課題として提示し、生徒がそのなかから自分の好きな課題を選択する。課題の提示→課題の選択→練習→発表、審査（評価）という流れで行う。教科と異なるところは生徒が自ら学ぶことを選べるということ、発表の場があるということ、審査を受け合否の判定があるということである。高等部全員の前で発表する時に、まわりの生徒や先生からの応援や正当な評価を受けることで自分に自信をもち、前向きの生き方につなげていってほしいと考える。

① 目 標

- ・提示された学習課題の中から、自分のしたいことを選ぶ
- ・学習課題を最後までやり遂げる
- ・目標をもって取り組む態度と力を育てる
- ・取り組んだ課題を余暇や生活に生かす

② 学習形態

4～5名の教師が各自1つずつ課題を提示し、全生徒がそのなかから自分でやってみたい課題を選択する。課題ごとの生徒の人数は未定。高等部全員の教師が生徒の人数に応じてそれぞれの課題に分かれて支援を行う。

各学期に1回実施する。1回の実施は15時間程度である。

時間配分例	学習課題提示、選択	2時間
	練習	5～7時間
	発表、審査	4～6時間

③ 指導項目及び内容例

指 導 項 目	課 題 (例)	内 容 (例)
知識に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅名を覚える ・ 世界の国々 ・ 俳句を覚える ・ 電卓で計算する ・ 日本地図 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸本線の駅名を覚える ・ 金沢―七尾間の駅名を覚える ・ 世界地図を見て国名や首都を言う ・ 俳句を読んだり書いたりして覚える ・ 電卓の使い方を知り、正しく計算をする ・ 電卓を使って金額の合計をしたり、おつりの計算をしたりする ・ 北陸三県の県名と県庁所在地を覚える ・ 中部地方の県名と県庁所在地を覚える
手指に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包丁の使い方 ・ 箸の使い方 ・ 独楽を回す ・ アイロンの使い方 ・ 折り紙を折る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リンゴの皮をむく ・ きゅうりを輪切りにする ・ 小豆を箸でつまみ、別の器に移しかえる ・ いろいろな独楽の回し方を覚えて回す ・ ハンカチにアイロンをかける ・ ワイシャツにアイロンをかける ・ 「奴さん」「鶴」などをていねいに折る ・ 折り紙の折り方の本を見ながらていねいに折る
運動に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縄跳びをする ・ 体操をする ・ 社交ダンスをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回し一重跳びや二重跳び、交差跳びなどをする ・ ラジオ体操の一つ一つの動きをきちんとする ・ ワルツやタンゴなどの基本のステップを覚えて踊る

○過去の挑戦学習課題は資料参照

④ 年間指導計画例

6 月 下 旬 ～ 7 月	11 月 中 旬	1 月 下 旬 ～ 2 月 上 旬
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電卓 ・ 地図 ・ 詩の朗読 ・ 英語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体操 ・ おりがみ ・ 買い物 ・ カンつみ、はこつみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切る (リンゴの皮むき) ・ さがす (辞書、電話帳) ・ 冷凍食品の作り方を読む ・ つくる 升目模様

資料

挑戦学習課題一覧表（昭和56年度～平成13年度）

<知識に関するもの>

課 題 名	内 容
住所・氏名	自分の友だちの住所・氏名を正しく書く
俳句	有名な俳句を覚える
俳句（奥の細道）	奥の細道に出てくる俳句を覚える
新聞	新聞から自分の好きな記事を選んでスクラップを作る
校歌	校歌を2題とも正しく歌う
漢字（読み）	「土筆」「梅雨」など特殊な読み方をする漢字を覚える
漢字（女偏）	「嫁」「妃」など女偏のつく漢字を覚える
漢字（鳥旁）	「鴨」「鶉」など鳥のつく漢字を覚える
駅名	北陸本線、七尾線などの駅名を覚える
アルファベット	アルファベットを覚えて読んだり書いたりする
英単語	身近な英単語を数多く覚える
英会話	英語で簡単なやりとりをする
筆順	漢字を正しい筆順で書く
町名	金沢市や自分の住んでいる地区の町名を覚える
電話番号	自分の家や学校、友だちの家の電話番号を覚える
一筆描き	文字や絵を一筆描きで描く
歌	自分の選んだ歌を歌う
都道府県名	全国の都道府県名を覚える
スクラップ	夏休み中に新聞の切り抜きでスクラップブックを作る
昔話	絵本を見ながら昔話の読み聞かせをする
万国旗	世界の国の国旗を覚える
十二支	十二支の名前と順番を覚える
年賀状	年賀状の基本的な書き方を覚え、自分で書く
九九	九九を覚える
百人一首	百人一首を覚える
百人一首の作者	百人一首の作者を覚える（百人一首を全部覚えた者への課題）
詩の暗唱	詩を覚えて朗読する
祝日	日本の祝日を覚える
お金	指定された金額を正しく出す
鉄道	鉄道の駅名を覚える
ドレミの歌	ドレミの歌をピアノや木琴などの楽器で演奏する
交通標識	道路で見かける交通標識を覚える
計算機（電卓）	電卓の使い方を知り、素早く計算する
お金	いろいろな金種を使って指定された金額にしたり、おつりの計算をして正しく渡す
買い物	指定された条件で一人で買い物をする
早口言葉	一般的な早口言葉を練習して間違えずに言う

祭り	日本で有名な祭りの名前と場所、日付などを言える
掲示物を読む	いろいろな掲示物を読み、なんの掲示かを言う
記憶	一定時間の中で箱の中に何があったのか記憶し答える
図形	いろいろな図形の名前を覚える
臓器	人間の臓器の名前を覚える
プロ野球	プロ野球のチーム名とフランチャイズを覚える
日本地図	日本地図を見て都道府県や都市の場所を指し示す
紙数え	10枚以上の紙の枚数を正確に数える
郵便番号	日本の代表的な都市の郵便番号を覚える
地名と場所	いろいろな地名を覚え、その場所を地図上で示す
裏文字読み	いろいろな平仮名や漢字を裏から読む
ことわざ	ふだんよく使われていることわざを覚える
乾電池のつなぎ方	＋を間違えずに乾電池をつないで豆球をつける
反意語	ある言葉の反対語は何か、国語辞典を調べて覚える
外来語	普段からなじみのある言葉でも外来語のものについてどこの国の言葉か覚える
本の朗読	自分で選んだ本の一部を朗読する
せりふ	表現会での自分のせりふを気持ちを込めて言う
卓球のカウント	卓球の審判になり 正しくカウントする
時計・数	正しく時計を読んだり 数を数えたりする
市町村のマーク	石川県の市町村のマークを覚える
オリンピック	歴代のオリンピックの開催地を覚える
石川の祭り	石川県の各地の祭りの時期と場所（町名）を覚える
星座	星の並び方をみて何座かを言い当てる
ものの数え方	いろいろなものの数え方（単位）を覚える
県庁所在地	日本の各県の県庁所在地を覚える
電話帳の使い方	指定された人の電話番号を電話帳を使って調べる
特急列車の名前	JR で走っている特急列車の名前と始発駅・終着駅を覚える
絵本読み	自分で選んだ絵本をみんなの前で読む
国体	国体で行われる競技や過去の開催地を覚える
ニュース	新聞からいろいろな記事を自分で選んで書き写す
世界の国々	世界の国々の名前やその首都を覚える
ジグソーパズル	ジグソーパズルをなるべく短時間で仕上げる
JR の駅名	JR の一つの路線の駅を一定の区間にわたって覚える
ディズニーランド	ディズニーランドの乗り物やパビリオンの名前と場所を覚える
旅の計画	JR の時刻表などで指定された場所へ行く時の乗り物やその時刻料金を調べる
全国の特産物	日本の各県の特産物を覚える
カラオケ	カラオケを覚えて（1 題目）みんなの前で歌う
マーク	国旗や会社、店など身近なマークを覚える
大相撲博士	関取の名前や所属の部屋名 出身地などを覚える
英語の歌	英語の歌詞を覚えて歌う
トランプ	「7ならべ」などのゲームをしたりマークを見て分類する
四字熟語	カードを組み合わせた読みや意味を覚える

説明書きを読む さわっていくら 探す	冷凍食品の作り方を読んで電子レンジで作る 硬貨を箱の中に隠して触っていくら の硬貨か当てる 国語辞典、電話帳から必要な情報を 探す
--------------------------	---

<手指に関するもの>

課 題 名	内 容
折り紙1	「奴さん」「鶴」などをていねいに折る
折り紙2	一枚の折り紙で「奴さん」「風車」「だまし船」「二艘船」を続けて折る
あやとり	一人あやとりでいろいろな形を作る
皮むき	包丁を使ってリンゴや柿などの皮をむく
紙飛行船	紙飛行機を折って飛ばす
釘打ち	釘打ちをして箱を作る
ネクタイ	自分でネクタイをしめる
おはじき	おはじきを使った遊び（伝承遊び）ができる
まりつき	まりつきを長く続ける
ひも結び	個々の実態に応じて「蝶々結び」「片結び」などをする
缶切り	缶切りを使って缶詰をあける
鉛筆削り	鉛筆削りを使って鉛筆の先を尖らせる
ギター	ギターのコードを弾いて歌の伴奏をする
目玉焼き	卵を割って卵焼きを作る
紙切り	線のとおりにはさみで紙を切る
けん玉	けん玉で「大皿」「小皿」「もし亀」などをする
水入れ	口の細いビンに水をこぼさないように入れる
タオル絞り	濡れたタオルをしっかりと絞る
風呂敷結び	風呂敷で物を包んできちんと結ぶ
洋服たたみ	制服やワイシャツをきちんとたたむ
お茶の入れ方	人数によって葉の量などを考えてお茶を入れる
ふとんしき	ふとん、シーツなどをきちんと敷く
おび封	カードや紙幣などをしっかりとおび封する
トランプ	トランプのカードをいくつかの方法で切ったり人数分に分けたりする
折りたたみ傘	折りたたみ傘を開いたり、きちんとたたんだりする
ふたあけ	印鑑ケースやビンなどのふたを開ける
ピアノ(オルガン)	ピアノ(オルガン)で自分の好きな曲を演奏する
お手玉	個々の実態に応じてお手玉をする
ハンコ	ハンコをずれたりかすれたりしないように、きちんと押す
ボール回し	バスケットボールやバレーボールを指先で回す
はちまき・エプロン	はちまきやエプロンなど体の後でひもを結ぶ
お箸の使い方	豆を皿に移しかえたり、豆腐をつまんだりする
似顔絵	先生や友だちの似顔絵を描く
包丁の使い方	包丁で果物の皮をむいたり、野菜を切ったりする
タイプ	和文タイプで文章を完成させる

糸通し	縫い針に糸を通す
ちぎり絵	線画に合わせてちぎった色紙を貼り、絵を完成させる
手芸	カラービーズを糸に通してのれん等の作品を作る
天気・温度	夏休み中の天気・温度を調べて日記に書く
ぬり絵	線からはみ出さないようにしてぬり絵をする
色板並べ	色のマッチングをしながら色板を並べていく
アイロンかけ	しわにならないようにアイロンをかける
皮むき・缶切り・ 栓抜き	個々の能力・興味に合わせて皮むきや栓抜きなどをする
編み物	毛糸でマフラーや手袋帽子などを作る
鼓笛隊の演奏	鼓笛隊の曲目を担当する楽器で演奏する
洗濯	ハンカチや靴下などをもみ洗いする
バランス棒立て	いろいろな物を片手でバランスをとりながら立てる
洗濯物を干す	洗濯物をしわにならないように干す
ドライバーの使い方	木ネジをドライバーでねじ込む
箱折り	紙製の箱を折り目にしたがって折り、箱を完成させる
頭巾結び	自分一人で頭巾をする
水移し	ピンからピンへ水を移しかえる
調理	夏休み中に卵焼きや野菜炒めなどの調理をする
掃除	布巾でテーブルを拭いたり、ほうきで掃いたりする
紙折り	やや厚手の紙を半分に折る
手品	紙を丸めてはさみで切り込みを入れて「花」を作る
独楽回し	ひもを使って独楽を回す
紙風船つき	紙風船をふくらませてできるだけ多くつく
空き缶積み・箱積み	アルミ缶や箱を縦に高く積む
洗濯とアイロンかけ	自分の靴下などを洗濯し、干してアイロンをかける
コンロ・目玉焼き	一人でコンロに火をつけ、卵を割って卵焼きを作る
ワープロ検定	決められた文章をワープロで短時間に正しく打つ
給油ポンプ	給油ポンプでストーブに灯油を入れる
皿洗い	洗剤をつけて食器を洗う
米とぎ	米をとぎ水加減を調整する
雑巾がけ	雑巾をしぼり、テーブルを拭く
ものさし	定規で正しく直線を引く
安全ピン	安全ピンを止めたりはずしたりする
紙折り	紙を正しく折り封筒に入れる
デザート作り	市販のプリントやゼリーを正しい分量、手順通りに作る
ボタン付け	いろいろなボタンを針と糸でつける
輪投げ	できるだけたくさん輪を棒に投げ入れる

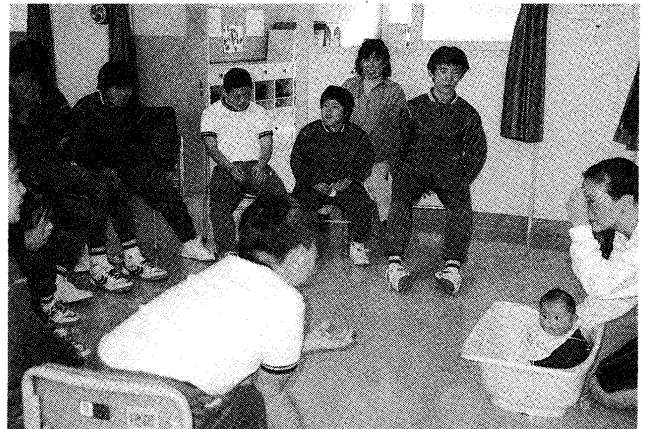
<運動に関するもの>

課 題 名	内 容
縄跳び1	前回り一回旋で跳ぶ
縄跳び2	「二重跳び」「後跳び」「綾跳び」などで跳ぶ
バスケット	シュートする（フリースローの形）
体操	ラジオ体操をきちんとする
腕立て伏せ	できるだけ正しく腕立て伏せをする
ジルバ	ジルバのステップを正しく踏む
リズム	音楽に合わせて決められた振り付けで踊る
脚力	壁に背中をつけて椅子に腰掛ける形で我慢する（人間椅子）
ジェスチャー	動物やスポーツなどをジェスチャーで表現する
逆立ち（倒立）	倒立または壁倒立を長くする
長縄跳び	一人ではなく、誰かと一緒に息を合わせて跳ぶ
懸垂・ぶら下がり	個々の力に応じて懸垂（回数）やぶら下がり（時間）をする
「付養体操」	「付養体操」の動きの一部を練習して正しくする
歩く	正しい姿勢で歩く
片足立ち	片足でぐらつかずに長く立つ
跳び箱	跳び箱で高く跳ぶ
「ストレッチ体操」	「ストレッチ体操」を正しく行う
ストライク	ホームベースに向かってストライクを投げる
ウォークベースボール のバッティング	ウォークベースボールでホームランをねらってバッティングをする
腕の体操	ラジオ体操や「付養体操」の中から腕回旋など、腕に関する運動をする
キャッチボール	ペアになってキャッチボールをする
ドリブルシュート	バスケットのドリブルシュートをする
輪回し	輪（自転車の車輪など）を棒を使って回しながら進む
バランス	平均台、片足立ちなどバランス感覚を必要とする運動をする
バドミントン	バドミントンで長くラリーを続ける
フラフープ	フラフープを長く回し続ける
盆踊り	炭坑節や金沢ホーヤネを曲に合わせて一人で正しく踊る
パットゴルフ	なるべく少ない打数でボールに穴に入れる
ティーショット	なるべく正確にショットを打つ
frisbee	frisbeeでなるべく遠くに投げたり正確に投げたりする
マット運動	前転や後転などのマット運動を正しくする
筋肉番付	跳び箱・ぶら下がり・腹筋・人間椅子・腕立て伏せ・腕支持の中から3種類以上を選び、長くたくさんする
ボールつき	バスケットボールのドリブルや紙風船つきをたくさんする
柔道	正座・礼・受け身を正しくする
自転車	自転車に乗る・止まる・ジグザグコースを運転する
歩く	坂道・階段・橋を歩く
ダンベル体操	ダンベルを使った各種の運動を規定回数正しくする
ボールリフティング	風船やボールで手や足を使ってできるだけたくさんボールをつく

4. 全校的な取り組み



全校集会「リトミック」



性指導「赤ちゃんこんにちは」



給食指導「ごちそうさまでした」

(1) 領域別の指導

道徳

学習指導要領では、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を4つの視点に分けて示しているが、その視点は本校の「豊かな心」のキーワードと重なる部分も多い。「豊かな心」と同様に、道徳は日常のあらゆる場面で適時に即時的に指導されることが大切であると考えている。それゆえ「道徳の時間」は特設せず学校の教育活動全体を通じて行うものとしている。

① 目 標

- ・周囲と協調してよりよく生活する力を高める
- ・明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る
- ・いろいろな経験をする中で豊かな道徳的心情を育て、できるだけ広い視野にたつて道徳的判断や行動ができる力を育む

② 学習形態

児童生徒一人一人に対して、またあらゆる集団に対して機会を捉えて行われる。

③ 内容及び観点

内 容	観 点
主として自分自身に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・自分づくりの基礎を固める ・望ましい基本的生活習慣を身につける ・自分の行動をよりよい方向で決定する ・自分を好きになり、自分に価値を見出す ・自分の良さを積極的に生活に生かす
主として他の人とのかかわりに 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と良い関係をもつ ・身近な大人とのかかわりを楽しむ ・友だちと一緒に楽しむ ・友だちと一緒にいることを楽しむ ・友だちとかかわり合う ・友だちと仲良くする ・年下の者や友だちを思いやる
主として自然や崇高なものとの かかわりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しむ ・自然の中で楽しむ ・自然の大切さを知り、自分のことから環境に働きかける
主として集団や社会との かかわりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな機会を捉えて身近な地域社会に接する ・家庭や学校、地域の人と良い関係や適切な関係をもつ ・社会のルールやマナーを知って守ろうとする気持ちや態度を育てる

④ 年間指導計画例

年間を通して、あらゆる機会において指導する。

自立活動

本校ではこれまで、養護・訓練を教育活動の中でも重要なものとして捉え、すべての児童生徒に対して運動やコミュニケーション、言語訓練などの指導を特設して取り組んできた。しかし今回、養護・訓練の名称が自立活動に変更になったことや学校週五日制が完全実施されることを機に、今までの指導体制や指導内容の見直しを行った。まず、各学部で児童生徒の実態を詳しく把握し、特に1対1あるいは少人数で指導を行うのが効果的であると判断された児童生徒については特設する自立活動の時間の指導で個別指導を行うこととした。例えば、自閉的傾向が強く集団が苦手な児童生徒でコミュニケーション指導が必要な場合や、知的障害以外に顕著な運動障害がある場合などである。また、その他通常の学校生活全般の指導のもとで十分自立活動の目標を達成しうると思われる児童生徒の場合はそれぞれの学部の時間割に沿ったなかでの取り組みがなされることになる。いずれも教科の指導や教科・領域を合わせた指導など学校生活のさまざまな場面で一人一人の自立活動における目標を達成するための実践が意図的に行われる訳である。

このように自立活動は個別で指導する場と学校教育全般で指導する場とを効果的に組織し相互に関連を図りながら指導内容を吟味していかなければならない。また担任だけでなくいろいろな教師が指導にあたる場合もあるため、その連携や情報のやり取りを綿密に行う必要がある。そこで個別の指導計画を作成し、一人一人の実態を詳しく把握するとともに課題設定や目標達成のためのプログラムを立てることとする。本校では表Ⅱ-1 個別の指導計画票をつくり保護者との懇談やアンケート調査をもとに指導目標を設定して指導にあたっている。

小学部の自立活動

小学部では年度始めに保護者からの学習についてのアンケートや、前年度からの申し送り事項、指導要録、通知票、学習の記録の個人ファイルなどの資料をもとに、各児童について実態を把握して個人別の年間目標をたてている。そして自立活動の五つの区分の22項目の中から必要とするものを選定し、それらを相互に関連づけながら具体的な指導内容を設定して段階的に取り上げるようにしている。指導にあたっては、各児童の年間目標に応じて教育活動全体で指導する場合と、必要に応じて「自立活動の時間における指導」を特設して行う場合がある。

中学部の自立活動

中学部では、学校生活の中で不適応行動があったり特にも・人とのかかわりについて指導を要する生徒に対してはコミュニケーションの力を伸ばし心理的な安定をはかるため特別な対応が必要と考えている。そこでグループ学習の時間に対象の生徒を抽出して個別の指導を行い自立活動の時間を特設している。

生徒一人一人のめあてについては、年度当初や学期ごとの懇談会で保護者からの生徒に対する願いを聞き、また担任の望んでいることも加えながら短期目標、長期目標を設定して取り組んでいる。

高等部の自立活動

高等部でも全体的に障害が多様化・重度化してきたこともあるが、個々に目を向ければ表出言語はあるものの、不明瞭であったりオウム返しであったりする生徒が増え、場面緘黙傾向の生徒も在籍している。卒業

を控えた高等部段階では、言語訓練的指導も大切だが現在もっている能力や興味・関心を起点とし、他者とのかかわりを広げたり、情緒の安定がはかれるよう全面的な「コミュニケーション」の糸口を、生徒とともに見つけることが必要であると考え。そのため必要な生徒に関しては、週に1度「グループ学習（教科学習）」の時間を「自立活動」の時間にして抽出して指導を行っている。

① 目 標

個々の児童生徒が自立をめざし、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度および習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

②学習形態

保護者に子どもに対する現在および将来的な願いに関するアンケート調査を行う。それを参考に特にコミュニケーションに関する指導を必要とする生徒を抽出する。小学部においては「ほっとタイム」の時間、中学部、高等部は「グループ学習」の時間に抽出児童生徒をとりだし週1回指導している。各学部とも3名の教師が、年間1～2名の生徒を担当している。

③ 指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	題材例・実践例
健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムや生活習慣の形成をめざす 健康状態の維持、改善をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> 食事、着替え、トイレなどの日常生活面の積み重ねを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 食と生活のリズムに関するアンケート 給食 朝、帰りの着替え トイレ 手洗い 歯磨き
		<ul style="list-style-type: none"> 自分の体の状況を知って、健康の維持につとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の量 天気の良い日は戸外で遊ぶ
		<ul style="list-style-type: none"> 自分に合った運動や適切な食事の量や内容等を知り、健康の維持に務める 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の量を選ぶ 体力作り ストレッチ運動 サーキット運動
心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> 情緒の安定をめざす 対人関係の形成の基礎をめざす 状況の変化への適切な対応をする 障害に基づく種々の困難を改善、克服する意欲の向上をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活において見通しのあるリズムづくりをする 今日の予定、明日の予定を話す 教師、友だちとのかかわり合いを積み重ねる 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会（今日の予定） 終わりの会（明日の予定） ランランタイム（2人で協力するゲーム） ほっとタイム（教師、友だちと一緒に遊ぶ）

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことをして遊ぶ ・その日の日程や1週間の予定を知る ・1対1の学習で落ち着いて取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定の発表 ・一輪車 ・自転車 ・フリーデイ
		<ul style="list-style-type: none"> ・月の予定や、年間の予定を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定の発表 ・カレンダーづくり
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚を総合的に活用して周囲の状況の把握につとめる ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ・色・形の見本合わせや分類などをする ・空間、時間の概念の形成をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・型はめパズル ・ジグソーパズル ・靴箱、ロッカー、自分の教室、特別教室の場所 ・時計の学習
		<ul style="list-style-type: none"> ・教室にあるいろいろなものを認識し、はたらきかける ・自然の中で花を摘んだり、落ち葉を拾ったりする ・教科の学習においていろいろな素材にふれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・風船 ・ぬいぐるみ ・ボール ・散歩 ・色・形
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校にあるいろいろなものを認識し、働きかける ・学校のまわりの主な店舗や施設の場所について把握する ・好きなものを通して1日の予定や時間に見通しをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科と特別教室の関係 ・バス通学 ・買い物 ・新聞のテレビ欄
身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上をめざす ・日常生活に必要な基本動作を身につける ・作業に必要な基本動作を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具、移動遊具で遊ぶ ・体操をする ・食事、着替え、洗面、入浴等の身辺処理及び書字、描画等の学習のための動作などの基本動作を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランコ ・巧技台 ・自転車 ・ほっとタイム(遊具で遊ぶ) ・ラジオ体操 ・ストレッチ体操 ・合宿
		<ul style="list-style-type: none"> ・身体の柔軟性を高める ・持久力や筋力を高める ・指先の巧緻性を高める ・生活場面での力の入れ具合を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> ・床拭き ・エアロビクス ・服のハンガー掛け ・牛乳のふた取り
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動を通して持久力を高める ・手指の巧緻性と、作業に対する持続力の向上をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミック ・20分間走 ・玉のれんづくり ・各種作業班での作業 スタンプ押し シール貼り ビーズアクセサリー作り ジョイントの分解組み立て 等

コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基礎的能力の向上をめざす ・言語の受容と表出の向上をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常場面での人とのやりとりをする（音声言語、表情、しぐさ等） ・発音、発語指導 ・文字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、返事 ・手遊び ・相手を必要とする遊び（キャッチボール、カルタ等）
	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用の向上をめざす ・コミュニケーション手段の選択と活用をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔や目を見て話す ・要求したいことを身振りサインで伝える ・共通の話題を教師と一緒に話したり、ある課題にともに取り組んだりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行の話 ・積み木 ・ドミノ
	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じたコミュニケーションをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことを通して友だちや教師とコミュニケーションができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室へのお使い ・テレビの話 ・ニュースの話 ・スポーツの話

④ 年間指導計画例

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けアンケートの集約 ・抽出生徒の検討、決定 ・長期目標の設定と確認 <p>実態把握・指導 →</p> <p>(学期の始めと終わりに短期目標の確認、設定)</p>										

表Ⅱ-1. 自立活動 個別の指導計画

平成 年度 自立活動 個別指導計画表

金沢大学教育学部附属養護学校
記録者

学部・学年	小・中・高	年	氏名	
指導内容の分野	健康の保持 身体の動き	心理的な安定 コミュニケーション	環境の把握	
実態				
保留上の留意点				
各測定の結果	年	月	日	年
	月	日	年	日
保護者からの希望事項				
長期目標				
短期目標				

(表)

一学期	
二学期	指導の実際
三学期	
	評価と課題

(裏)

全校集会

全校集会の経緯

本校の全校集会は昭和58年度（1983年）から始まった。それは、それ以前から行われていた小学部の朝の会、中学部・高等部合同朝の会の活動を踏まえ、より大きな集団での活動をしてみようという試みでもあった。6歳～18歳までの年齢差の大きな児童生徒が一斉に活動することに対する懸念は当然あった。しかし、まず学校に集うみんなが顔を合わせることを大事にしようということからスタートし、その中で下級生が上級生を見て育つ姿や、上級生が下級生の世話をする姿などが見られ、その長所が顕著になったため、研究を進める中で集団学習の一つとして位置づけられた。みんなのできることや楽しめることは何か、どのようにグループを編成するかなどの検討がなされ、その時々の子どもの実態、教師の集団にあわせて形作られてきた。

各月定例の全校集会

現在では週1時間、月初めに行うものを「全校集会A」、第2週から5週目に行うものを「全校集会B」として、下記の「全校集会の流れ」の表にある内容で行っている。児童生徒の実態や時に応じてその内容は変化してきているが、全教師が全児童生徒の顔と名前と行動特徴を肌で知りかかわり合う場として継続されており、障害の重度化・多様化に対する態勢の素地づくりともなるなどの、望ましい学習環境の一つとなっている。

学期末の全校集会

7月と12月の学期末及び3月の学年末には終業式の後に「表彰」を行っている。その学期やその年に、自分らしさがだせた子、友だちと仲良くかかわることができた子、がんばった子やよいことをした子などに対して、その理由を述べて表彰している。これは教師が、児童生徒一人一人の育ちをよく見て、その子の良いところや、伸びているところ、頑張っているところを積極的に評価するものである。表彰の回数については一人の子が小学部では2回以上、中学部・高等部では各1回以上（3年に最低1回）名前が挙がるように心がけている。

① 目 標

- ・新しい週や月の始まりを意識する
- ・全児童生徒及び教師がかかわり合う
- ・それぞれの学部の特性を生かし、互いに育ち合う
- ・グループで協力し合い助け合って、各種ゲームや遊びなどの活動を楽しむ

② 学習形態

全児童生徒、全教師が参加する。年度当初に全員を4つの色別の縦割りグループ（赤・白・青・黄）に編成して活動を行う。

③ 全校集会の流れ

	活 動	ね ら い	内 容
全 校 集 会 A	リトミック	・音楽にあわせていろいろな動きができる ・みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ	・走る、歩く(前方・後方・方向転換)、ケンパ、ギャロップ、静止、片足跳び、スキップ、模倣運動 等
	集合・挨拶	・クラス毎に整列する	
	歌「校歌」	・自分の学校の校歌を歌う ・みんなと一緒に声を合わせて歌うことができる	・校歌
	お 話	・話す人の方を見たり、静かに聞くといった、話を聞くときの態度を養う ・話を聞いて内容を理解する	・校長先生のはなし ・先生のはなし ・生徒会からのはなし ・委員会からのはなし
	披 露	・努力を認められた喜びを味わう ・友だちの努力やその成果を認め合い、喜び合う ・友だちの入賞などを見て、自らの励みにする	・成績発表 各種スポーツの大会 各種コンクール 等
全 校 集 会 B	リトミック	A と 同 じ	A と 同 じ
	集合・挨拶	・色別のグループ毎に集まる	・赤色、白色、青色、黄色
	集団活動 ゲーム 遊び ダンス 等	・互いに協力し、助け合ってゲームに参加する ・みんなといっしょに競い合ったり、遊んだり、踊ったりして楽しむ ・いろいろなゲームや伝承遊びがあることを知る	・集合ゲーム(人数、色別等) ・運搬ゲーム ・大玉転がし ・玉入れ、玉取り ・ボール運び ・だるまさんがころんだ ・いろはにこんぺいとう ・盆踊り ・フォークダンス 等
学 期 末	表 彰	・認められた喜びを味わう ・友だちの良いところや成長を認め合い、喜び合う ・友だちの表彰を見て、自らの励みにする	・学期末表彰 ・学年末表彰
9 月 及 び 適 宜	紹介式・ 惜別式	・新しい先生との出会いを喜び、ともに学習や生活することへの期待感がもてる ・みんなの前で自分のことを紹介できる ・ともに学習や生活をしてきた先生との別れを惜しむ	・教生先生との式 ・講師の先生との式

④ 年間指導計画例

4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
・全校集会A(各月の第1週の月曜日に実施) ・全校集会B(各月の第2～5週の月曜日に実施)										
					・学期末表彰			・学期末表彰		・学年末表彰
・紹介式、惜別式										

中学部・高等部合同朝の会

中学部・高等部合同朝の会は、10年程前までは全校集会のある日を除いて毎朝行われており、その内容もゲームやリズム、ダンスなど多岐にわたっていた。その中の活動の一つであった「鼓笛」が現在まで継続して行われており、この時間の名称「中学部・高等部合同朝の会」とともに受け継がれて今に至っている。鼓笛は当初、中学部単独で行われていたが、中学部卒業生の高等部進学を機に、合同で取り組むこととなった。その中で楽器演奏に加えてバトンやポンポンなどのパートも生まれ、活動が広がってきた。

現在では週1時間、中学部と高等部の生徒が、鼓笛ばかりでなく歌唱も含めた音楽活動を通してかかわり合う時間となっている。

① 目 標

- ・みんなで歌ったり、合奏したりすることを楽しむ
- ・パートごとの活動を組み合わせ、一つの大きな共同活動をやり遂げることによって成就感、満足感を味わう

② 学習形態

中学部・高等部の全生徒及び全教師が、全員でまたはパートに分かれて練習を行う。

③指導項目及び内容

指導項目	ね ら い	内 容	備 考
歌 唱	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと歌うことを楽しむ ・歌いたいという意欲がもてる 	<ul style="list-style-type: none"> ・斉唱する ・リズム打ちを伴う歌を歌う 	<ul style="list-style-type: none"> ・「気球に乗ってどこまでも」 ・「ビリーブ」 ・生活年齢に合った歌
鼓 笛	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで合奏することを楽しむ ・力を合わせて一つの曲を作り上げる ・発表や披露の機会を目標に練習することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の準備をし、整列する ・パート練習や全体練習など、その時に応じた練習をする ・後片づけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・メロディー楽器 キーボード、ベルリラ ・打楽器 ドラム、大太鼓 中太鼓、小太鼓 タバリン、トライアングル シンバル ・バトン ・ポンポン

④ 年間指導計画例

年間を通して学習している。年2回、5月の運動会と11月の表現会の場で発表する。

生徒会・委員会活動（中学部・高等部合同）

生徒会及び委員会活動は、中学部・高等部の生徒が、学校生活を自分たちの力でよりよくするために、その生活の一端を担う活動である。各学期の始めと終わりに1時間ずつ「生徒会・委員会」の時間をとって係を決めたり、活動の内容について計画を立てたり、その学期の反省などを行っている。実際の活動は、定期的に当番として仕事をするもの、行事を中心として行うもの、生徒会・委員会の時間に行うもの、そして不定期的に休み時間などに集まって行うものがある。

① 目 標

- ・自分たちの仕事に対する責任感を育む
- ・友だちと協力して学校環境整備の一端を担う
- ・友だちと協力して行事の運営に携わり、自主的・主体的に活動する力を高める

② 学習形態

生徒会は、生徒会役員選挙で選出された役員（会長・副会長・書記・会計）4～5名によって構成される。生徒会役員以外の生徒は整美・体育・飼育・保健・広報の5つの委員会のいずれかに所属する。各委員会は7～8名の生徒で構成され、それぞれ2～3名の教師が担当する。

③ 各委員会のねらい及び内容

委員会	ね ら い	内 容	題 材 例
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の代表として公の場での活動を行う ・生徒会主催の行事等の企画、運営を行う ・学校や、児童生徒の益となる活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員選挙 ・学校代表としての挨拶 ・各種行事のポスターの作成、外部への掲示依頼 ・運動会のテーマの決定 ・意見発表会 ・カルタ大会 ・各種マークの収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会の司会 ・挨拶 ・体育交歓会 ・運動会 ・表現会 ・ポスター配布 ・運動会 ・表現会 ・バザー ・意見発表会 ・運動会テーマの募集・集約 ・意見発表会の運営・表彰 ・カルタ大会の企画・運営 ・グリーンマーク、エコマークの収集
整 美	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外の快適な環境づくりを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の整理整頓 ・植物の世話 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の整理 ・花壇の水やり ・鉢植えの水やり
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館、運動場の快適な環境づくりを行う ・体育的行事では係として、その進行に協力する 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育用具や場所の整理整頓 ・運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館用具庫の整理整頓 ・グラウンドの整備 ・運動会用具係

飼育	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育に関する基本的な知識や技能を知る ・毎日小動物の世話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育方法の理解と実際 ・当番活動の計画と運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・餌やり（毎日） ・水槽の水換え ・餌やり当番の決定、表記 ・当番活動
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・保健の仕事の一端を担って、係や当番活動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席調べ ・手洗い場の管理 ・掃除用具の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席調べの配布（毎朝）、収集（昼まで） ・各学部の手洗い場の清掃 ・石鹸の補充 ・掃除用具の配布、補充
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での様々な活動を視覚的に広報する 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真掲示 ・ポスター掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の写真の選択、貼付、掲示 ・催事、コンクール等のポスターの掲示

④ 年間指導計画例

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会の司会 ・グリーンマーク・エコマークの収集 ・運動会 ・表現会・バザー・カルタ大会 ・意見発表会 										
整美	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢植えの水やり ・花壇の水やり ・図書、遊具の整理整頓 										
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドの整備 ・体育館、用具庫の整理整頓 ・運動会 										
飼育	<ul style="list-style-type: none"> ・餌やり（毎日） ・水槽の水換え 										
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・出席調べの配布・収集 ・手洗い場の清掃、管理 ・掃除用具の点検 ・掃除用具の点検 ・掃除用具の点検 										
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・行事写真の掲示（随時） ・ポスターの掲示（随時） 										

学校行事

学校行事については、そのねらいと主要なものを年間計画に記しておく。

学校行事等年間計画

分類	ねらい	4	5	6	7	8
儀式的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活の節目にあたり、自覚を促す ・ 祝いの意義を知り、互いに喜び合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 入学式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創立記念日 ・ 開学記念日 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 終業式 	
学芸的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ ものや事柄を介して表現することの楽しさ、喜びを知る ・ 豊かな情操を養う ・ 鑑賞にふさわしい態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生歓迎会 ・ 日曜参観 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 写生会(中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕祭り(小) ・ オーケストラ鑑賞教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏祭り(育友会)
健康安全・体育的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常時、非常時の時に安全を守る基本的な態度を身につける ・ 健全な身体の発育と体力の増進をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教室 ・ 「生活の約束」の配布 ・ 下校指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 ・ 体力測定 ・ 体育交歓会(中・高) ・ 運動会 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全教室 ・ 避難訓練 ・ 夏休みの諸注意 ・ 水泳教室 ・ 健民プール(小・中) 	
遠足(旅行) 集団宿泊的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の風物に触れ、自然に親しむことで健康の増進や、心身の更新をはかる ・ 友だちと宿泊することで集団生活に慣れ基本的な生活習慣の自立を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小3組宿泊学習生活訓練 ・ 宿泊学習(中)辰口 ・ 高1宿泊学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一泊旅行/修学旅行(小3、中、高) 		
勤労生産・奉仕的行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことを通して、自らの有用性を感じ自尊の気持ちをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会役員選挙(中・高) ・ 生徒会・委員会活動 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 大掃除 ・ 生徒会・委員会活動 	

9	10	11	12	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・教育実習 紹介式 惜別式 			<ul style="list-style-type: none"> ・終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・終業式 ・離任式
		<ul style="list-style-type: none"> ・表現会 ・意見発表会 (中・高) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス 子ども会(小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年会 ・書き初め大会 (中) ・カルタ大会 (中・高) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まめまき(小) ・日曜参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り(小) ・卒業生を送る 会
<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・水泳教室 		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの諸注意 ・スケート教室 (中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・雪道の安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・そり教室(小) ・スキー教室 (中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・春休みの諸注意
	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の遠足 ・秋の合宿(中) ・社会見学(中) ・小2、3組 宿泊学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・高2 宿泊学習 ・高3 宿泊学習 				
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・委員 会活動 			<ul style="list-style-type: none"> ・バザー ・大掃除 ・生徒会・委員 会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・委員 会活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 ・生徒会・委員 会活動

(2) 保健指導

本校では学校生活全体を通して、また日常生活の指導の中で身辺自立の力や人とのかかわる力、毎日の学校給食の中で望ましい食習慣をつけるための食事指導や衛生知識を育んでいる。保健指導の学習を模索する中でも、身辺自立や清潔にとどまらず、からだの気持ちよさ、ふれあいの心地よさ、自分のからだの大切さを知ることを意識して進めてきた。ここでは「性の指導」と「食に関する指導」について記した。

性の指導

障害のある子どもたちにも性の成熟があり、ゆっくりではあるが成長があることはいうまでもない。この子どもたちの保健指導をどうするか、一人一人の発達課題や思春期の悩み、行動を考えて継続して取り組んでいきたい。指導するにあたって以下のことを確認しておきたい。

子どもの言葉でうけとめる

子どもたちが今、何を考え、どう思っているのか、その性感情を知ろう、分かってほしいという姿勢で進めてきた。しかし性感情や行動が見える子より、見えにくい子の方が多いと思われる。私たちが困ったり悩んだりするのと同様に子どもたちにも悩みや不安があるはずである。わかってあげたいという気持ちで、子どもたちの表情や行動を観察していくことを大切に、子どもたちの言葉で受け止め、子どもたちの言葉で返していくことや支援していくことが重要だと考える。

積み上げを大切にする

発達や障害など、子どもたちの実態が年ごとに変わり、前の学年と同じ活動が次年度にできるわけではないので、そのつど新たな工夫や教材づくりが必要である。実践を積み上げれば教育課程ができるというわけではなく、発達の視点を踏まえた体系化は容易ではない。しかし、積み上げることで理論的には充分認識できなくても体験的な理解はできるようになると思われるので、学部を超えて学習を進めていきたい。

子どもとの信頼関係を大切にする

授業中だけでなくいつでも、また、何を尋ねても言っても良いという大人との信頼関係が大切である。大人に受容される経験を積むことや、豊かな生活体験をすることで生活の実感が育ち、人間好きな子に育つと考える。

自分のからだは自分で守るという意識を育む

めまぐるしいこの社会で情報を処理して生活していくことは大きな課題である。どんなに支援しても守りきれない現実がある。障害のある子どもたちといえども自分で行動できる力、自分のからだを自分で守っていける力を培っておかなければならない。

性の行動は発達の要求行動として捉える

個人差があって少し遅れたり、アンバランスな発達が見られたりするが、女の子は女性の体に、男の子は男性の体にと、十代のどこかで第二次性徴が起こってくる。子どもの体が親の背丈を越えるようになり、精神面でもいろいろな変化が見られるようになる。中でも一番重要な変化が親子分離である。いままでのつながりがとても深かっただけに一般の子どもたち以上に親子間の葛藤が強くなるのである。大人に受容されたいという要求を強くもち、人と群れたい、一人になりたい、親に甘えたい、拒否したいなど、振り子のようにゆれる思春期の子どもたちである。性のいろいろな行動や表情を問題視するのではなく、根底にこうした要求があることを理解して子どもたちと接することが必要であろう。

指導にあたって心がけたいこと

- 1) 一人一人の発達や成長が違うこと、違ってあたりまえであることを認識しておく
- 2) 子どもから逃げない、ごまかさない、うそをつかない、効率を優先しない
- 3) プライベートゾーンを教える
- 4) さまざまな性があること、生き方の課題があることを認識する
- 5) いつでも、どこでも語り合える場をもち、情報交換をする

① 目 標

- ・基本的な生活習慣や健康の基礎知識を身につける
- ・自分のからだのことを知り、自分の体を守る態度を育む
- ・自分を大切にする気持ちを育み、相手も大切な存在であることを知る

② 指導形態

- ・学級における保健指導
- ・全校集会・学校行事・ランランタイムやハッピータイムにおける保健指導
- ・委員会活動や部活動における保健指導
- ・保健室における個別指導
- ・日常の学校生活における指導

③ 題材および指導の内容

小学部

題 材	ね ら い	指 導 の 内 容
毎月の誕生会	<ul style="list-style-type: none">・自分が大きくなっていることを知る・取り組んでいることが認められる喜びを味わう	<ul style="list-style-type: none">・小さい時の写真を見る・できるようになったこと、取り組んでいることの発表・親からのメッセージをきく
たいせつな体	<ul style="list-style-type: none">・自分で行える生活習慣を身につける・心地よさの体験を積み重ねる・一人でできる自信をもたせる	<ul style="list-style-type: none">・洗顔、手洗い、歯みがき・洗髪、入浴のしかた・性器の洗い方・下着の取替え

おしっこ うんち	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の自立を育てる ・トイレマナーの意識を育む ・トイレマナーを守る 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニング ドアを閉めることやノックをすること ズボンを下げないでおしっこができる ズボンのファスナーを下げてできる ペニスを持って包皮をひいてする ペーパーの巻き取り方やふき方 ・よごれものの区別ができる ・洋式、和式トイレの使い方
着替え	<ul style="list-style-type: none"> ・恥じらいの気持ちを育てる ・身だしなみをととのえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室での着替え ドアを閉めること 下着のまま出ない 水着のときにはタオルを巻いてする ・お尻を出したらみんなびっくりするよ ・鏡でたしかめる ・どうしてパンツをはくの
うちの 人	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なまわりの人に対する気持ちを育む 	<ul style="list-style-type: none"> ・親やきょうだいとのかかわり ・おじいちゃん、おばあちゃんありがとう
みんな なかよし	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちへの気持ちを育む ・あそびや生活のルールを守る ・ふれあいの心地よさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だち大好き ・友だちどうしているかな ・いじわるしないでね ・傷つけたらごめんなさい ・順番を待つこと どうぞ

中学部

題材	ねらい	指導の内容
私のからだ	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の体の違いを知る ・大人になっていく体を大切にする ・プライベートゾーンに気づく ・自分の体のリズムを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの体、わたしの体（第二性徴） ・子どもから大人への体の変化 ・水着を着ている部位を意識する ・男子のトイレマナーと自慰 ・女子のトイレマナーと生理
私の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を知る ・おへその秘密に気づく ・いのち（老いること死があること）を考 える 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の誕生日（生まれた日） ・「赤ちゃん誕生」「赤ちゃんこんにちは」 ・ぼくのことわたしのことを知ろう ・赤ちゃんから大きくなって大人になる ・おばあちゃんの絵本
わたしの家族	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のことを大切にする (両親やきょうだい祖父母のこと) ・家族のつながりを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の中の自分を語る ・家族からのメッセージ ・一緒にいる家族、遠くにいる家族
好きだよ	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちへの関心と自分への気持ちに気づく ・人と群れたい、一人になりたいゆれ動く 自分に気づく ・大人になる喜びを育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だち大好き・素敵な友だち ・自分が好き ・いっしょ大好き、嫌い (甘えたい、拒否したい) ・大人になるって(心)
すてきだよ	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれ感覚を育てる ・心地よいふれあいに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれの日 ・お風呂の日 ・握手だよ ・そっとね(やさしいふれあい) ・うれしいタッチ、嫌いなタッチ

高等部

題 材	ね ら い	指 導 の 内 容
私の生い立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれてから誕生までの成長に気づく ・生命の大切さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からのメッセージを聴く ・自分の成長と年老いていく両親 ・周りの人の支援
赤ちゃんとの 出会いや育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な赤ちゃんとふれあう ・小さい子への関心をもつ ・おなかの赤ちゃんの成長を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんは未成熟な状態で生まれてくる ・親には責任がある
ふ れ あ い	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を大事にする ・相手にも気持ちがあることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信をもつ ・いろいろな「好き」 ・性行動（性被害、性衝動） ・男女交際
おしやれと マ ナ ー	<ul style="list-style-type: none"> ・おしやれをして出かけよう ・TPOがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひげそり ・化粧 ・装う ・自慰の処理
これからの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚へのあこがれや責任について考える ・愛することを大切にする ・生活に関する情報を知る ・働くことを大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚する自由、しない自由 ・生活のリズム（睡眠、食事、排泄） ・情報社会と福祉（制度） ・悩みと相談
生殖のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・性交と避妊について気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ・人にも動物にも性交がある ・生命を守っていく責任 ・病気にかからない うつさない

④ 年間指導計画例

年間を通して、必要に応じて学級担任、養護教諭、栄養士、学校医と連携して指導を行う。内容によっては家庭にも働きかけていく。

資料

保健目標指導例

月	保健目標	内容	ねらい
4	ハンカチ、ティッシュを持ちましょう	<ul style="list-style-type: none"> ハンカチやティッシュがポケットに入っていますか ハンカチは毎日とりかえる 	<ul style="list-style-type: none"> よごれたハンカチと清潔なハンカチの違いに気づく
5	トイレマナーを守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ドアをロックする ドアを閉めてする 汚さないように立つ 水を流して確かめて 	<ul style="list-style-type: none"> 排尿できるだけでなく年齢相応の排尿マナーを知る 種々のトイレを体験する
6	食べたら歯をみがこう	<ul style="list-style-type: none"> ぶくぶくうがいをする 奥歯もみがこう みがけているか確かめて 	<ul style="list-style-type: none"> 給食を食べたら歯みがきをする
7	からだをせいけつにする	<ul style="list-style-type: none"> あせをふこう あせをかいたら着替えよう プールのきまりを守る 	<ul style="list-style-type: none"> あせを出して体温調節をしていることを知る 皮膚の働きに気づく
9	手をしっかりあらおう	<ul style="list-style-type: none"> せっけんであらおう 手首まであらおう 	<ul style="list-style-type: none"> 寒天培地で手のよごれを観察する 友だちの洗い方を見て自分の洗い方を考える
10	好ききらいなく食べよう	<ul style="list-style-type: none"> 野菜も食べよう よくかんで食べよう 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな野菜の味を知る 体の調子を整える野菜のはたらきに気づく
11	食事のマナーを守りましょう	<ul style="list-style-type: none"> こぼしたらふく ひじをつかない 食器は持って手をそえて食べる 	<ul style="list-style-type: none"> テーブルマナーを体験する 食事会に出かけよう 自分で食事の量を調節する
12	あとしまつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 使ったものはもとにもどす かたづける せいとんをする 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りを整頓する 使ったものをもとの場所にもどす 環境を大事にする
1	かぜをひかないようにしよう	<ul style="list-style-type: none"> がらがらうがいをする 手をあらおう 換気を確かめて 	<ul style="list-style-type: none"> 病気の予防を知る 生活リズムが自分のからだを高めることを知る
2	しせいに気をつけよう	<ul style="list-style-type: none"> せなかをのぼそう ひじをつかない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のからだの左右前後、裏表などボディイメージをつかませる
3	そうじをしっかりしよう	<ul style="list-style-type: none"> ほうきのごみをとろう すみずみのほこりをとる ぞうきんはかたくしぼる 	<ul style="list-style-type: none"> 環境を自ら清潔にしようとする態度を育てる

食に関する指導

近年、児童・生徒の周りには多種類の食品があふれ、豊かな食生活を送っている。その一方で栄養のバランス、食事のあり方などに多くの問題がみられる。偏った栄養摂取、肥満症などの生活習慣病の増加及び若年化など、食に起因する新たな課題が増加している。

正しい食習慣を身につけ生涯にわたって健康な生活を送るために、児童・生徒・保護者に食生活などに関する理解を深めてもらうようにしていきたい。

また、偏食をなくすることや食事のマナーを身につけることは社会生活を営む上で協調性を養う第一歩となり、いろいろな人々とのつながりをもつにも大きな成果がある。

① 目 標

- ・好ましい食習慣を形成する（小学部）
- ・自分のからだにあった食事ができる（中学部）
- ・マナーを守って楽しい食事ができる（高等部）

② 指導形態

主として日常の給食の中で行う

- ・給食時間に給食で使う食品のグループ分け（3色）の掲示を行う
- ・養護教諭や栄養士、担任教諭が協力して、小学部の児童を対象とした食事調査を行う
- ・養護教諭や栄養士、担任教諭が協力して、食事指導の必要な児童生徒には個別で親子に指導を行う
- ・要請や機会をとらえて、学部・学級ごとに栄養指導を行う
- ・給食日より「パクパク通信」を月1回発行する

③ 指導のねらいと内容

対象	ね ら い	指 導 の 内 容
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと一緒に食べることができる ・食事のパターンを身につけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・偏食、拒食の改善 ・味覚を広げる ・トイレの使用 ・手洗い ・全員がそろうのを持つ ・あいさつ ・後片づけ ・歯みがき
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の基本的動作を身につけることができる ・自分の体にあった食事を考えて食べることができる ・栄養のバランスを考えて食べることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・噛む、箸を持つ、食器を持つなど ・肥満や体調に合わせた量を考える ・嫌いでも食べてみる

高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちをもつことができる ・場所に合った食事様式に合わせることができる ・会話を交えて楽しく食べることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・作る人の苦勞、作る喜びを知る ・テーブルマナー ・立食 ・ランチ方式 ・食事の社会性
個別指導	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満の解消 ・偏食の改善 ・アレルギーへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の量、質、バランスの改善など

④ 年間指導計画例

月 指導の内容	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
個別肥満指導	<ul style="list-style-type: none"> ・調査 → ・結果返却、個別指導 										
食事調査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査 ・結果返却 										
栄養指導	<ul style="list-style-type: none"> ・指導 										